

令和3年度（令和2年度対象）

**教育に関する事務の管理及び執行の状況
の点検及び評価の報告書**

令和3年8月

音更町教育委員会

目 次

はじめに

1 点検及び評価の趣旨	1
2 点検及び評価の対象	1
3 点検及び評価の方法	1

I 点検及び評価の結果

1 教育委員会の活動状況

(1) 会議の状況	2
(2) 規則等の制定・改廃の状況	6
(3) 表彰の状況	7
(4) 研修会等への参加の状況	9
(5) 学校訪問の状況	9
(6) 町民への情報提供の状況	10
(7) 教育委員会の組織	11

2 重点的な評価

(1) 確かな学力の向上	12
(2) 健やかな体の育成	22
(3) 豊かな心の育成	27

3 教育行政推進における主要な施策の実施状況

(1) 文教対策	30
(2) 社会教育の振興	37
(3) 社会体育の振興	44

4 昨年度の学識経験者からの主な意見と対応状況 47 |

II 学識経験者の意見 55 |

はじめに

1 点検及び評価の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出することとなっています。

また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとなっています。

音更町教育委員会では、これまでも各種計画に基づき効果的な教育行政を推進してきましたが、法に基づく点検及び評価を行い、その結果を公表することで、町民の皆様に教育に関する事務の管理及び執行の状況について説明するとともに、今後の施策・事業の展開等に活用し、より一層効果的な教育行政の推進を図っていきます。

2 点検及び評価の対象

令和2年度の教育委員会の活動状況のほか、令和2年度教育行政執行方針に位置付けられて実施した施策・事業等を点検及び評価の対象としています。

また、特に町民の方から関心が高いと思われる「確かな学力の向上」、「健やかな体の育成」、「豊かな心の育成」について、現状や課題、今後の方向性等に関する点検・評価を行っています。

3 点検及び評価の方法

教育委員会が行った点検及び評価の客観性を確保するとともに、今後の取組に向けた活用を図るため、教育に関し学識経験を有する方から点検及び評価に関する意見や助言をいただきました。

学識経験者 佐藤英晶氏（帯広大谷短期大学教授）
堀光生氏（元中学校校長）

I 点検及び評価の結果

1 教育委員会の活動状況

(1) 会議の状況

教育委員会の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律及び音更町教育委員会会議規則に基づき、教育長と4人の教育委員会委員が教育行政に関する基本的な方針の決定や教育委員会規則の制定など、教育に関する様々な議題について審議します。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、以下のとおり会議を開催していますが、それぞれの会議において、事務局から付議案件の提案理由や説明を行った後、教育委員会委員の活発な質疑、審議を経て、いずれも決定・了承されています。

事務局では、教育委員会の会議の活性化と十分な審議を実施するため、各委員に議案・資料等の事前説明を行うなど、審議がより活発なものとなるよう配慮しています。

また、教育委員会会議の前に委員相互の意見交換をする場を設け（必要に応じ事務局も入ります。）、日常の情報交流を図るとともに、教育委員会会議において委員の意見を反映させるため、付議案件以外に意見を提案する場を設けています。

今後も、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、学校訪問などの活動を充実させながら、積極的に教育行政を推進していく必要があると考えます。

期 日	付 議 案 件
【定例会】 R2. 4. 23 [13:30~14:30]	(報告) ・ 教育委員会事務報告 ・ 教育長職務代理者の指名について ・ 新型コロナウイルス感染症対策について (議案) ・ 学校運営協議会を設置する対象学校について ・ 音更町教育研究所所員の委嘱について ・ 音更町学校評議員の委嘱について ・ 音更町学校運営協議会委員の任命について ・ 音更町社会教育委員及び音更町公民館運営審議会委員の委嘱について ・ 音更町生涯学習推進協議会委員の委嘱について ・ 音更町文化財保護審議会委員の委嘱について ・ 音更町図書館協議会委員の委嘱について ・ 音更町スポーツ推進委員の委嘱について (協議案) ・ 令和2年度補正予算（案）について ・ 教育委員会の学校訪問について

<p>【臨時会】 R2. 5. 7 [18:00～19:00]</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症対策に係る学校の臨時休業の延長等について
<p>【定例会】 R2. 5. 21 [14:00～14:40]</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音更町奨学資金審議会委員の委嘱について ・ 音更町青少年対策地区指導員の委嘱について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度補正予算(案)について ・ 教育委員会の学校訪問について ・ 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
<p>【臨時会】 R2. 5. 28 持ち回り会議</p>	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度第12地区教科書採択地区調査委員会委員の推薦について
<p>【臨時会】 R2. 6. 11 [18:00～18:35]</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた今後の学校教育活動の方針について ・ G I G Aスクール構想の進捗状況について <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事請負契約の締結について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度補正予算(案)について
<p>【定例会】 R2. 6. 22 [13:40～14:00]</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する評価委員の選任について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告書について

<p>【定例会】 R2. 7. 16 [13:30～14:30]</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 ・ 令和2年度教科書展示会での意見について <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音更町文化奨励賞等規則の一部を改正する規則案 ・ 音更町奨学資金支給者の決定について ・ 音更町いじめ問題等対策委員会委員の委嘱について ・ 財産の取得について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告書について
<p>【定例会】 R2. 8. 27 [13:15～14:00]</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音更町第七次社会教育中期計画及び音更町子どもの読書活動推進計画(第2期)の計画期間の変更について ・ 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告書について ・ 令和3年度から使用する小学校用及び中学校用教科用図書の採択について ・ 音更町教育支援委員会委員の委嘱について ・ 令和3年度北海道公立学校校長採用候補者の推薦について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度補正予算(案)について
<p>【定例会】 R2. 9. 17 [14:00～14:20]</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音更町第八次社会教育中期計画の諮問について ・ 令和3年度北海道公立学校教頭昇任候補者及び北海道公立学校主幹教諭昇任候補者の推薦について ・ 音更町教育研究所所員の委嘱について
<p>【定例会】 R2. 10. 15 [14:00～14:45]</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音更町奨学資金支給者の決定について ・ 令和2年度音更町文化奨励賞等表彰者の決定について

<p>【定例会】 R2. 11. 19 [14:30～15:00]</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 ・ 教育長職務代理者の指名について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度補正予算(案)について
<p>【定例会】 R2. 12. 24 [14:15～15:00]</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音更町教育委員会公印規則及び音更町立学校通学区域規則の一部を改正する規則案について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度教育委員会予算編成に伴う主要事業の概要について
<p>【臨時会】 R3. 1. 20 持ち回り会議</p>	<p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度補正予算(案)について
<p>【定例会】 R3. 1. 28 [14:15～15:00]</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音更町中央公民館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則案について ・ 南中音更小学校閉校記念式典の挙行について ・ 音更町児童生徒文化・スポーツ賞選考委員会委員の委嘱について ・ 令和3年度全国学力・学習状況調査の実施について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音更町公民館条例の一部を改正する条例案について
<p>【定例会】 R3. 2. 17 [19:00～20:15]</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音更町奨学資金支給者の決定について ・ 令和2年度音更町スポーツ賞等被表彰者の決定について ・ 教職員人事の内申について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度補正予算(案)について ・ 令和3年度教育委員会予算(案)及び主要事業について

<p>【定例会】 R3. 3. 25 [18:00～19:15]</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 ・ 中学校卒業式の実施状況について ・ 令和元年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果の分析について ・ 令和2年度いじめに関する実態調査報告について <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音更町立小中学校体育施設の開放に関する規則の一部を改正する規則案 ・ 学校運営協議会を設置する対象学校について ・ 音更町教育施設等長寿命化計画の策定について ・ 教職員人事の内申について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度教育行政執行方針(案)について ・ 令和3年度補正予算(案)について
--	---

(2) 規則等の制定・改廃の状況

令和2年度に制定・改廃された教育委員会の規則・訓令及び教育関係の条例は次のとおりです。

ア 条例

題 名	公布年月日	施行年月日
・ 音更町公民館条例の一部を改正する条例	R3. 3. 16	R3. 4. 1

イ 規則

題 名	公布年月日	施行年月日
・ 音更町文化奨励賞等規則の一部を改正する規則	R2. 7. 16	R2. 7. 16
・ 音更町教育委員会公印規則及び音更町立学校通学区域規則の一部を改正する規則	R2. 12. 24	R3. 4. 1
・ 音更町中央公民館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則	R3. 1. 28	R3. 1. 28
・ 音更町立小中学校体育施設の開放に関する規則の一部を改正する規則	R3. 3. 26	R3. 4. 1

ウ 訓令

題 名	公布年月日	施行年月日
—	—	—

(3) 表彰の状況

ア 音更町文化奨励賞等

[音更町の文化の高揚と発展に寄与した個人又は団体を表彰]

① 文化奨励賞：(科学・芸術・教育等を通じ、音更町の文化の進展に著しく貢献した個人又は団体を表彰)

	氏 名	表 彰 事 由
団体	音更バトントワラーズ 代表 中寺 愛子 昭和 59 年 6 月設立	昭和 59 年に会を創設して以来、バトン演技を通じて青少年の健全育成に寄与し、20 名を超える指導員資格者を育成するなどバトントワリングの技術向上、普及に貢献された。また、平成元年から発表会を継続して開催しているほか、音更町舞踊発表会をはじめ多数の町内外のイベントに出演し、地域文化活動の推進に大きく貢献された。
団体	鈴蘭民謡友の会 代表 宮下 マサ子 昭和 39 年 4 月設立	日本民謡の研鑽とともに公園八幡宮秋祭り、町内会秋祭りの出演協力、文化祭芸能発表大会への参加、老人ホームとの交流会を積極的に行い、長年にわたり地域活動に貢献された。加えて、会の設立当時から音更音頭の保存普及に尽力され、地域文化の発展に大きく貢献された。
団体	全日本下の句歌留多協会 音更支部 鳳倶楽部 代表 島田 一敏 昭和 51 年 9 月設立	昭和 51 年に会を発足し、下の句歌留多技術の研鑽に加え、昭和 61 年から継続的に大会を主催している。特に第 15 回大会からは全道大会、第 20 回大会からは全国大会として開催し、歌留多競技者の交流、技術向上に貢献された。また、十勝管内各所において青少年を対象に競技の指導、審判として活動し、青少年の健全育成に寄与するとともに、北海道の伝統文化である下の句歌留多の普及、伝承に大きく貢献された。

② 文化奨励特別賞：(音更町の文化の振興発展に貢献し、その功績が特に顕著な個人又は団体を表彰)

該当なし

イ 音更町スポーツ賞等

〔音更町のスポーツの分野において優秀な成績を収めた者及びスポーツの振興に寄与した個人又は団体を表彰〕

① スポーツ賞（全国・全道規模の大会で優秀な成績・記録を収めた個人又は団体）

【個人】

氏 名	年齢	所 属	種 目
赤坂 芽樹	12	音更小学校	サッカー
行木 仁愛	12	鈴蘭小学校	サッカー
平吹 向日葵	12	柳町小学校	サッカー
山下 紗知	12	駒場小学校	サッカー
阿木 古郎	15	共栄中学校	野球
坂本 鼓太朗	15	下音更中学校	野球
長屋 秋太	15	下音更中学校	野球
野口 善太郎	15	下音更中学校	野球
川岸 モカ	13	音更中学校	サッカー
齊藤 瑠唯	14	下音更中学校	サッカー
福島 希空	13	共栄中学校	サッカー
牧野 あおい	13	駒場中学校	サッカー
山本 華	14	緑南中学校	サッカー
河原 莉緒	15	緑南中学校	スピードスケート
高森 銀河	10	鈴蘭小学校	スピードスケート
長崎 向葉	11	下土幌小学校	スピードスケート
西川 想乃	14	音更中学校	スピードスケート
野々村 凜音	11	木野東小学校	スピードスケート
堀池 紗優奈	12	下音更小学校	水泳
増山 慶成	11	緑陽台小学校	スピードスケート

② スポーツ奨励賞（全国・全道規模の大会で上位入賞、十勝大会で優秀な成績）

【個人】

氏 名	年齢	所 属	種 目
小林 唯那	16	帯広大谷高等学校	卓球
船見 さくら	16	白樺学園高等学校	陸上
宮部 妃菜	16	音更高等学校	剣道

③ スポーツ功労賞（本町におけるスポーツの普及振興に貢献のあった個人又は団体）

【個人】

氏 名	年齢	所 属	種 目
稲垣 充	70	音更町柔道連盟	柔道

(4) 研修会等への参加の状況

教育委員会では、各種研修会に参加し、他市町村教育委員会との情報交換や、研修に努めているほか、教育行政に関する調査・研究を行っています。

令和2年度は、予定していた研修会等が新型コロナウイルス感染症対策により中止となりましたが、今後とも積極的に研修会等に参加し、教育を巡る現状や課題について学ぶとともに、教育委員の役割について理解を深めていきます。

(5) 学校訪問の状況

教育委員会では、教育長、教育委員全員と事務局職員の合わせて8名で町内全小中学校を訪問し、それぞれの学校の取組について実情把握に努めています。(令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策として1校当たり45分程度)

令和2年度の重点テーマは「新型コロナウイルス感染症対策に係る学習・学校生活等への影響と今後の対応について」です。

例年は、校長から学校経営の重点及び懸案事項の説明を受けた後、授業参観を行い、子どもたちの学びの様子を見学しますが、令和2年度は3密を防ぐ観点から、授業参観を実施せず、重点テーマに関する学校の取組みを中心に校長より説明を受け、その後、校長・教頭等との意見交換を行うことで、学校運営・教育環境等様々な点について現状と課題を把握し、より良い教育環境の整備に努めています。また、自校給食を行っていることから、この学校訪問の際に、一部の学校で学校給食の試食も行っています。

そのほか、各学校におけるいじめや不登校の状況等についても意見交換を行うとともに、教職員と教育委員の顔合わせとして、職員室において教育長からの挨拶と各教育委員の自己紹介等を行い、各学校との交流を図っています。

訪問年月日	訪問学校名
R2. 6. 22	木野東小学校、緑南中学校、下土幌小学校
R2. 7. 2	柳町小学校、共栄中学校、下音更小学校
R2. 7. 16	東土狩小学校、音更小学校、音更中学校
R2. 8. 5	東土幌小学校、駒場小学校、駒場中学校、南中音更小学校、西中音更小学校
R2. 8. 20	下音更中学校、鈴蘭小学校、緑陽台小学校

(各種学校行事等)

例年は小中学校の入学式・卒業式に教育長をはじめ各教育委員が出席しているほか、運動会・体育祭への訪問等を行っています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策により密をさけるため、学校行事の中止や規模縮小の対応をとったことから出席及び訪問は行いませんでした。

(6) 町民への情報提供の状況

教育委員会では、教育に関する制度や手続、行事等の周知を図るために、様々な情報を提供しています。

今後もホームページや町広報紙等を活用し、情報提供の方法を工夫しながら、より一層わかりやすく様々な情報を提供していく必要があると考えています。

ア 広報紙の活用

毎月発行している広報「おとふけ」で教育に関する各種情報の提供に努めました。

(主な掲載情報)

- ・「生涯学習のまど」〇〇JCオープンカレッジ等の各種講座の紹介
- ・「図書館通信」新着・おすすめ図書を紹介、図書館行事のお知らせ
- ・その他(小規模特認校の紹介、各種助成制度の案内等)

イ ホームページの活用

ホームページの管理・運営を通じて、教育委員会の活動を町民にお知らせしています。

(主な掲載情報)

- ・音更町の教育目標
- ・音更町の教育行政執行方針
- ・小中学校ホームページ
- ・学校教育関係(区域外就学、就学援助等)
- ・社会教育関係(施設の紹介・空き状況/予約、生涯学習等)
- ・図書館(蔵書検索)
- ・教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告書
- ・総合教育会議の会議結果(要旨)
- ・定例の教育委員会会議の会議結果(要旨)
- ・社会教育委員協議会等の審議会の会議結果(要旨)

(7) 教育委員会の組織

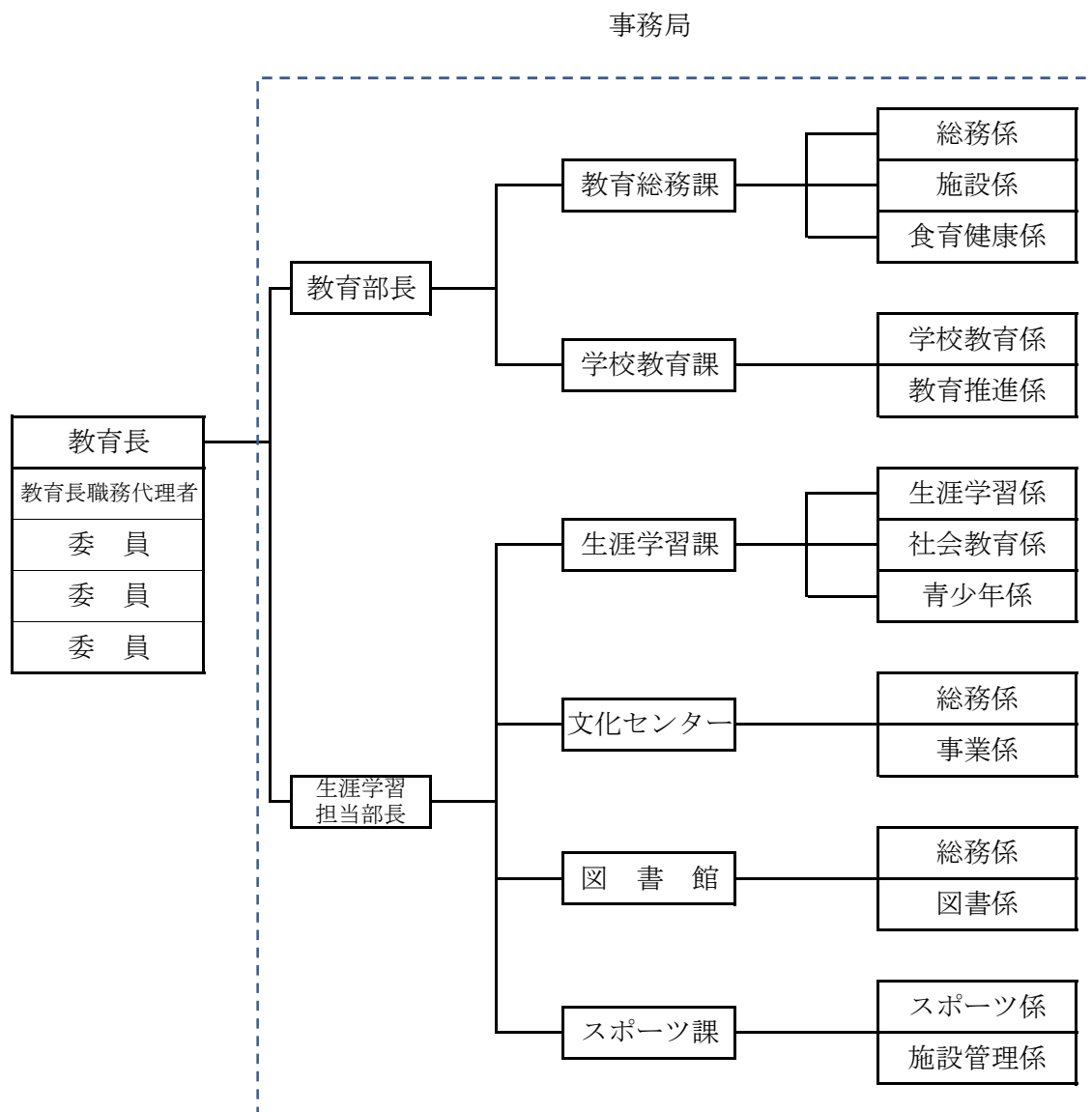
教育委員会

(令和3年4月1日現在)

職名	氏名	就任日	期数	現任期満了日
教育長	福地 隆	令和2年4月1日	2期目	令和6年3月31日
教育長職務代理者	田中 義博	平成16年11月2日	5期目	令和6年11月1日
委員	石川 秀朗	平成22年1月20日	3期目	令和4年1月19日
委員	種川 健	平成27年11月5日	2期目	令和5年11月4日
委員	川井 麗子	平成28年11月2日	2期目	令和4年11月1日

教育委員会の組織

(令和3年5月1日現在)



2 重点的な評価

(1) 確かな学力の向上

音更町教育委員会では、教育行政執行方針において、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身につけ、それらを活用できる学力を育むことが重要であると捉え、学校と家庭が連携して、「生きる力」の基盤となる確かな学力を推進していくこととしています。その取組を進める上で、子どもの学力の傾向を把握して課題を捉えるために、毎年度、全国学力・学習状況調査に参加していますが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症や休校の影響などを考慮し、全国学力・学習状況調査は実施されませんでした。

このため、令和2年度においては、北海道教育委員会が全国学力・学習状況調査の教科に関する調査問題を「ほっかいどうチャレンジテスト（2学期末問題）」に活用していることから、町内の小学校6年生と中学校3年生の国語、算数・数学において、チャレンジテストの結果を全道の結果と比較するとともに、児童・生徒質問紙調査についても、市町村教育委員会や学校が北海道教育委員会に任意で提供した調査結果（本町は全校提出）の全道集計と比較しています。

① 児童生徒の学力の現状と課題

令和2年度全国学力・学習状況調査問題を活用したチャレンジテストの分析・考察

【小学校】

<総評>

国語は全道平均を2.8ポイント、算数は全道平均を12.1ポイント上回る結果となった。記述式の問題では、国語が全道平均を11.2ポイント上回り、算数は全道平均を16.9ポイント上回った。

<領域・観点・問題形式>

- 国語は、全ての領域・観点で全道平均を上回った。領域別では、「知識・技能」で1.8ポイント、「話すこと・聞くこと」で3.1ポイント、「書くこと」で4.0ポイント、全道平均を上回り、評価の観点では、「思考・判断・表現」で3.6ポイント、「主体的に学習に取り組む態度」で11.2ポイント、全道平均を上回った。
- 国語は、問題別に見ると、「目的や意図に応じ、取材内容を基にして、自分の考えをまとめることができるかどうかを見る問題」・「目的に応じた取材の進め方を捉えることができるかどうかを見る問題」の正答率が高く、「事実と意見を区別して書くことができるかどうかを見る問題」の正答率が低かった。
- 算数は、全ての領域・観点で全道平均を大きく上回った。領域別では、「数と計算」で14.3ポイント、「図形」で11.9ポイント、「測定／変化と関係」で8.9ポイント、全道平均を上回り、評価の観点では、「知識・技能」で8.4ポイント、「思考・判断・表現」で14.3ポイント、全道平均を上回った。
- 算数は、問題別に見ると、「三角柱の底面と側面について理解しているかどうかを見る問題」の正答率が高く、「直径、円周、円周率の関係について理解しているかどうかを見る問題」の正答率が低かった。

【中学校】

<総評>

国語は全道平均と同程度、数学は全道平均を4.3ポイント上回る結果となった。記述式の問題では、国語が全道平均と同程度、数学は全道平均を6.3ポイント上回った。

<領域・観点・問題形式>

- 国語は、領域別では、「話すこと・聞くこと」・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は、全道平均と同程度で、「書くこと」は全道平均を4.5ポイント上回った。評価の観点では、「国語への関心・意欲・態度」は、全道平均と同程度であった。
- 国語は、問題別に見ると、「資料や機器などを効果的に活用した話し方について理解しているかどうかを見る問題」・「文脈に即して漢字を正しく読むことができるかどうかを見る問題」の正答率が高く、「自分の考えが相手に分かりやすく伝わるように工夫して話すことができるかどうかを見る問題」の正答率が低かった。
- 数学は、領域別では、「数と式」で3.9ポイント、「図形」で8.5ポイント、「関数」で6.4ポイント、全道平均を上回り、「資料の活用」が全道平均を2.2ポイント下回った。評価の観点では、全ての項目で全道平均を上回った。
- 数学は、問題別に見ると、「基本的な作図の方法について理解しているかどうかを見る問題」の正答率が高く、「連立方程式を解く過程を振り返り、事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができるかどうかを見る問題」の正答率が低かった。

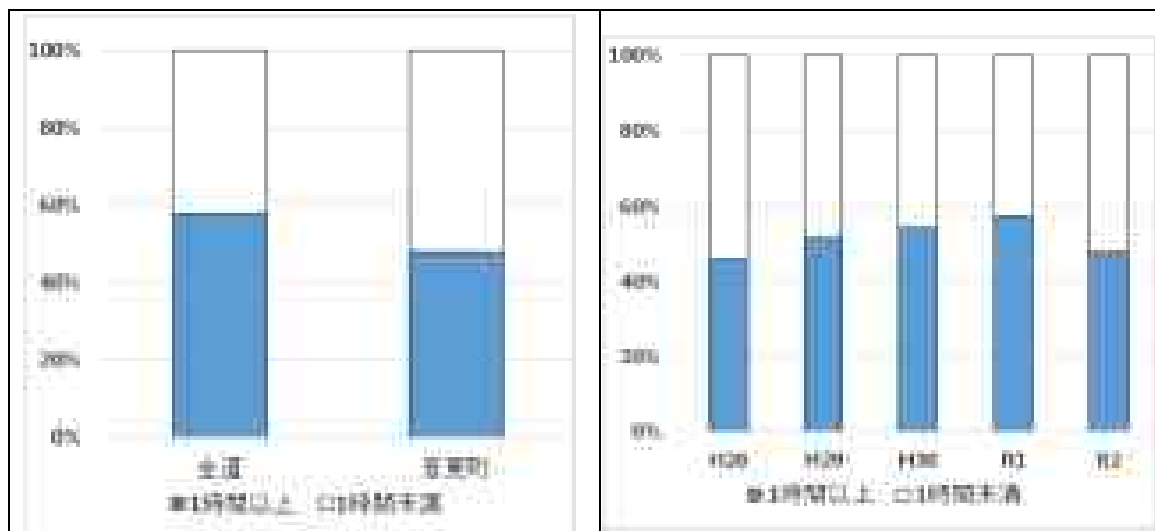
【児童・生徒質問紙】

1 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

<小学校>

【令和2年度】

【経年変化】

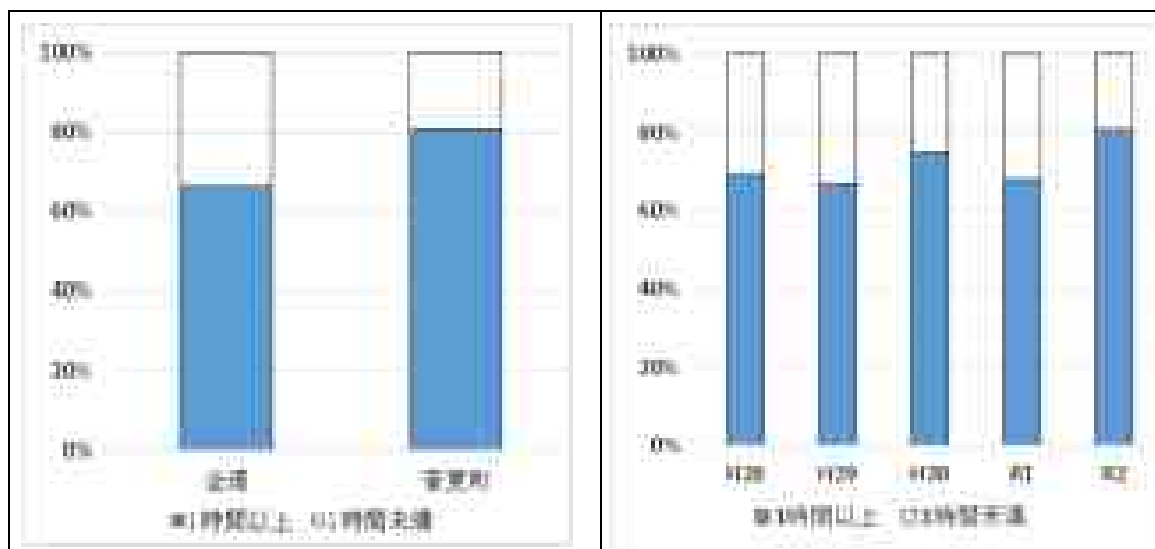


「1時間以上勉強している」と回答した割合は47.9%で、全道を9.7ポイント下回っている。経年比較では、「1時間以上勉強している」という回答は年々増加していたが、今年度は前年度より9.5ポイント減少し、家庭学習時間の減少が顕著であった。各学校では、家庭学習の手引きや導入されたタブレット端末等を活用し、家庭と連携した家庭学習の取組が求められる。

<中学校>

【令和2年度】

【経年変化】



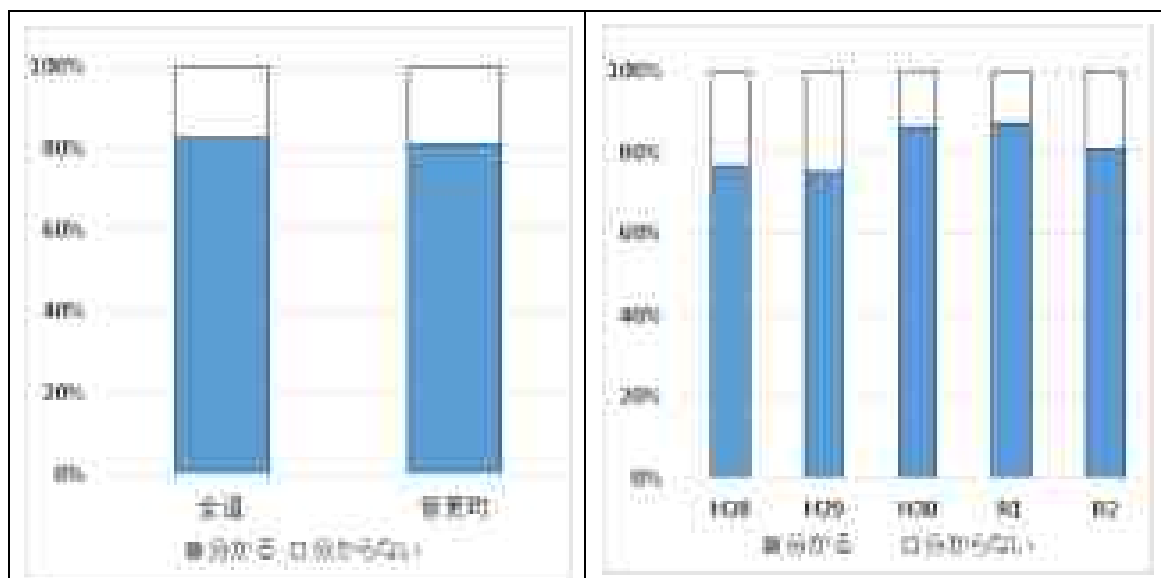
「1時間以上勉強をしている」と回答した割合は80.7%で、全道を8.3ポイント上回っている。経年比較では、ここ数年の数値が小幅で上下しているが、今年度は前年度より12.5ポイント上回り、この5年間では最も学習時間が長くなっている。今後は、勉強時間が1時間未満の生徒の割合を更に減らすとともに、2時間以上の生徒の割合増やす指導が必要である。

2 算数・数学の授業の内容は、よく分かりますか。

<小学校>

【令和2年度】

【経年変化】

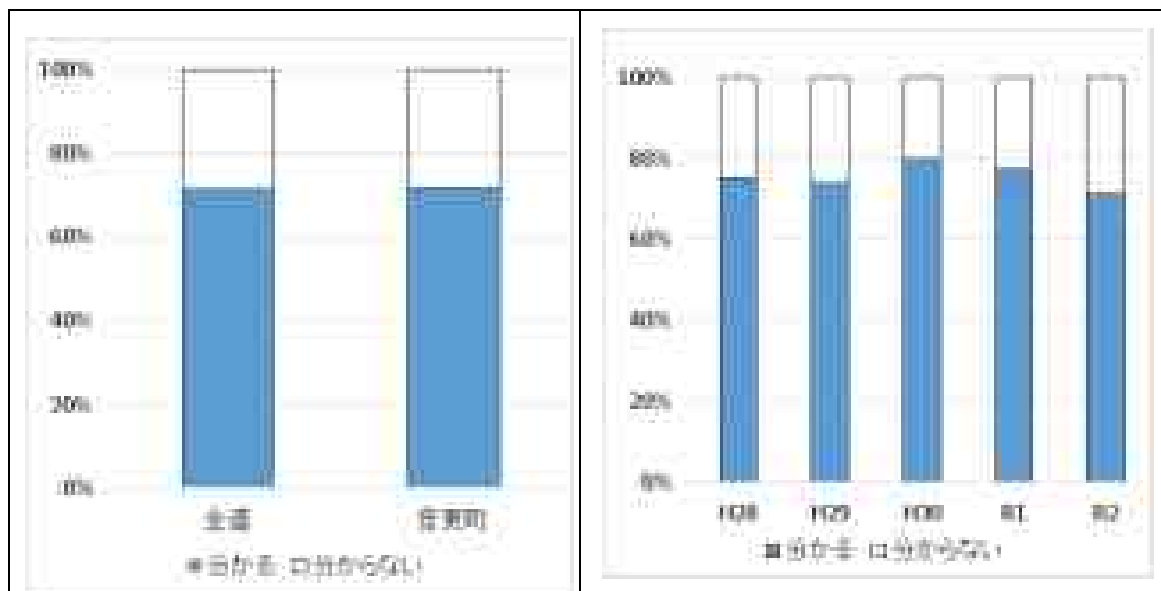


「分かる」と回答した割合は80.7%で、全道を僅かに下回っている。経年比較では、「分かる」と回答した割合は上下しているが、この3年間は80%を超え、高い水準を維持している。しかし、今年度は、「分からない」と回答した児童が20%ほどいることから、児童にとって分かりやすい算数の授業となるよう、更なる指導方法の改善が必要である。

<中学校>

【令和2年度】

【経年変化】



「分かる」と回答した割合は71.5%で、全道と同程度であった。経年比較では「分かる」と回答した割合は横ばいで、ここ3年間は減少傾向にある。今年度の結果を見ると、「分からない」と回答した割合は、約30%になり、この5年間では最も高い割合であった。授業では習熟の程度に応じた指導を取り入れたり、放課後に補充学習を行ったりするなど、様々な手段を講じて基礎学力の向上に取り組む必要がある。

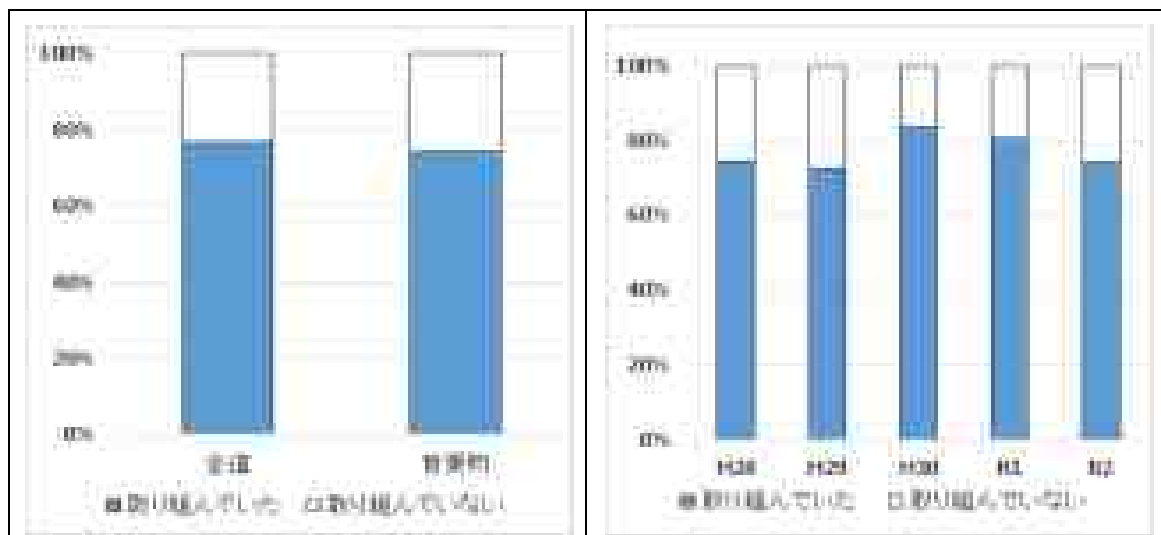
3 昨年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。

※グラフの「取り組んでいた」は、「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」の合計

<小学校>

【令和2年度】

【経年変化】

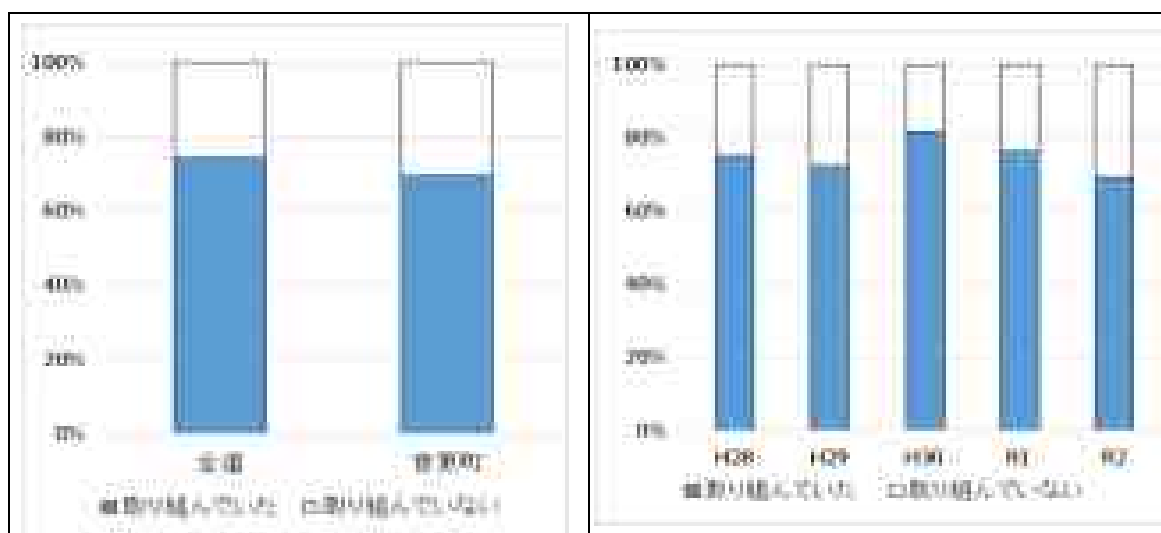


「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した割合は74.3%で、全道より2.7ポイント下回っている。この3年間の経年比較では、「取り組んでいた」と回答した割合は減少傾向にある。新学習指導要領の趣旨を踏まえた、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、更なる授業改善が求められる。

<中学校>

【令和2年度】

【経年変化】



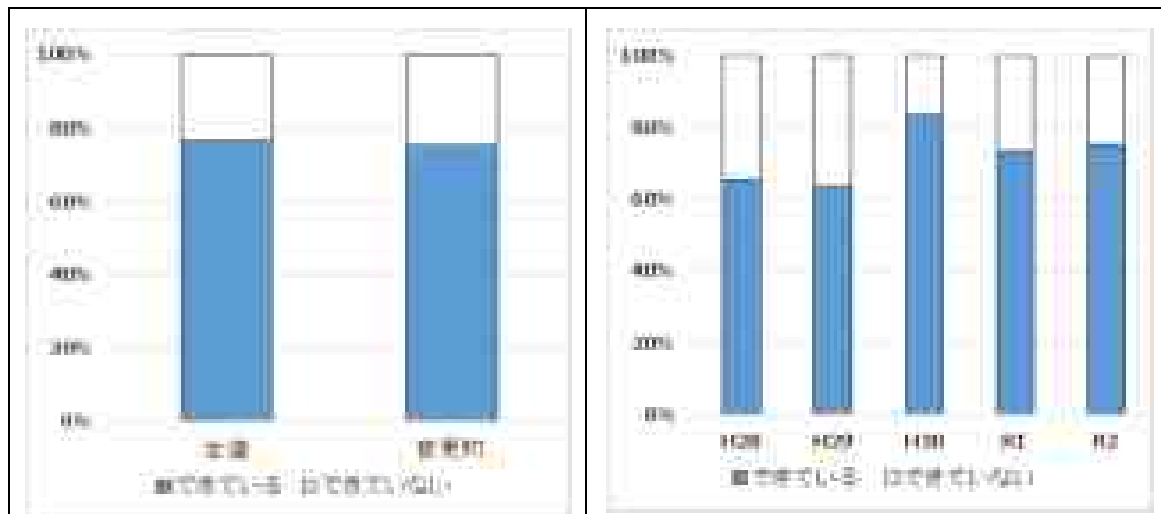
「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した割合は69.4%で、全道より4.8ポイント下回っている。この3年間の経年比較では、「取り組んでいた」と回答した割合は減少傾向にあり、今年度は昨年を7.0ポイント下回る結果となった。小学校と同様、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、更なる授業改善が求められる。

- 4 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。
 ※グラフの「できている」は、「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」の合計

<小学校>

【令和2年度】

【経年変化】

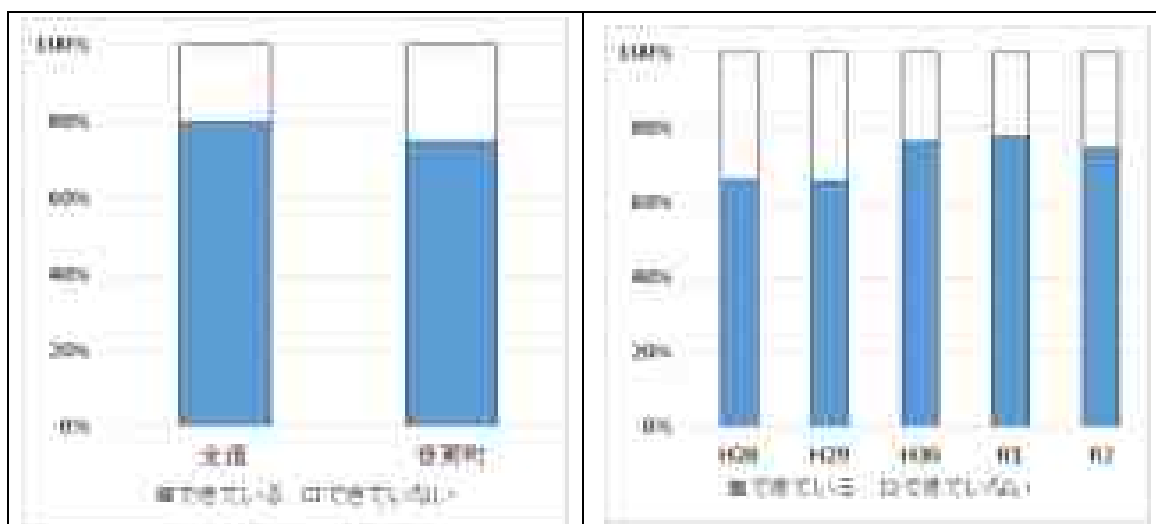


「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した割合は75.4%で、全道を1.2ポイント下回っている。経年比較では、「できている」という回答は、H30年度の83.6%をピークに下降傾向にある。しかし、この3年間は「できている」と回答した割合が70%を超えており、自分の考えを豊かにする話し合い活動が定着しつつある。

<中学校>

【令和2年度】

【経年変化】



「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した割合は74.6%で、全道を5.2ポイント下回る結果となった。この3年間の経年比較では、「できている」と回答した割合が70%を超えており、中学校でも小学校と同様に自分の考えを豊かにする話し合い活動が定着しつつあると考えられる。

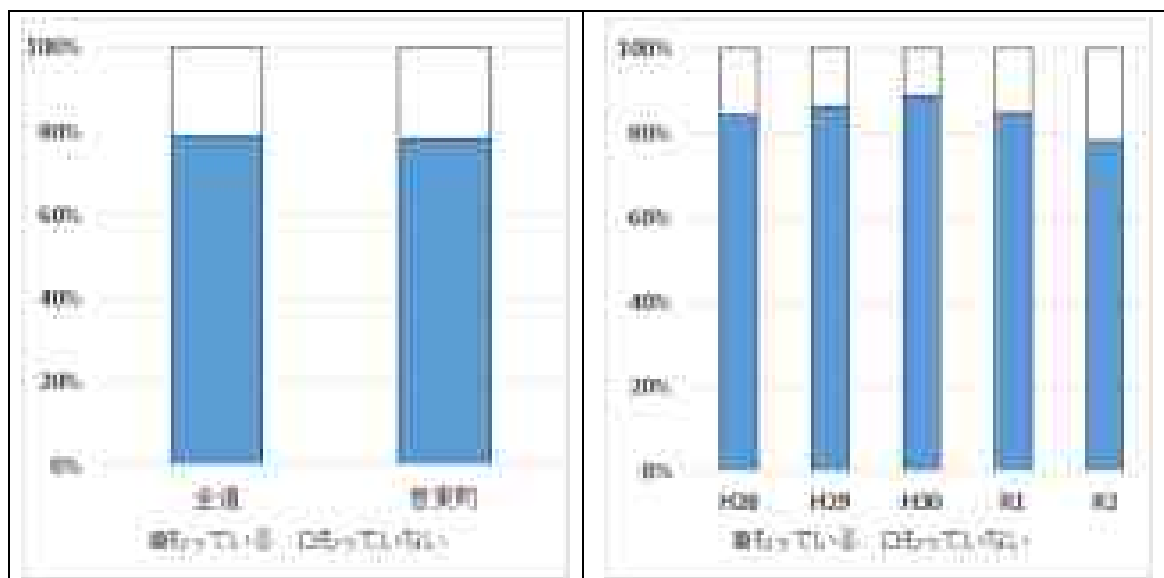
5 将来の夢や目標をもっていますか。

※グラフの「もっている」は、「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」の合計

<小学校>

【令和2年度】

【経年変化】

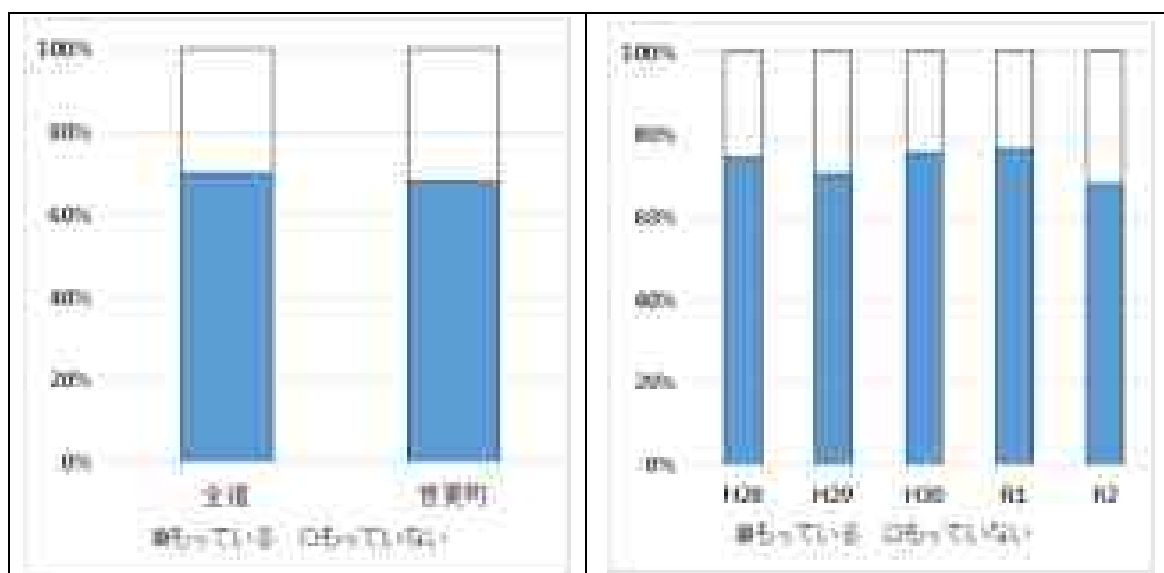


「将来の夢や目標をもっている」と回答とした割合は78.3%で、全道を僅かに下回っている。経年比較では、「将来の夢や目標をもっている」という回答は、過去数年徐々に上昇していたが、この2年間は減少傾向にあり、今年度は作年を6.5ポイント下回った。昨年度から導入された「キャリア・パスポート」を活用した、キャリア教育の充実が必要である。

<中学校>

【令和2年度】

【経年変化】



「将来の夢や目標をもっている」と回答した割合は68.0%で、全道を2.0ポイント下回っている。経年比較では、「将来の夢や目標をもっている」という回答はここ数年70%~76%台で推移していたが、今年度はこの5年間で最も低い割合になった。昨年度から導入された「キャリア・パスポート」を活用して小学校との連携を図りながら、キャリア教育を充実していくことが求められる。

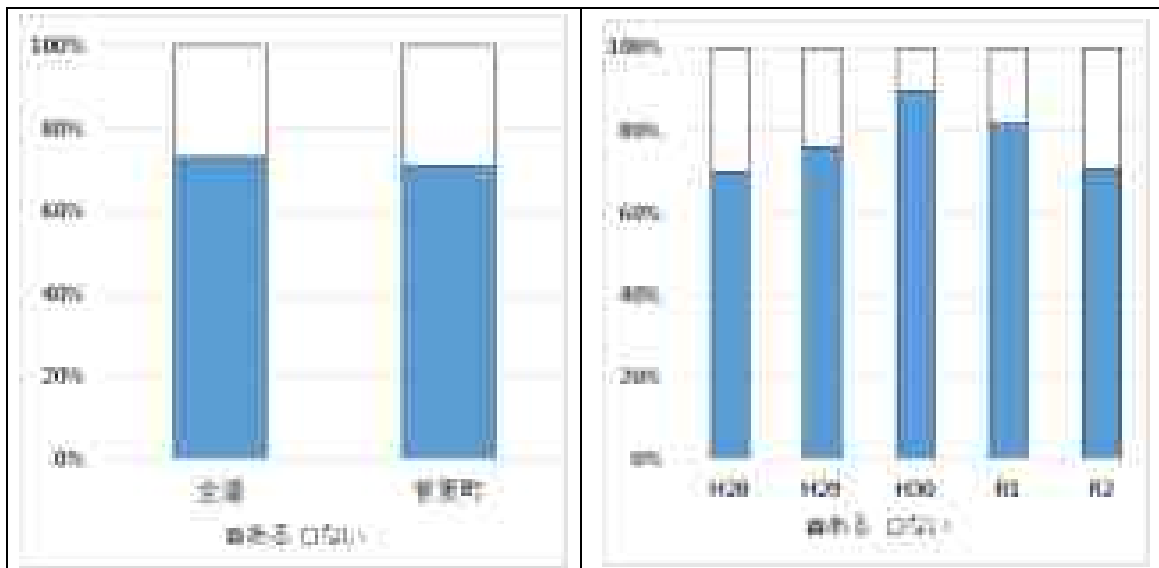
6 自分には、よいところがあると思いますか。

※グラフの「ある」は、「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」の合計

<小学校>

【令和2年度】

【経年変化】

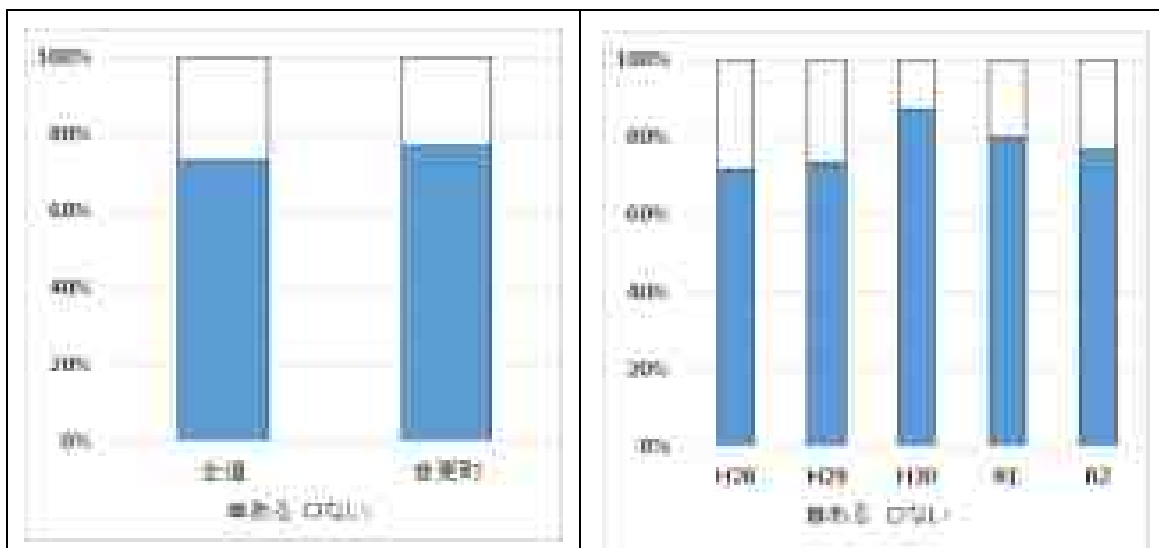


「自分には、よいところがある」と回答した割合は70.8%で、全道を2.3ポイント下回っている。経年比較では、「自分には、よいところがある」と回答した割合は、この3年間、減少傾向にあり、今年度は昨年より10ポイントほど下回った。学校でも家庭でも、児童のよいところや頑張ったことを認め、褒め、励まし、児童の自己肯定感を高めることが大切である。

<中学校>

【令和2年度】

【経年変化】



「自分には、よいところがある」と回答した割合は76.8%で、全道を3.9ポイント上回っている。経年比較では、「自分には、よいところがある」と回答した割合は、この3年間、減少傾向にあり、今年度は昨年を3ポイントほど下回った。中学校でも小学校と同様に、学校や家庭で生徒の自己肯定感を高めることが大切である。

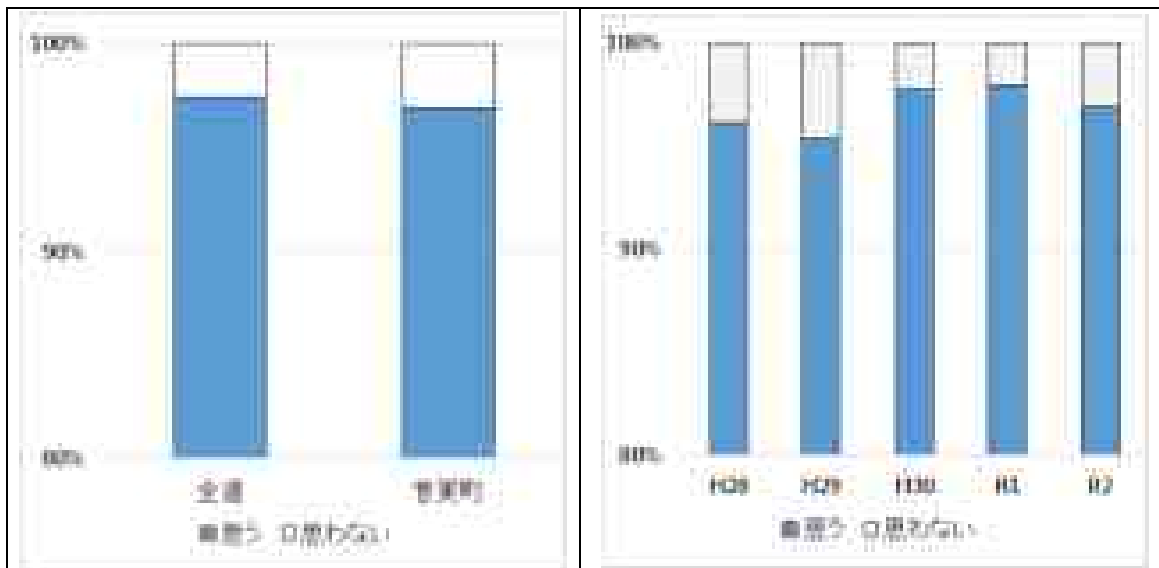
7 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

※グラフの「思う」は、「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」の合計

<小学校>

【令和2年度】

【経年変化】

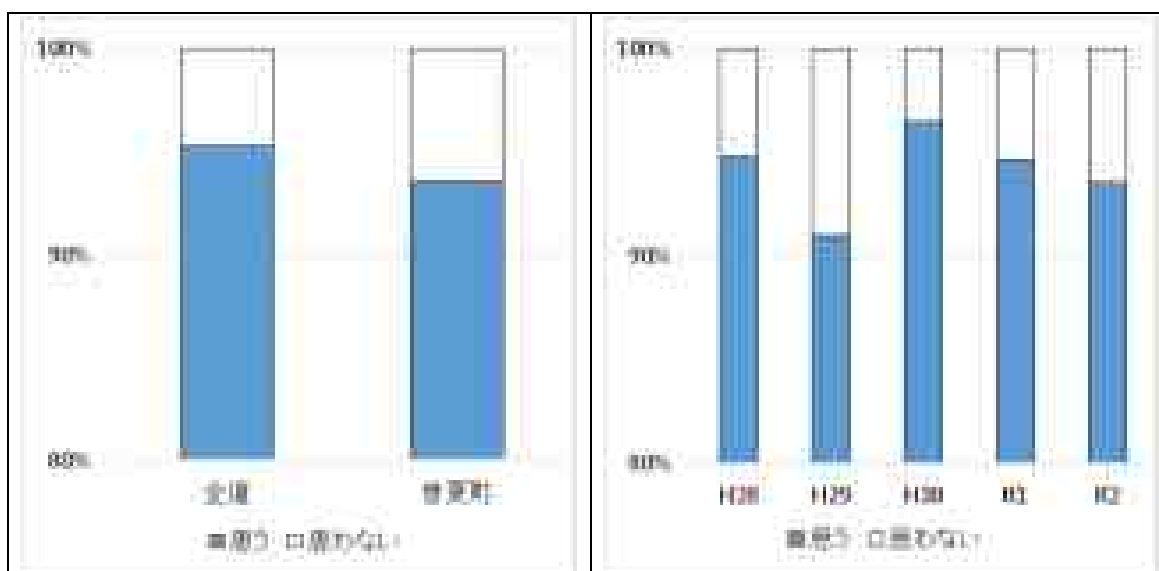


「いじめは、どんな理由があってもいけないこと」と回答した割合は96.9%で、全道と同程度であった。経年比較では、「いじめは、どんな理由があってもいけないこと」と回答した割合が、毎年90%を大きく上回っているが、全ての児童が「どんな理由があってもいじめは絶対に許されない」という強い思いを持てるよう、教育活動全体を通じた道徳教育が必要である。

<中学校>

【令和2年度】

【経年変化】



「いじめは、どんな理由があってもいけないこと」と回答した割合は93.6%で、全道を僅かに下回っている。経年比較では、「いじめは、どんな理由があってもいけないこと」と回答した割合は、90%を超える高い割合であるが、この3年間は減少傾向にある。まだ6%前後の生徒が「いじめは絶対に許されない」とは思っておらず、小学校と同様に、教育活動全体を通じた道徳教育の充実が必要である。

② 学力向上のための取組

◆教育委員会の主な取組

- 1 特別支援教育の推進のため、特別支援教育学習支援員は、平成30年度から2名増員し、32名を配置、複式教育学習支援員は平成25年度から2人を配置
- 2 35人を超える学級を有する小学校に対し、平成28年度から町費負担教諭を配置。令和2年度は7名を配置
- 3 教育相談や各種指導助言業務、学校と教育委員会の連携のため、教育推進員2名と学校教育相談員1名を配置
- 4 指導方法工夫改善事業、少人数学級実践研究事業（小2・中1）等を活用し、教員の加配等による学習環境の向上を実施
- 5 教職員の資質の向上を図るため、教職員研修（校内研修、道内研修、実践指定校事業）への補助と研修の充実
- 6 「家庭学習のすすめ」、「家庭学習の手引き」を作成し、児童生徒及び家庭に配布
- 7 学級文庫を小学校6校に配置し、夏・冬休みに本の入替を実施、また、移動文庫として小学校6校に出向き、毎月本の入替と低学年を対象とした読み聞かせを実施
- 8 小中学校のPC教室と実物投影機の計画的な整備
- 9 令和2年度からの小学校5、6学年の英語教科の開始に向けて、令和元年度から英語指導助手を1名増員
- 10 国のGIGAスクール構想に基づき、子どもたち一人一人に個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の実現に向けて、町内全ての児童・生徒にタブレット端末を配布

◆学校の主な取組

- 1 CRT（標準学力検査）の分析結果に基づく学校改善プランの作成と組織的な取組の推進
- 2 分かる授業（課題提示とまとめの時間の確保）を目指す授業改善
- 3 特別に配慮を要する児童生徒等に対する補充的な学習サポートや習熟度別指導の充実
- 4 加配教員、町費負担教諭及び学習支援員等による学習指導の充実
- 5 教職員の資質の向上を図るため、校内研修の充実と各種研修への積極的な参加
- 6 宿題や家庭学習専用ノートの活用による家庭学習の充実
- 7 「家庭学習のすすめ」や「家庭学習の手引き」を活用した家庭での学習習慣の啓発
- 8 幼保・小・中の円滑な接続による学びの連続性の確保

◆家庭や地域との連携

- 1 保護者及び地域住民に対する学習の機会及び情報の提供
- 2 学校と連携し、「早寝・早起き・朝ごはん」などによる基本的な生活習慣の定着と学習習慣の確立
- 3 リズムのある規則正しい生活ができるようPTA等と連携した啓発活動

(2) 健やかな体の育成

体力とは、人間の発達・成長を支え、体を動かす原動力であると同時に、健康を維持する上でも必要なものです。また、体力は知力や意欲・気力といった精神面の充実にも大きく関わっており、体力は「生きる力」の重要な要素の一つとなります。その取組の一つとして、全国体力・運動能力、運動習慣等調査を、小学校5年生と中学校2年生を対象に、悉皆調査を実施しています。また、調査結果を分析・考察した結果を活用して、本町児童生徒の体力・運動能力向上を推進しています。

① 児童生徒の現状と課題

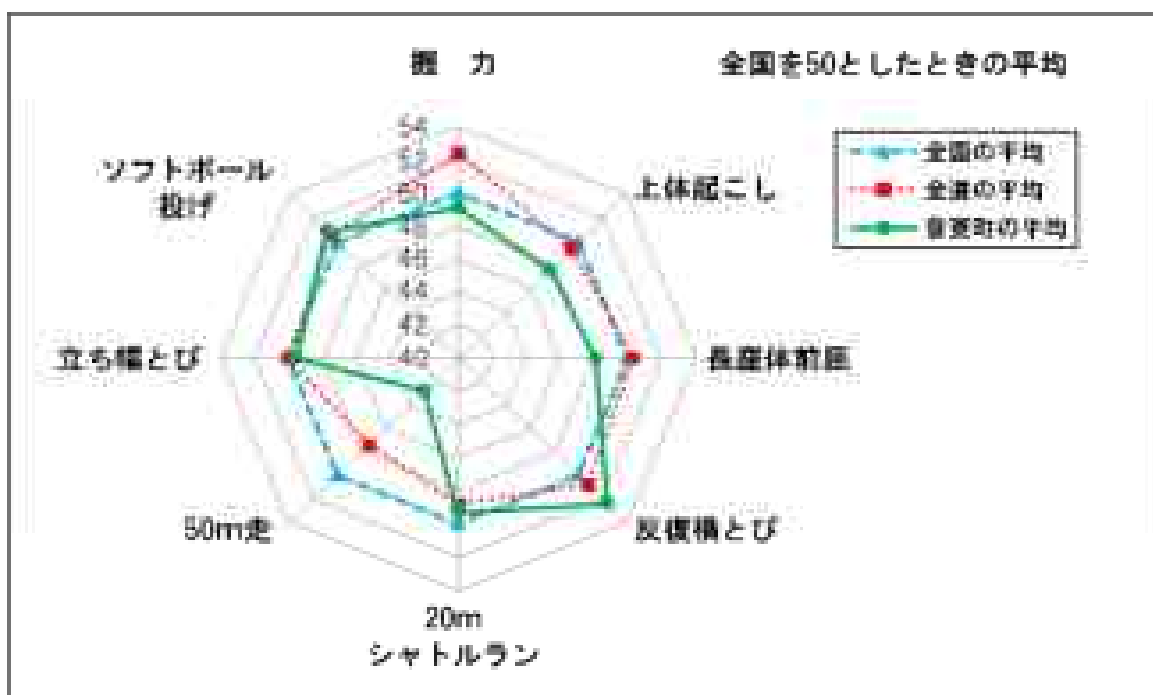
令和元年度調査の分析・考察

【小学校5年男子】

<分析と考察>

- 体力合計点は、前年度（H30）に比べ、全国・全道平均ともに下回る結果となった。
- 各種目では、「ソフトボール投げ」が前年度に引き続き、全国・全道の平均を上回る結果となった。
また、「反復横とび」についても、全国・全道平均を上回る結果となった。
- 前年度課題となっていた「20mシャトルラン」においては、全道平均を上回り、全国平均に近づく結果となった。
- 課題は「50m走」「上体起こし」「長座体前屈」である。「50m走」は、前年度全国平均を僅かに下回り、全道平均を上回ったが、今年度は全国・全道平均を大幅に下回る結果となった。また、「上体起こし」は前年度全国・全道平均と同程度で、「長座体前屈」は前年度全国・全道平均を上回ったが、今年度は両種目ともに全国・全道平均を下回る結果となった。
- 小学校男子の課題として、「スピード」「筋力・筋持久力」「柔軟性」の向上を目指した指導の充実が必要である。
- 児童質問紙では、前年度に比べ、「運動部やスポーツクラブに入っている」が全道平均を上回り、全国平均と並ぶ結果となった。その他の項目では全て全国・全道平均を上回る結果となった。体育科の授業、運動部やスポーツクラブでの活動を通し、運動をすることの楽しさを感じている子どもや「体育科で学んだことは将来役に立つ」「運動は大切」と感じている子どもが多い。

<各種目ごとの全国・全道平均との比較>

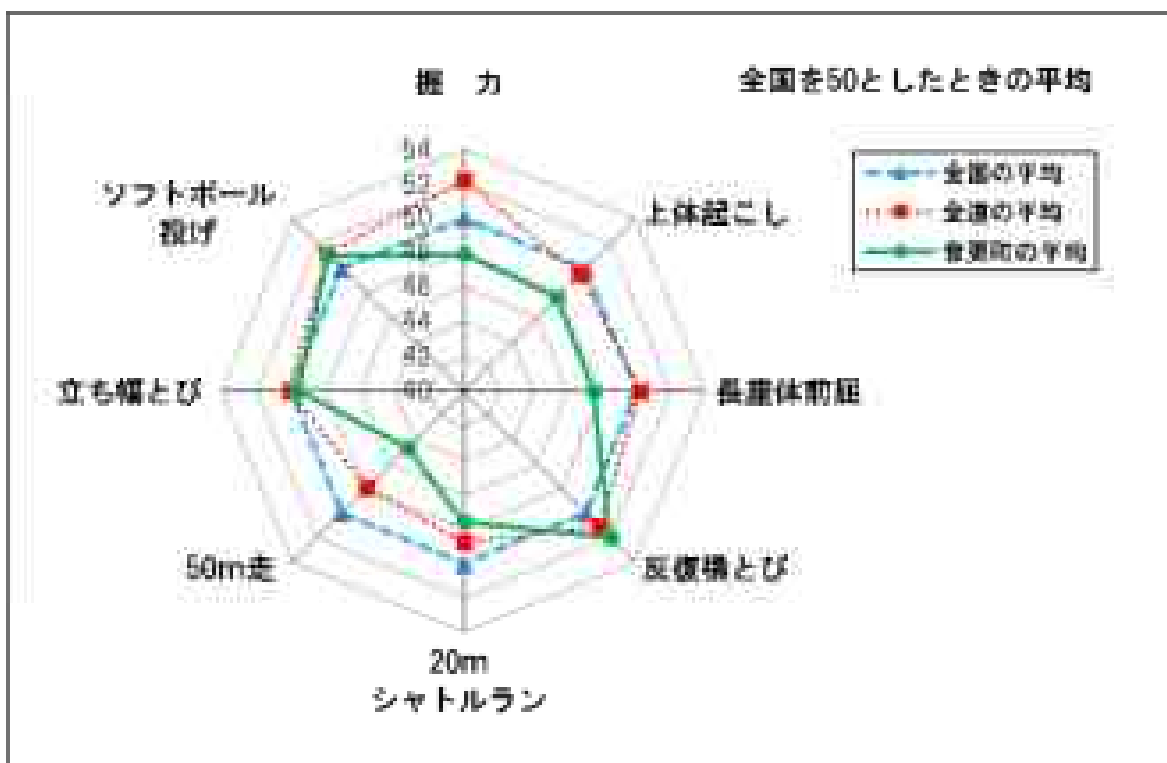


【小学校5年女子】

<分析と考察>

- 体力合計点は、前年度（H30）に比べ、全国・全道平均を下回る結果となった。
- 各種目では、「ソフトボール投げ」が全国平均を上回り、全道平均に近づく結果となった。また、前年度課題となっていた「反復横とび」は、全国・全道平均を上回る結果となった。
- 課題は「50m走」「上体起こし」「長座体前屈」である。「50m走」は、前年度全国平均を下回り、全道平均を上回ったが、今年度は全国・全道平均を大幅に下回る結果となった。また、「上体起こし」は前年度全国・全道平均と同程度で、「長座体前屈」は前年度全国・全道平均を上回ったが、今年度は兩種目ともに全国・全道平均を下回る結果となった。課題として男子と同じ傾向が読み取れる。
- 小学校女子の課題として、男子と同様に「スピード」「筋力・筋持久力」「柔軟性」の向上を目指した指導の充実が必要である。
- 児童質問紙では、前年度は全国・全道平均を上回っていた「体育科の授業は楽しい」が、今年度は全国・全道平均を下回る結果となった。また、「運動部やスポーツクラブに入っている」は、前年度に引き続き全国平均を下回る結果となった。一方、「体育科で学んだことは将来役に立つ」「運動が好き」は、全国・全道平均を上回る結果となった。運動が好きで、学んだことは役に立つと感じている子どもが多い。

<各種目ごとの全国・全道平均との比較>



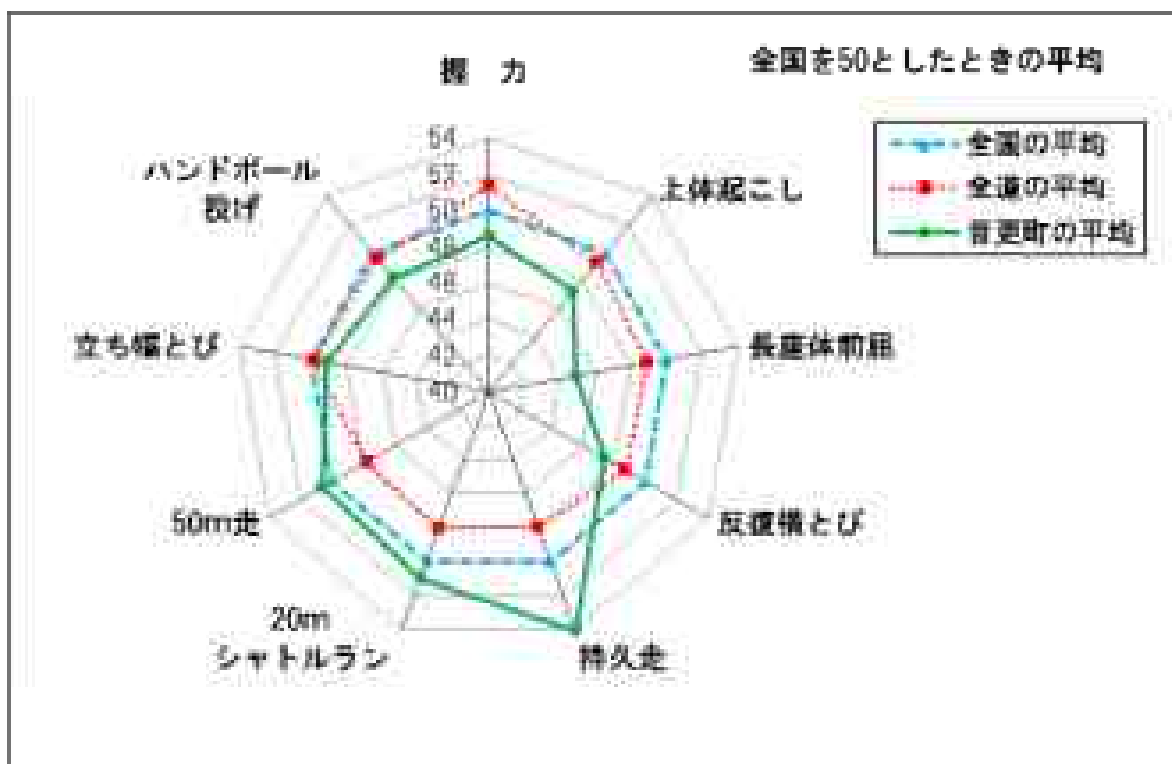
【中学校2年男子】

<分析と考察>

- 体力合計点は、前年度（H30）に比べ、全国・全道平均ともに下回る結果となった。
- 各種目では「50m走」「20mシャトルラン」が、前年度に引き続き全国・全道平均を上回る結果となった。また、前年度の課題となっていた「持久走」は、今年度全国・全道平均を大幅に上回る結果となった。
- 課題は、「長座体前屈」「上体起こし」「反復横とび」である。「長座体前屈」「反復横とび」は、前年度に引き続き全国・全道平均を下回る結果となった。また、「上体起こし」は、前年度全国・全道平均を上回ったが、今年度は下回る結果となった。
- 中学校男子の課題として、「柔軟性」「筋力・筋持久力」「俊敏性」の向上を目指した指導の充実が必要である。
- 生徒質問紙では、前年度同様、ほぼ全ての項目で全国平均を上回り、運動に対する意識の向上や運動習慣の定着がなされていると考えられる。

全国平均を100としたとき「体育化の授業は楽しい」が107、「運動が好き」が105と上回る結果となった。また、「体育科で学んだことは将来役に立つ」「運動は大切」も全国平均を上回っており、前年度に引き続き、指導と運動への意識向上の結びつきが高い状態であることがわかる。

<各種目ごとの全国・全道平均との比較>

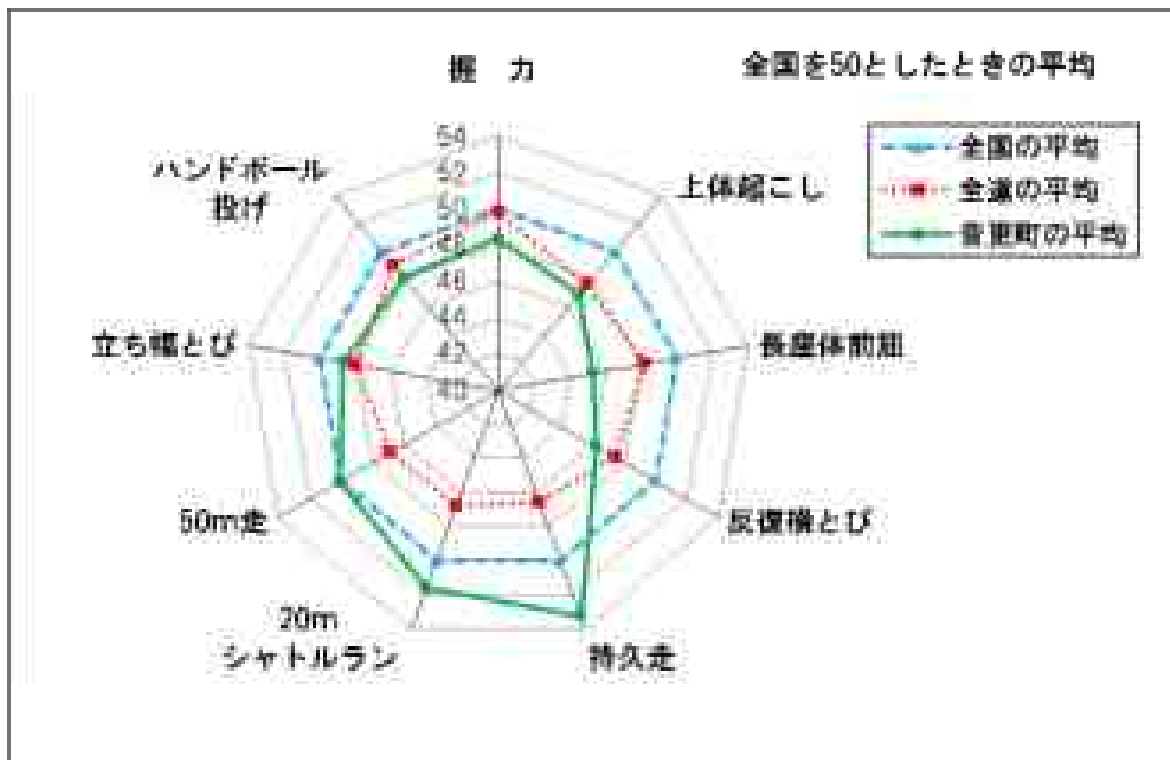


【中学校2年女子】

<分析と考察>

- 体力合計点は、前年度（H30）同様、全道平均は上回ったものの、全国平均は下回っており、その差は僅かであるが広がった。
- 各種目では、「20mシャトルラン」が、前年度に引き続き全国・全道平均を上回る結果となった。「50m走」については、全国平均を僅かに上回る結果となった。また、前年度課題となっていた「持久走」は、全国・全道平均を大きく上回る結果となった。
- 課題は、「長座体前屈」「上体起こし」「反復横とび」である。「長座体前屈」「反復横とび」は、前年度に引き続き全国・全道平均を下回る結果となった。また、「上体起こし」は、前年度全国・全道平均を上回ったが、今年度は下回る結果となった。小学生と同様に、課題として男子と同じ傾向が読み取れる。
- 中学校女子の課題として、男子と同様に「柔軟性」「筋力・筋持久力」「俊敏性」の向上を目指した指導の充実が必要である。
- 生徒質問紙では、前年度は、ほぼ全ての項目で全国平均を上回ったが、今年度は、ほぼ全ての項目で全国平均に並ぶ結果となった。また、「運動部やスポーツクラブに入っている」は全国平均を下回る結果となった。一方「体育科で学んだことは将来役に立つ」「運動は大切」と感じている生徒が多いことから、前年度に引き続き、運動に対する意識の向上や運動習慣の継続が必要である。

<各種目ごとの全国・全道平均との比較>



②体力向上のための取組

◆教育委員会の主な取組

- 1 体力・運動能力の向上、運動習慣の改善に向けた教材・教具の充実等、学校への支援
- 2 全国・体力運動能力、運動習慣等調査の分析結果を、体力向上の基礎資料として提示
- 3 体育専科教員のカシコによる体育授業の充実
- 4 体力づくり、健康づくりの振興（スポーツライフ、各種スポーツ教室、各種スポーツ大会の開催）
- 5 スポーツ指導者、リーダーの育成
- 6 スポーツの奨励及び顕彰（スポーツ大会参加補助、スポーツ賞等表彰）
- 7 町内スポーツ施設の整備充実
- 8 地産地消と食育の推進のため、おとぶけ給食などを実施

◆学校の主な取組

- 1 「年間指導計画」に基づく学校全体の体力づくりの推進
- 2 体育的行事を通じた体力づくりの充実
- 3 全国体力・運動能力、運動習慣等調査や新体力テストの結果を活用した組織的な体力向上の取組
- 4 体育（保健体育）の授業改善による基礎体力の向上と課題克服に向けた取組の充実
- 5 「体力づくり一校一実践」や「どさんこ元気アップチャレンジ」の取組
- 6 少年団活動や部活動の加入の奨励と運動習慣の確立
- 7 「年間指導計画」に沿った食に関する指導の充実（栄養教諭の活用）

◆家庭との連携による体力づくりの推進

- 1 「早寝・早起き・朝ごはん」の定着と、帰宅後の生活習慣の改善に努め、リズムのある規則正しい生活ができるようPTA等と連携した啓発活動
- 2 運動習慣の大切さに対する意識を高め、自ら運動への関心・意欲を高める工夫
- 3 食育の推進等により、望ましい食習慣を身に付け、健康的な生活習慣を形成

(3) 豊かな心の育成

子どもたちの健やかな成長と心豊かな未来のためには、自立し、共に支え合いながら、善悪の判断・人を思いやる心・命や自然を大切にすること・ふるさとを愛する心などを育成することが大切です。このため、いじめや不登校などの問題については、教育活動全体を通じての指導や道徳教育の充実、学校、家庭、教育委員会などが連携した取組が必要です。

① いじめ・不登校の現状と課題

<いじめ>

平成29年3月に国の「いじめ防止等のための基本方針」等が改定されたことに伴い、平成30年には、町や各学校の「いじめ防止基本方針」を改定し、各学校においていじめ防止のための対策を進めています。

それら対策のうちの一つである、いじめに関するアンケート調査では、いじめの全貌を把握することは難しいという認識の下、児童生徒が「嫌な思い」を感じている場合についても、いじめとして認知する必要があるということから、「いじめ」を「嫌な思い」という表現にしています。

令和2年11月に実施したいじめに関するアンケート調査では、「4月以降に、仲間はずれや無視、たたかれる、悪口を言われる等々の嫌な思いをしたことがある」と答えた小学生が541件、中学生では45件となっており、「嫌な思いは今でも続いている」と答えた小学生の事例が189件、中学生の事例が13件となっています。これらの事案については、各学校において教育相談を実施しており、3月までに解消しています。

また、「いじめはどんな理由があっても許されない」と回答している児童生徒は、85.1%で、中学生で増加しています。

いじめに関するアンケート結果の推移

項目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
嫌な思いをした（いじめられた）ことがある （単位：件）	小学生	217	416	542	543	541
	中学生	18	112	79	70	45
	計	235	528	621	613	586
嫌な思い（いじめ）は今でも続いている （単位：件）	小学生	65	144	195	184	189
	中学生	2	19	22	27	13
	計	67	163	217	211	202
いじめはどんな理由があっても許されない （単位：%）	小学生	81.4	82.1	83.5	86.8	86.8
	中学生	84.2	77.6	77.1	79.1	82.1
	計	82.4	80.2	81.0	84.1	85.1

<不登校>

令和2年度における不登校の状況は、小学生31人、中学生75人の合計106人であり、小学生、中学生とも増加しています。そのうち、適応指導教室（ふれあい教室）への通級者は、中学生11人で、前年度と同様に利用者が通級しています。

不登校の要因や背景は、保護者等の生活環境状況も含め複雑・多岐にわたっており、解消のためには、関係機関等との連携による相談・支援が重要ですが、相談等を受けずに不登校が長期間続いている児童生徒もいることが大きな課題となっています。

不登校の児童生徒数の推移

(単位：人)

項目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
不登校児童生徒数	小学生	13	6	18	28	31
	中学生	68	55	51	63	75
	計	81	61	69	91	106
上記のうち、適応指導 教室（ふれあい教室） 通級者数	小学生	0	0	1	2	0
	中学生	19	10	9	10	11
	計	19	10	10	12	11

② いじめ・不登校未然防止の取組

いじめは「どの子どもにも、どの学校でも起こりうる」という意識を持ち、教育活動全体を通じ、全ての児童生徒に「いじめは決して許されない」という理解を促し、心の通う人間関係を構築する能力を養うことが必要です。また、早期発見のためには、学校、家庭が一体となって児童生徒を見守り、ささいな変化に気づくことが必要です。

不登校については、原因を解決することが難しい場合が多いことから、特定の状況下で起こるのではなく、「どの子どもにも起こりうる」と捉え、未然防止に向けて児童生徒の自己有用感を高め、児童生徒一人一人の居場所のある学校づくりの取組が大切です。

◆教育委員会の取組

- 1 「音更町いじめ防止基本方針」に基づく、いじめ・不登校の防止等の取組
- 2 いじめ・不登校の未然防止や根絶を図るため、アンケート調査や心理検査等を実施
- 3 学校に対する支援や相談体制の充実（青少年の悩み相談電話、学校教育相談員、教育推進員、心の教室相談員等）
- 4 携帯電話やスマートフォンなどのインターネットを通じて行われるいじめの早期発見を図るため、PTA等関係機関と連携し、家庭におけるルールづくりの啓発
- 5 適応指導教室（ふれあい教室）による不登校対策
- 6 「音更町いじめ問題等対策委員会」による状況の把握及びいじめ防止啓発等の推進
- 7 家庭・地域・関係機関（警察、児童相談所、医療機関等）との連携体制の充実
- 8 保護者、児童生徒及び関係機関を対象とした不登校学習会の開催

◆学校の主な取組

- 1 「いじめ防止基本方針」に基づく、いじめ・不登校の未然防止、早期発見・早期解消の取組
- 2 いじめ・不登校の未然防止や早期発見のため、定期的に実施するアンケートや心理検査の分析を活用した教育相談や学級経営
- 3 教育相談体制の充実と教育相談の実施
- 4 道徳の時間などにおいて、共感的な関係を深め、体験的な活動の充実
- 5 ネットトラブルから児童生徒を守るため、定期的なネットパトロールの実施と情報モラル教育の充実
- 6 家庭・地域・関係機関（警察、児童相談所、医療機関等）との連携

◆家庭や地域との連携

- 1 自尊感情や他人を思いやる心の醸成
- 2 家庭だけで悩まず、学校や教育委員会などとの連携
- 3 社会教育の充実（地域で子どもを育てる気運）
- 4 携帯電話やスマートフォンなどの家庭におけるルールづくり

2 重点的な評価

(1) 確かな学力の向上

音更町教育委員会では、教育行政執行方針において、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身につけ、それらを活用できる学力を育むことが重要であると捉え、学校と家庭が連携して、「生きる力」の基盤となる確かな学力を推進していくこととしています。その取組を進める上で、子どもの学力の傾向を把握して課題を捉えるために、毎年度、全国学力・学習状況調査に参加していますが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症や休校の影響などを考慮し、全国学力・学習状況調査は実施されませんでした。

このため、令和2年度においては、北海道教育委員会が全国学力・学習状況調査の教科に関する調査問題を「ほっかいどうチャレンジテスト（2学期末問題）」に活用していることから、町内の小学校6年生と中学校3年生の国語、算数・数学において、チャレンジテストの結果を全道の結果と比較するとともに、児童・生徒質問紙調査についても、市町村教育委員会や学校が北海道教育委員会に任意で提供した調査結果（本町は全校提出）の全道集計と比較しています。

① 児童生徒の学力の現状と課題

令和2年度全国学力・学習状況調査問題を活用したチャレンジテストの分析・考察

【小学校】

<総評>

国語は全道平均を2.8ポイント、算数は全道平均を12.1ポイント上回る結果となった。記述式の問題では、国語が全道平均を11.2ポイント上回り、算数は全道平均を16.9ポイント上回った。

<領域・観点・問題形式>

- 国語は、全ての領域・観点で全道平均を上回った。領域別では、「知識・技能」で1.8ポイント、「話すこと・聞くこと」で3.1ポイント、「書くこと」で4.0ポイント、全道平均を上回り、評価の観点では、「思考・判断・表現」で3.6ポイント、「主体的に学習に取り組む態度」で11.2ポイント、全道平均を上回った。
- 国語は、問題別に見ると、「目的や意図に応じ、取材内容を基にして、自分の考えをまとめることができるかどうかを見る問題」・「目的に応じた取材の進め方を捉えることができるかどうかを見る問題」の正答率が高く、「事実と意見を区別して書くことができるかどうかを見る問題」の正答率が低かった。
- 算数は、全ての領域・観点で全道平均を大きく上回った。領域別では、「数と計算」で14.3ポイント、「図形」で11.9ポイント、「測定／変化と関係」で8.9ポイント、全道平均を上回り、評価の観点では、「知識・技能」で8.4ポイント、「思考・判断・表現」で14.3ポイント、全道平均を上回った。
- 算数は、問題別に見ると、「三角柱の底面と側面について理解しているかどうかを見る問題」の正答率が高く、「直径、円周、円周率の関係について理解しているかどうかを見る問題」の正答率が低かった。

【中学校】

<総評>

国語は全道平均と同程度、数学は全道平均を4.3ポイント上回る結果となった。記述式の問題では、国語が全道平均と同程度、数学は全道平均を6.3ポイント上回った。

<領域・観点・問題形式>

- 国語は、領域別では、「話すこと・聞くこと」・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は、全道平均と同程度で、「書くこと」は全道平均を4.5ポイント上回った。評価の観点では、「国語への関心・意欲・態度」は、全道平均と同程度であった。
- 国語は、問題別に見ると、「資料や機器などを効果的に活用した話し方について理解しているかどうかを見る問題」・「文脈に即して漢字を正しく読むことができるかどうかを見る問題」の正答率が高く、「自分の考えが相手に分かりやすく伝わるように工夫して話すことができるかどうかを見る問題」の正答率が低かった。
- 数学は、領域別では、「数と式」で3.9ポイント、「図形」で8.5ポイント、「関数」で6.4ポイント、全道平均を上回り、「資料の活用」が全道平均を2.2ポイント下回った。評価の観点では、全ての項目で全道平均を上回った。
- 数学は、問題別に見ると、「基本的な作図の方法について理解しているかどうかを見る問題」の正答率が高く、「連立方程式を解く過程を振り返り、事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができるかどうかを見る問題」の正答率が低かった。

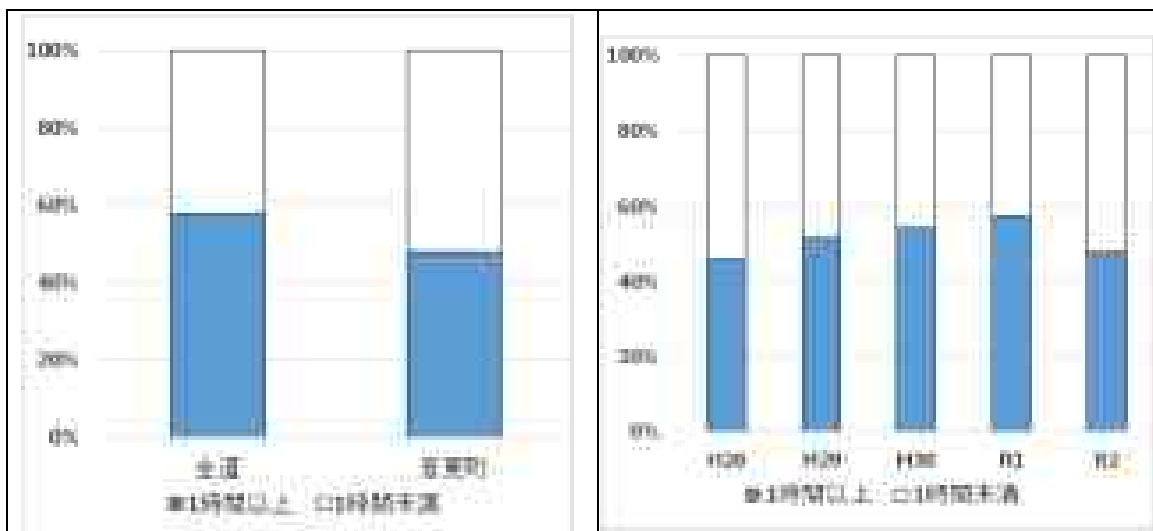
【児童・生徒質問紙】

1 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

<小学校>

【令和2年度】

【経年変化】

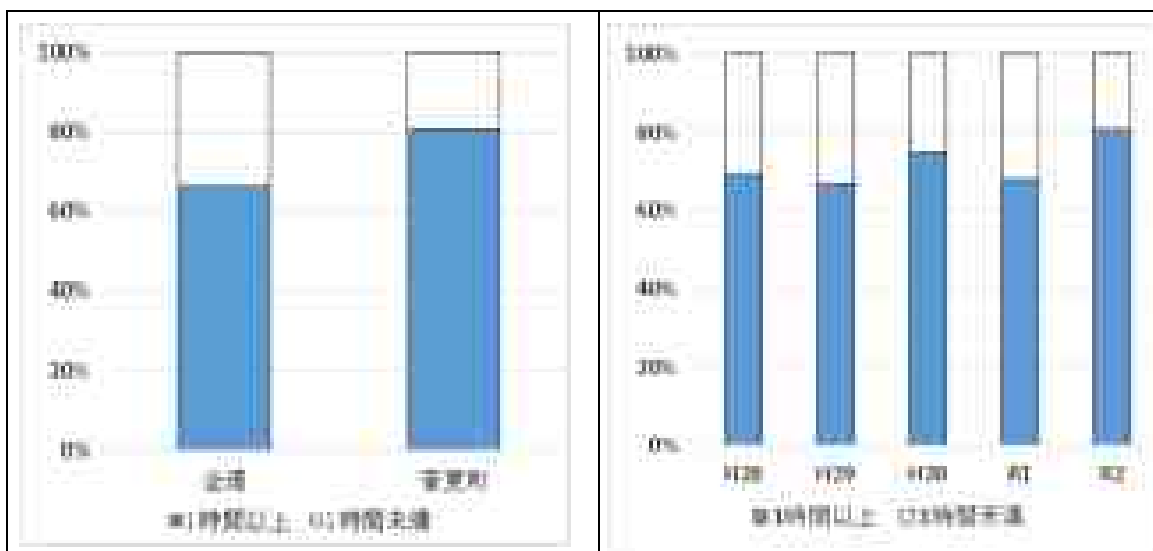


「1時間以上勉強している」と回答した割合は47.9%で、全道を9.7ポイント下回っている。経年比較では、「1時間以上勉強している」という回答は年々増加していたが、今年度は前年度より9.5ポイント減少し、家庭学習時間の減少が顕著であった。各学校では、家庭学習の手引きや導入されたタブレット端末等を活用し、家庭と連携した家庭学習の取組が求められる。

<中学校>

【令和2年度】

【経年変化】



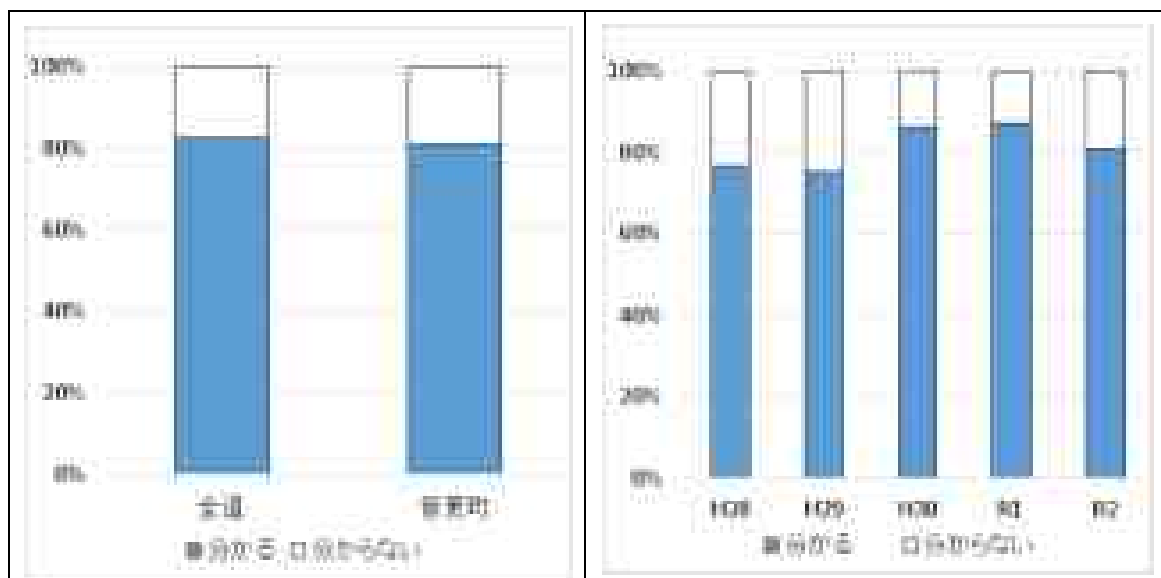
「1時間以上勉強をしている」と回答した割合は80.7%で、全道を8.3ポイント上回っている。経年比較では、ここ数年の数値が小幅で上下しているが、今年度は前年度より12.5ポイント上回り、この5年間では最も学習時間が長くなっている。今後は、勉強時間が1時間未満の生徒の割合を更に減らすとともに、2時間以上の生徒の割合増やす指導が必要である。

2 算数・数学の授業の内容は、よく分かりますか。

<小学校>

【令和2年度】

【経年変化】

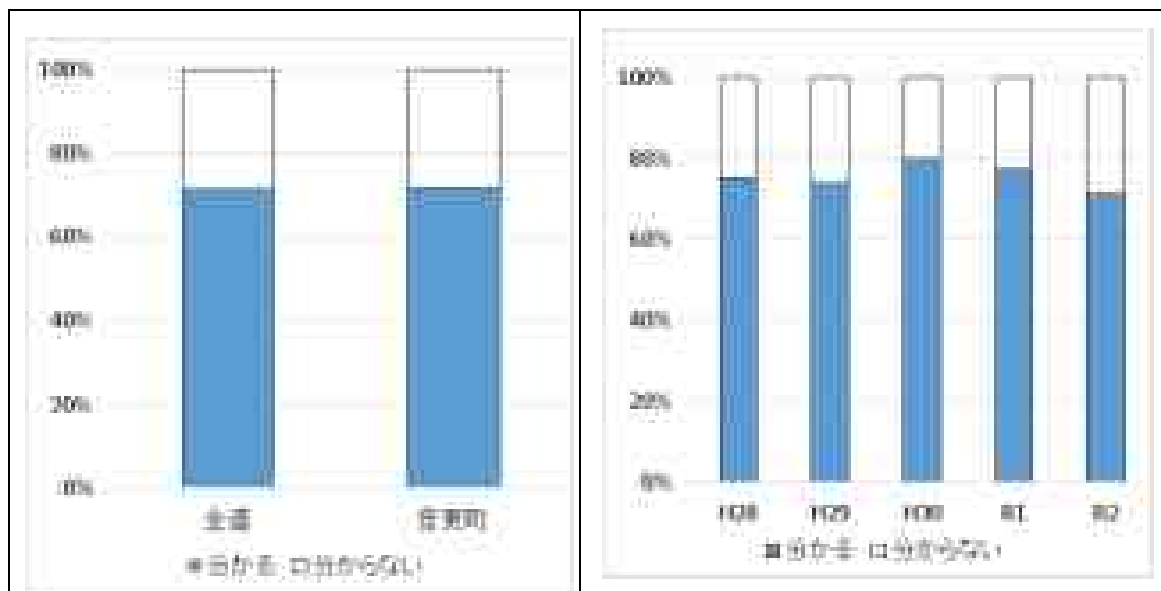


「分かる」と回答した割合は80.7%で、全道を僅かに下回っている。経年比較では、「分かる」と回答した割合は上下しているが、この3年間は80%を超え、高い水準を維持している。しかし、今年度は、「分からない」と回答した児童が20%ほどいることから、児童にとって分かりやすい算数の授業となるよう、更なる指導方法の改善が必要である。

<中学校>

【令和2年度】

【経年変化】



「分かる」と回答した割合は71.5%で、全道と同程度であった。経年比較では「分かる」と回答した割合は横ばいで、ここ3年間は減少傾向にある。今年度の結果を見ると、「分からない」と回答した割合は、約30%になり、この5年間では最も高い割合であった。授業では習熟の程度に応じた指導を取り入れたり、放課後に補充学習を行ったりするなど、様々な手段を講じて基礎学力の向上に取り組む必要がある。

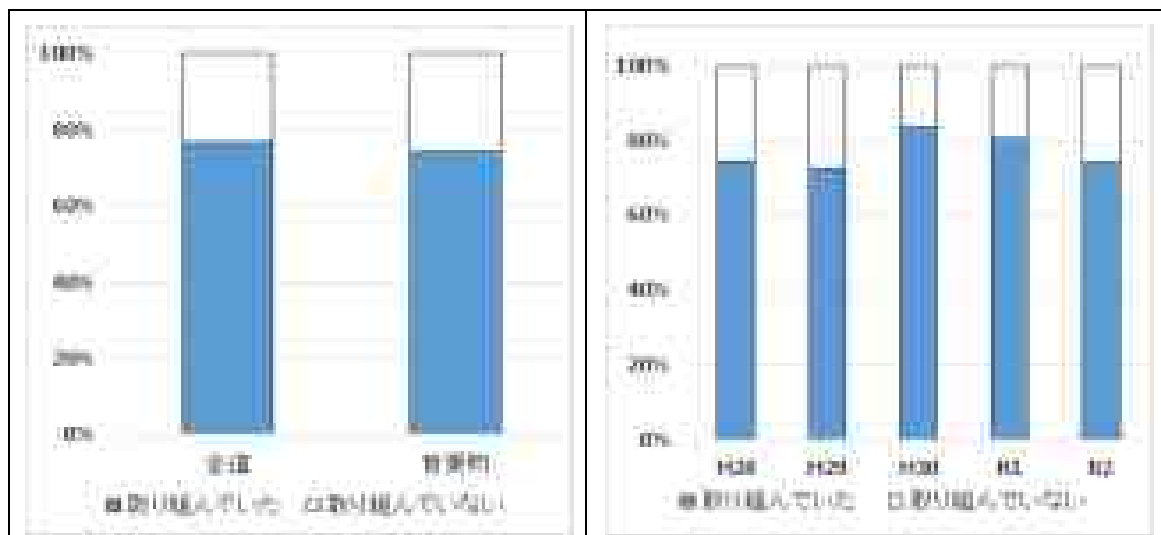
3 昨年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。

※グラフの「取り組んでいた」は、「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」の合計

<小学校>

【令和2年度】

【経年変化】

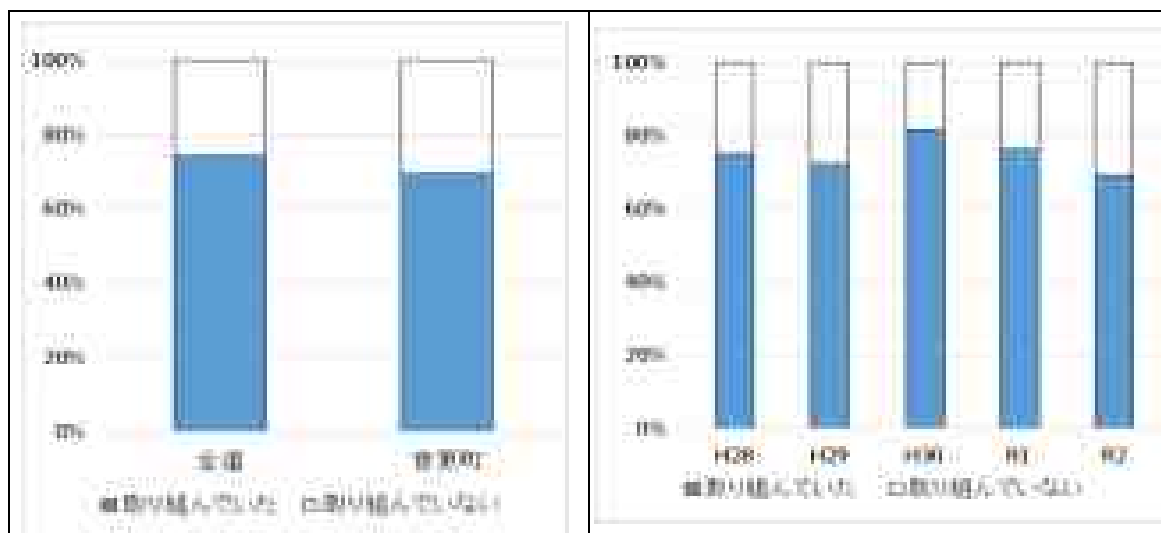


「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した割合は74.3%で、全道より2.7ポイント下回っている。この3年間の経年比較では、「取り組んでいた」と回答した割合は減少傾向にある。新学習指導要領の趣旨を踏まえた、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、更なる授業改善が求められる。

<中学校>

【令和2年度】

【経年変化】



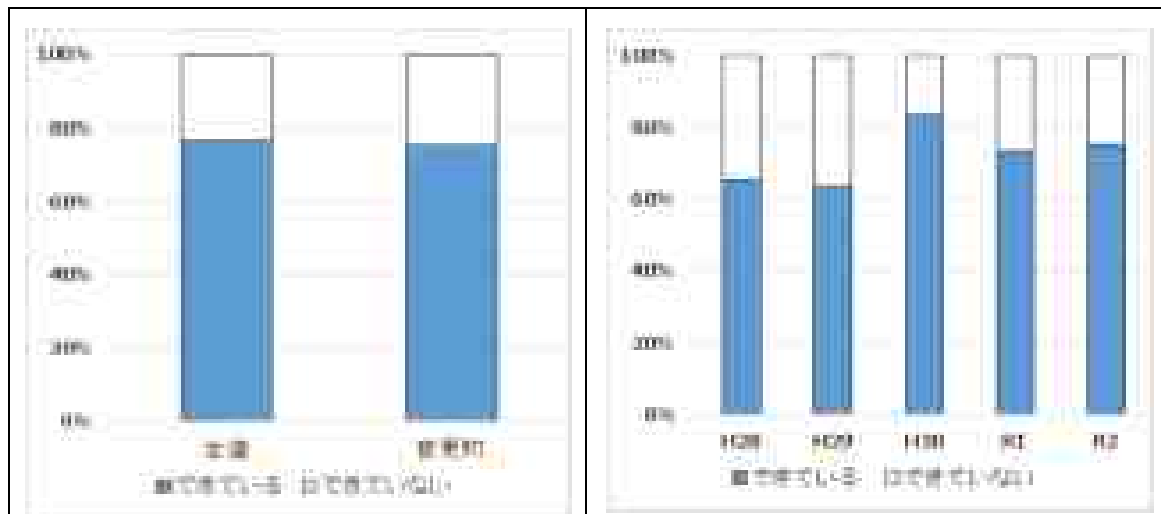
「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した割合は69.4%で、全道より4.8ポイント下回っている。この3年間の経年比較では、「取り組んでいた」と回答した割合は減少傾向にあり、今年度は昨年を7.0ポイント下回る結果となった。小学校と同様、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、更なる授業改善が求められる。

- 4 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。
 ※グラフの「できている」は、「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」の合計

<小学校>

【令和2年度】

【経年変化】

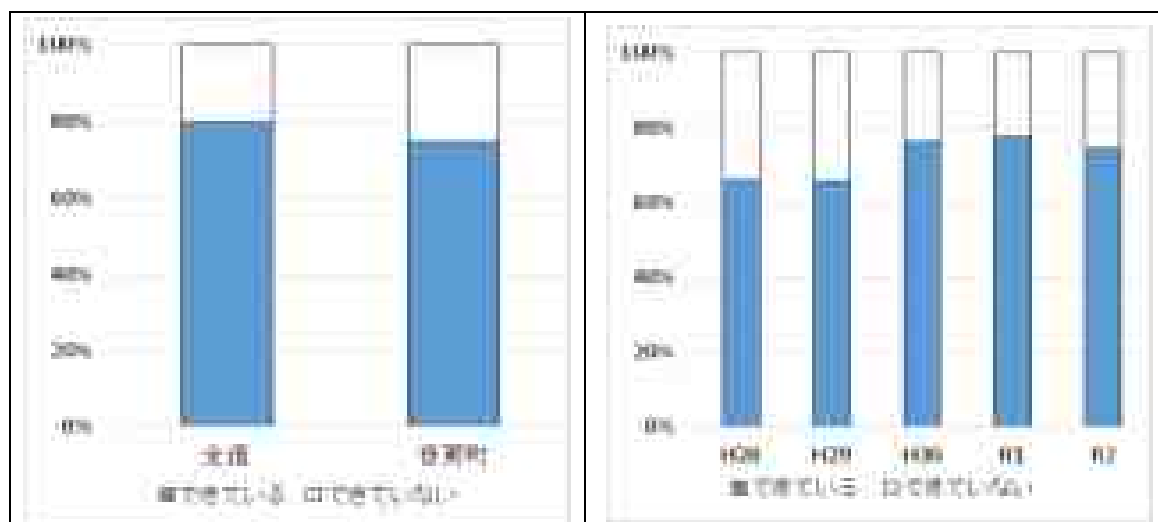


「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した割合は75.4%で、全道を1.2ポイント下回っている。経年比較では、「できている」という回答は、H30年度の83.6%をピークに下降傾向にある。しかし、この3年間は「できている」と回答した割合が70%を超えており、自分の考えを豊かにする話し合い活動が定着しつつある。

<中学校>

【令和2年度】

【経年変化】



「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した割合は74.6%で、全道を5.2ポイント下回る結果となった。この3年間の経年比較では、「できている」と回答した割合が70%を超えており、中学校でも小学校と同様に自分の考えを豊かにする話し合い活動が定着しつつあると考えられる。

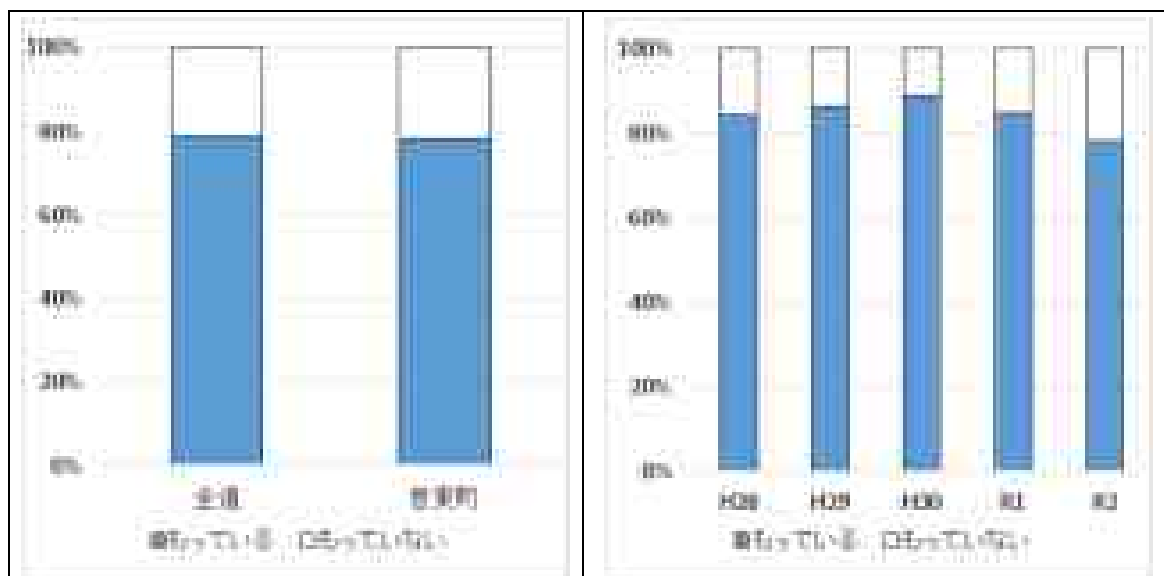
5 将来の夢や目標をもっていますか。

※グラフの「もっている」は、「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」の合計

<小学校>

【令和2年度】

【経年変化】

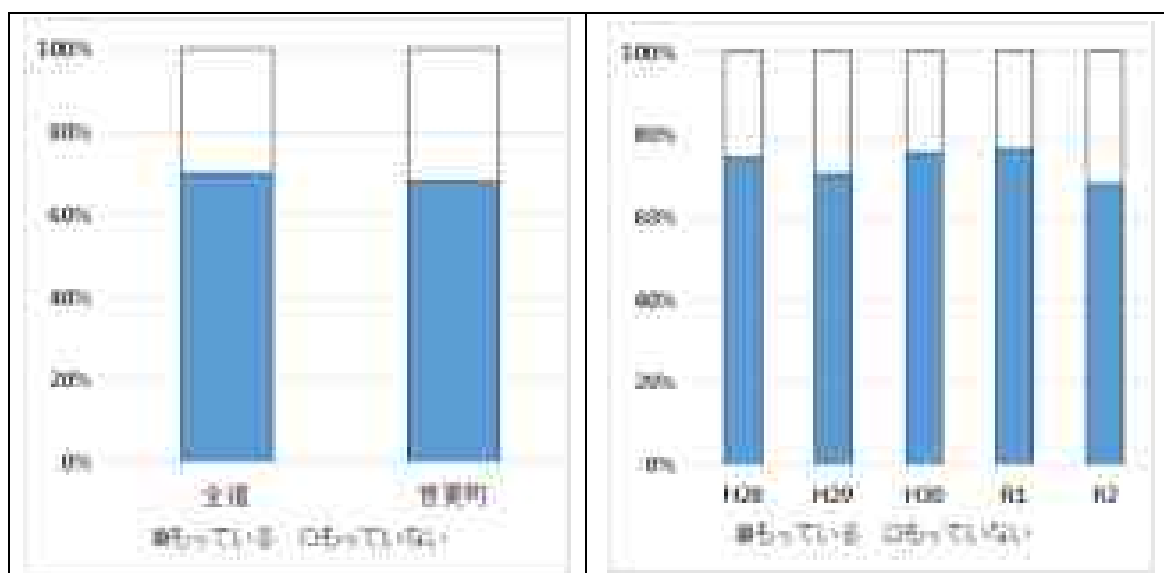


「将来の夢や目標をもっている」と回答とした割合は78.3%で、全道を僅かに下回っている。経年比較では、「将来の夢や目標をもっている」という回答は、過去数年徐々に上昇していたが、この2年間は減少傾向にあり、今年度は昨年を6.5ポイント下回った。昨年度から導入された「キャリア・パスポート」を活用した、キャリア教育の充実が必要である。

<中学校>

【令和2年度】

【経年変化】



「将来の夢や目標をもっている」と回答した割合は68.0%で、全道を2.0ポイント下回っている。経年比較では、「将来の夢や目標をもっている」という回答はここ数年70%~76%台で推移していたが、今年度はこの5年間で最も低い割合になった。昨年度から導入された「キャリア・パスポート」を活用して小学校との連携を図りながら、キャリア教育を充実していくことが求められる。

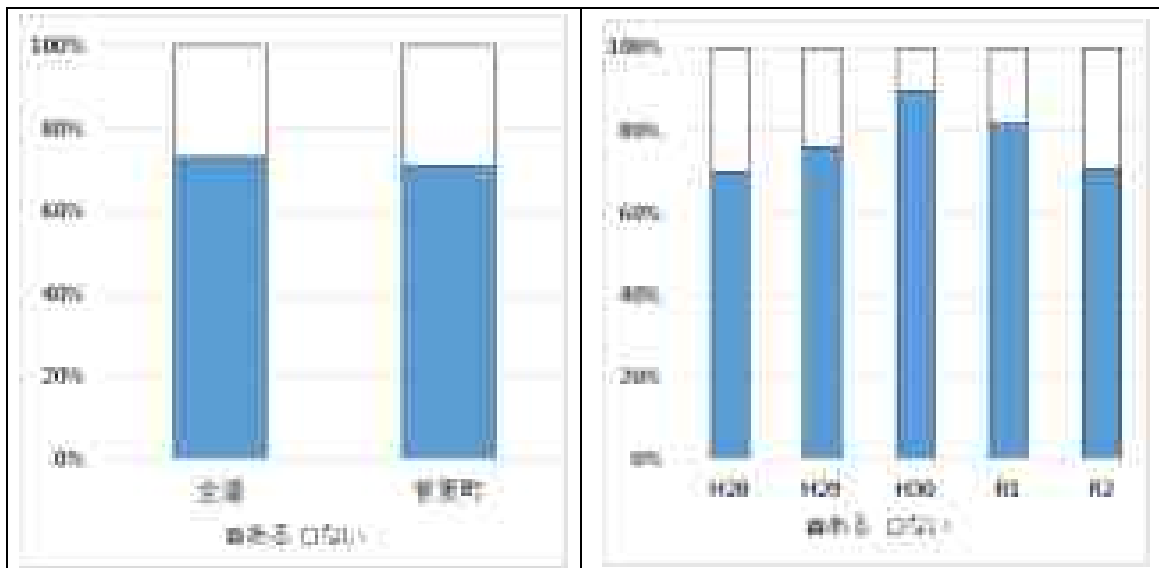
6 自分には、よいところがあると思いますか。

※グラフの「ある」は、「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」の合計

<小学校>

【令和2年度】

【経年変化】

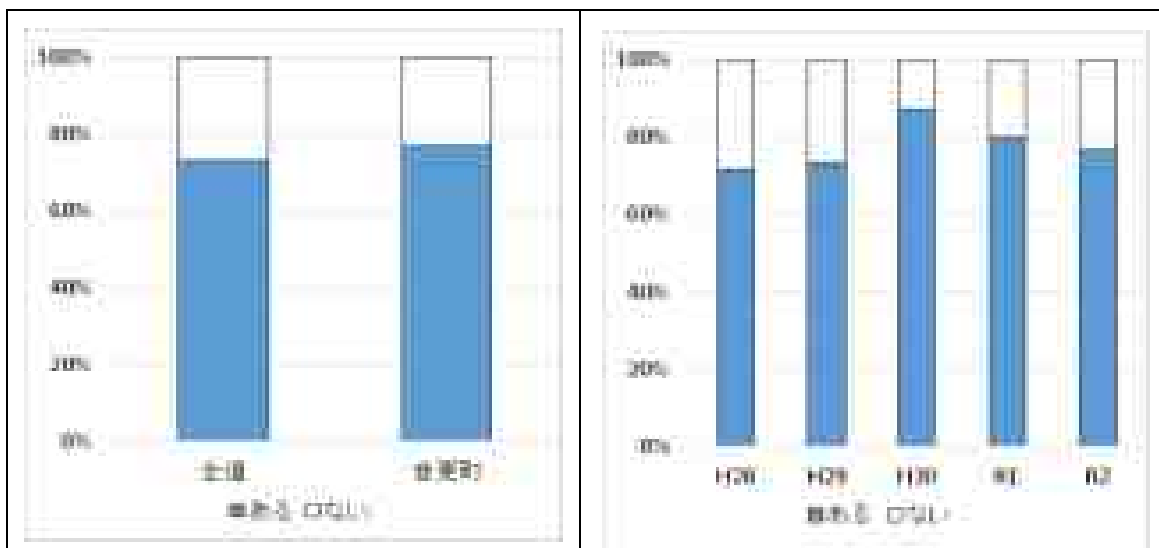


「自分には、よいところがある」と回答した割合は70.8%で、全道を2.3ポイント下回っている。経年比較では、「自分には、よいところがある」と回答した割合は、この3年間、減少傾向にあり、今年度は昨年より10ポイントほど下回った。学校でも家庭でも、児童のよいところや頑張ったことを認め、褒め、励まし、児童の自己肯定感を高めることが大切である。

<中学校>

【令和2年度】

【経年変化】



「自分には、よいところがある」と回答した割合は76.8%で、全道を3.9ポイント上回っている。経年比較では、「自分には、よいところがある」と回答した割合は、この3年間、減少傾向にあり、今年度は昨年を3ポイントほど下回った。中学校でも小学校と同様に、学校や家庭で生徒の自己肯定感を高めることが大切である。

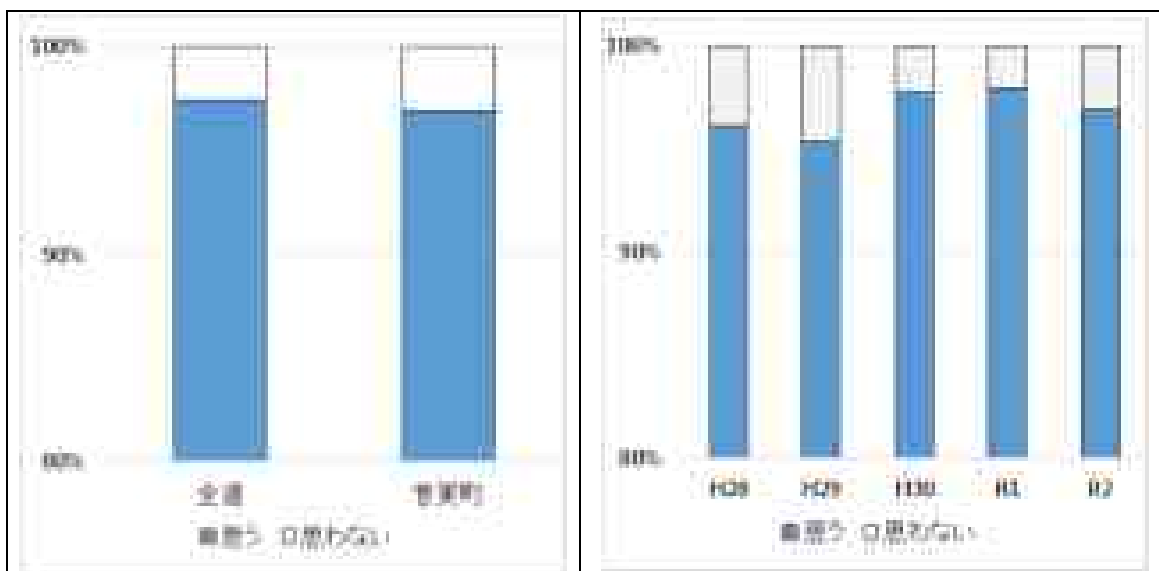
7 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

※グラフの「思う」は、「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」の合計

<小学校>

【令和2年度】

【経年変化】

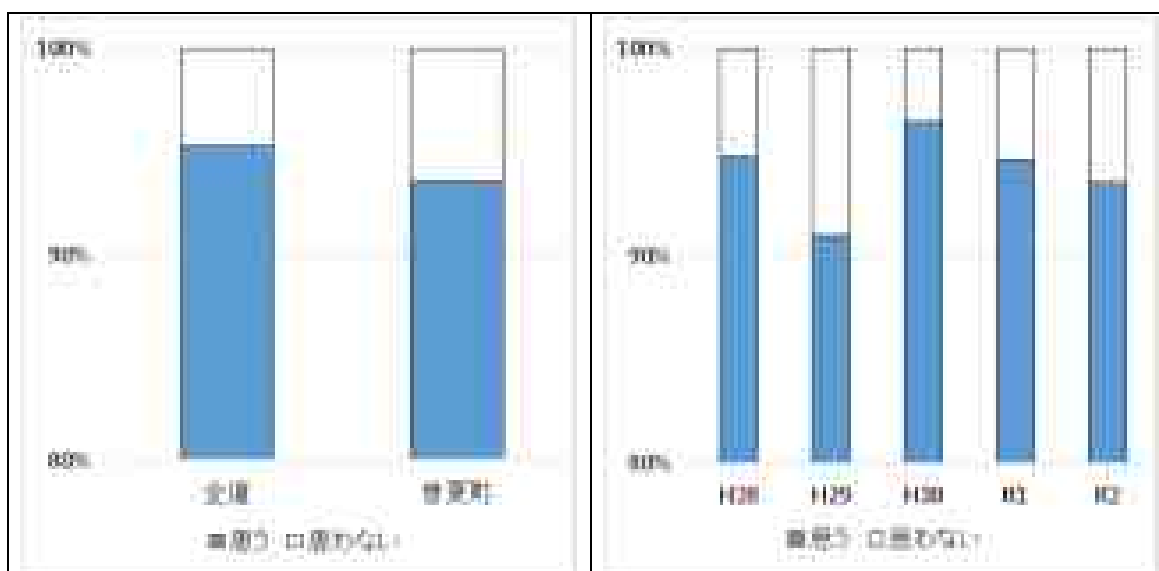


「いじめは、どんな理由があってもいけないこと」と回答した割合は96.9%で、全道と同程度であった。経年比較では、「いじめは、どんな理由があってもいけないこと」と回答した割合が、毎年90%を大きく上回っているが、全ての児童が「どんな理由があってもいじめは絶対に許されない」という強い思いを持てるよう、教育活動全体を通じた道徳教育が必要である。

<中学校>

【令和2年度】

【経年変化】



「いじめは、どんな理由があってもいけないこと」と回答した割合は93.6%で、全道を僅かに下回っている。経年比較では、「いじめは、どんな理由があってもいけないこと」と回答した割合は、90%を超える高い割合であるが、この3年間は減少傾向にある。まだ6%前後の生徒が「いじめは絶対に許されない」とは思っておらず、小学校と同様に、教育活動全体を通じた道徳教育の充実が必要である。

② 学力向上のための取組

◆教育委員会の主な取組

- 1 特別支援教育の推進のため、特別支援教育学習支援員は、平成30年度から2名増員し、32名を配置、複式教育学習支援員は平成25年度から2人を配置
- 2 35人を超える学級を有する小学校に対し、平成28年度から町費負担教諭を配置。令和2年度は7名を配置
- 3 教育相談や各種指導助言業務、学校と教育委員会の連携のため、教育推進員2名と学校教育相談員1名を配置
- 4 指導方法工夫改善事業、少人数学級実践研究事業（小2・中1）等を活用し、教員の加配等による学習環境の向上を実施
- 5 教職員の資質の向上を図るため、教職員研修（校内研修、道内研修、実践指定校事業）への補助と研修の充実
- 6 「家庭学習のすすめ」、「家庭学習の手引き」を作成し、児童生徒及び家庭に配布
- 7 学級文庫を小学校6校に配置し、夏・冬休みに本の入替を実施、また、移動文庫として小学校6校に出向き、毎月本の入替と低学年を対象とした読み聞かせを実施
- 8 小中学校のPC教室と実物投影機の計画的な整備
- 9 令和2年度からの小学校5、6学年の英語教科の開始に向けて、令和元年度から英語指導助手を1名増員
- 10 国のGIGAスクール構想に基づき、子どもたち一人一人に個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の実現に向けて、町内全ての児童・生徒にタブレット端末を配布

◆学校の主な取組

- 1 CRT（標準学力検査）の分析結果に基づく学校改善プランの作成と組織的な取組の推進
- 2 分かる授業（課題提示とまとめの時間の確保）を目指す授業改善
- 3 特別に配慮を要する児童生徒等に対する補充的な学習サポートや習熟度別指導の充実
- 4 加配教員、町費負担教諭及び学習支援員等による学習指導の充実
- 5 教職員の資質の向上を図るため、校内研修の充実と各種研修への積極的な参加
- 6 宿題や家庭学習専用ノートの活用による家庭学習の充実
- 7 「家庭学習のすすめ」や「家庭学習の手引き」を活用した家庭での学習習慣の啓発
- 8 幼保・小・中の円滑な接続による学びの連続性の確保

◆家庭や地域との連携

- 1 保護者及び地域住民に対する学習の機会及び情報の提供
- 2 学校と連携し、「早寝・早起き・朝ごはん」などによる基本的な生活習慣の定着と学習習慣の確立
- 3 リズムのある規則正しい生活ができるようPTA等と連携した啓発活動

(2) 健やかな体の育成

体力とは、人間の発達・成長を支え、体を動かす原動力であると同時に、健康を維持する上でも必要なものです。また、体力は知力や意欲・気力といった精神面の充実にも大きく関わっており、体力は「生きる力」の重要な要素の一つとなります。その取組の一つとして、全国体力・運動能力、運動習慣等調査を、小学校5年生と中学校2年生を対象に、悉皆調査を実施しています。また、調査結果を分析・考察した結果を活用して、本町児童生徒の体力・運動能力向上を推進しています。

① 児童生徒の現状と課題

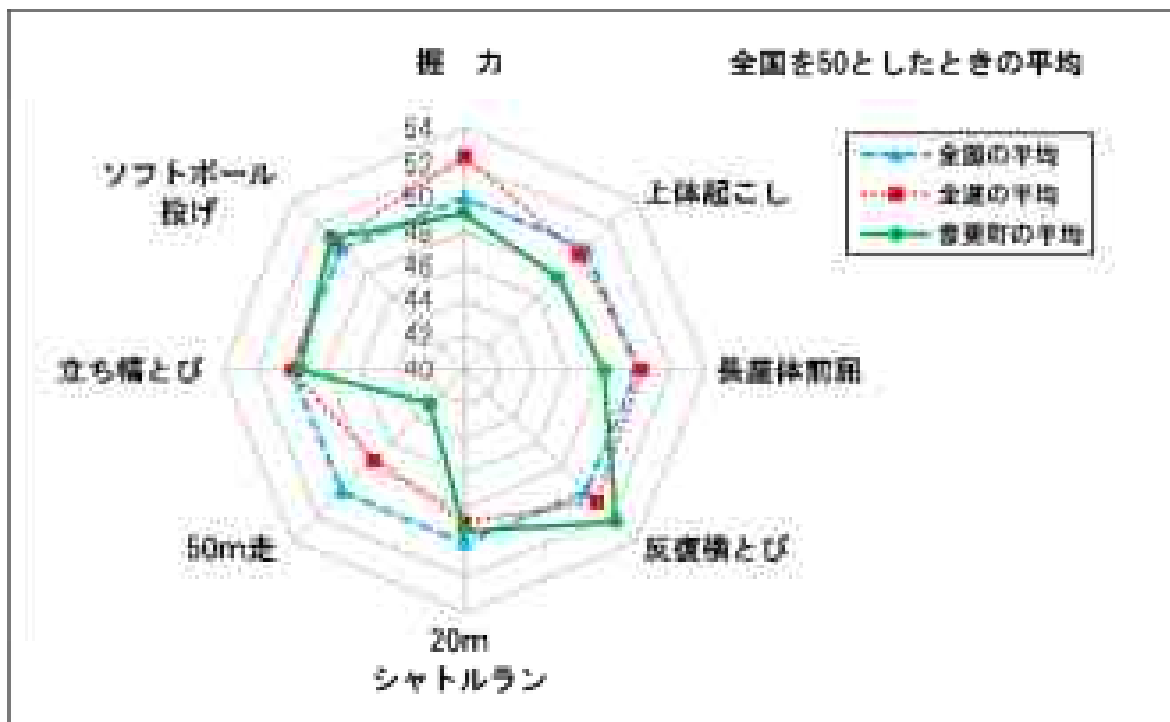
令和元年度調査の分析・考察

【小学校5年男子】

<分析と考察>

- 体力合計点は、前年度（H30）に比べ、全国・全道平均ともに下回る結果となった。
- 各種目では、「ソフトボール投げ」が前年度に引き続き、全国・全道の平均を上回る結果となった。また、「反復横とび」についても、全国・全道平均を上回る結果となった。
- 前年度課題となっていた「20mシャトルラン」においては、全道平均を上回り、全国平均に近づく結果となった。
- **課題は「50m走」「上体起こし」「長座体前屈」である。「50m走」は、前年度全国平均を僅かに下回り、全道平均を上回ったが、今年度は全国・全道平均を大幅に下回る結果となった。また、「上体起こし」は前年度全国・全道平均と同程度で、「長座体前屈」は前年度全国・全道平均を上回ったが、今年度は両種目ともに全国・全道平均を下回る結果となった。**
- 小学校男子の課題として、「**スピード**」「**筋力・筋持久力**」「**柔軟性**」の向上を目指した指導の充実が必要である。
- 児童質問紙では、前年度に比べ、「運動部やスポーツクラブに入っている」が全道平均を上回り、全国平均と並ぶ結果となった。その他の項目では全て全国・全道平均を上回る結果となった。体育科の授業、運動部やスポーツクラブでの活動を通し、運動をすることの楽しさを感じている子どもや「体育科で学んだことは将来役に立つ」「運動は大切」と感じている子どもが多い。

<各種目ごとの全国・全道平均との比較>

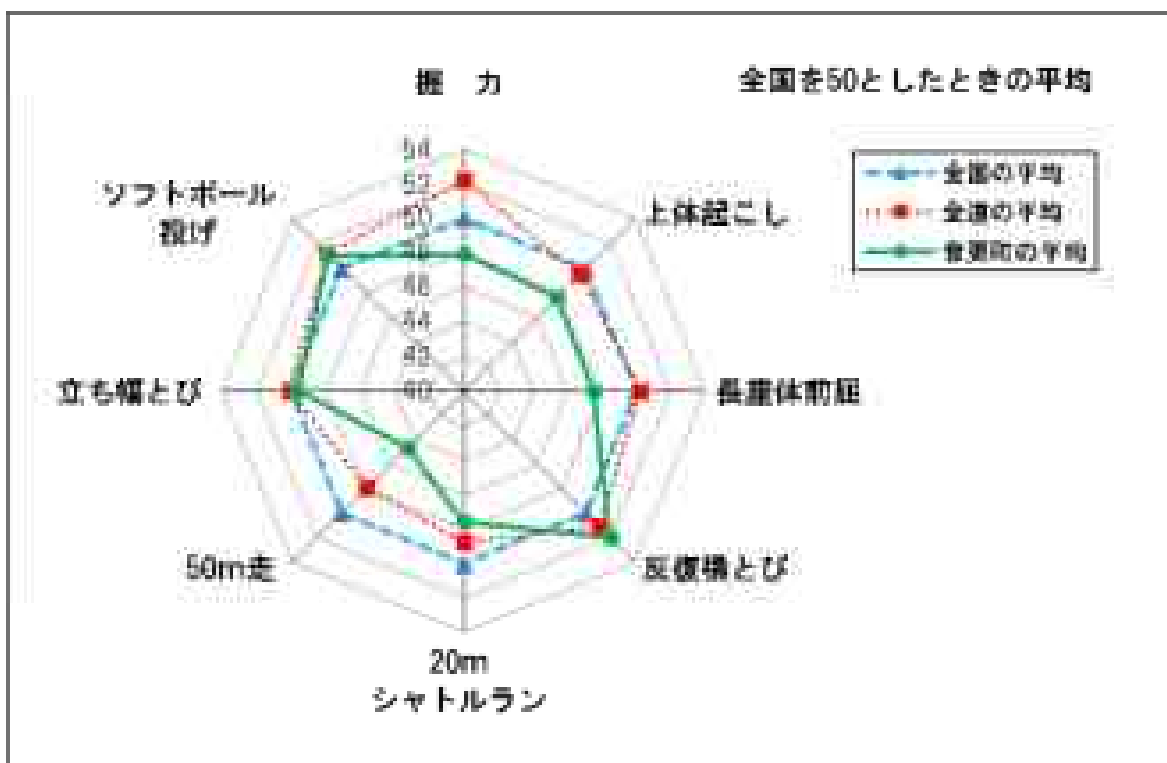


【小学校5年女子】

<分析と考察>

- 体力合計点は、前年度（H30）に比べ、全国・全道平均を下回る結果となった。
- 各種目では、「ソフトボール投げ」が全国平均を上回り、全道平均に近づく結果となった。また、前年度課題となっていた「反復横とび」は、全国・全道平均を上回る結果となった。
- **課題は「50m走」「上体起こし」「長座体前屈」である。「50m走」は、前年度全国平均を下回り、全道平均を上回ったが、今年度は全国・全道平均を大幅に下回る結果となった。また、「上体起こし」は前年度全国・全道平均と同程度で、「長座体前屈」は前年度全国・全道平均を上回ったが、今年度は兩種目ともに全国・全道平均を下回る結果となった。課題として男子と同じ傾向が読み取れる。**
- 小学校女子の課題として、**男子と同様に「スピード」「筋力・筋持久力」「柔軟性」の向上**を目指した指導の充実が必要である。
- 児童質問紙では、前年度は全国・全道平均を上回っていた「体育科の授業は楽しい」が、今年度は全国・全道平均を下回る結果となった。また、「運動部やスポーツクラブに入っている」は、前年度に引き続き全国平均を下回る結果となった。一方、「体育科で学んだことは将来役に立つ」「運動が好き」は、全国・全道平均を上回る結果となった。運動が好きで、学んだことは役に立つと感じている子どもが多い。

<各種目ごとの全国・全道平均との比較>



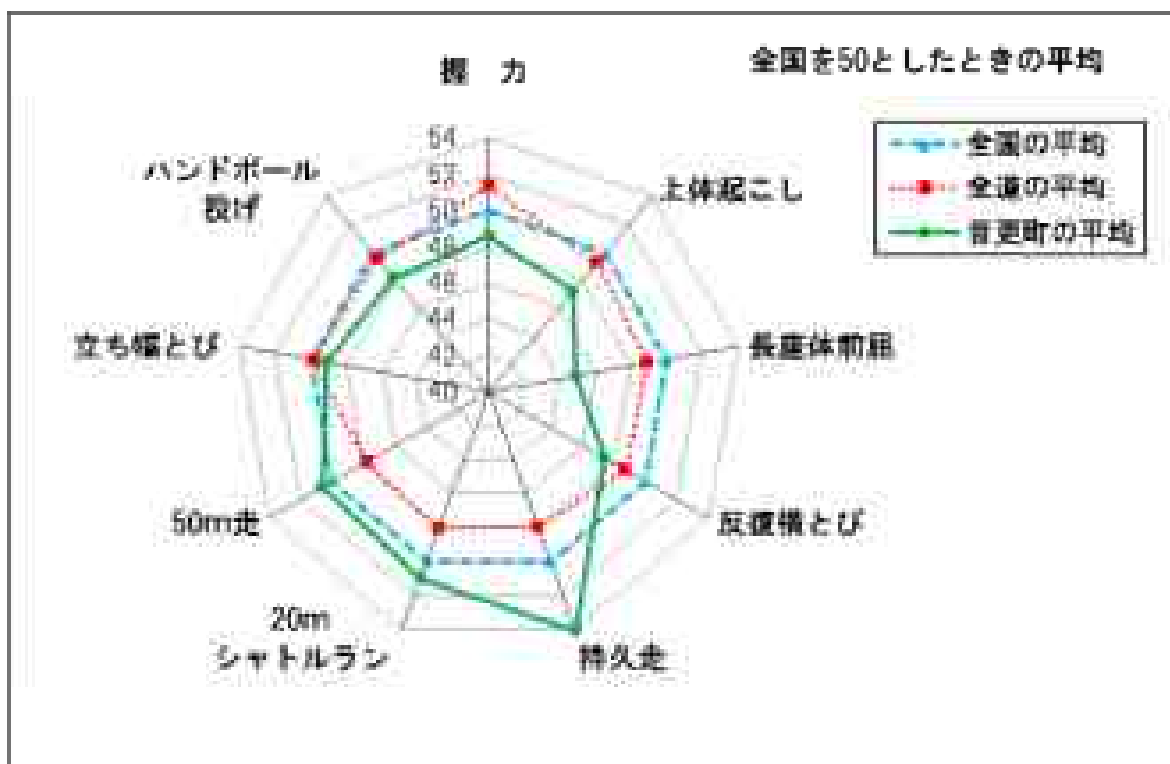
【中学校2年男子】

<分析と考察>

- 体力合計点は、前年度（H30）に比べ、全国・全道平均ともに下回る結果となった。
- 各種目では「50m走」「20mシャトルラン」が、前年度に引き続き全国・全道平均を上回る結果となった。また、前年度の課題となっていた「持久走」は、今年度全国・全道平均を大幅に上回る結果となった。
- 課題は、「長座体前屈」「上体起こし」「反復横とび」である。「長座体前屈」「反復横とび」は、前年度に引き続き全国・全道平均を下回る結果となった。また、「上体起こし」は、前年度全国・全道平均を上回ったが、今年度は下回る結果となった。
- 中学校男子の課題として、「柔軟性」「**筋力・筋持久力**」「俊敏性」の向上を目指した指導の充実が必要である。
- 生徒質問紙では、前年度同様、ほぼ全ての項目で全国平均を上回り、運動に対する意識の向上や運動習慣の定着がなされていると考えられる。

全国平均を100としたとき「体育化の授業は楽しい」が107、「運動が好き」が105と上回る結果となった。また、「体育科で学んだことは将来役に立つ」「運動は大切」も全国平均を上回っており、前年度に引き続き、指導と運動への意識向上の結びつきが高い状態であることがわかる。

<各種目ごとの全国・全道平均との比較>

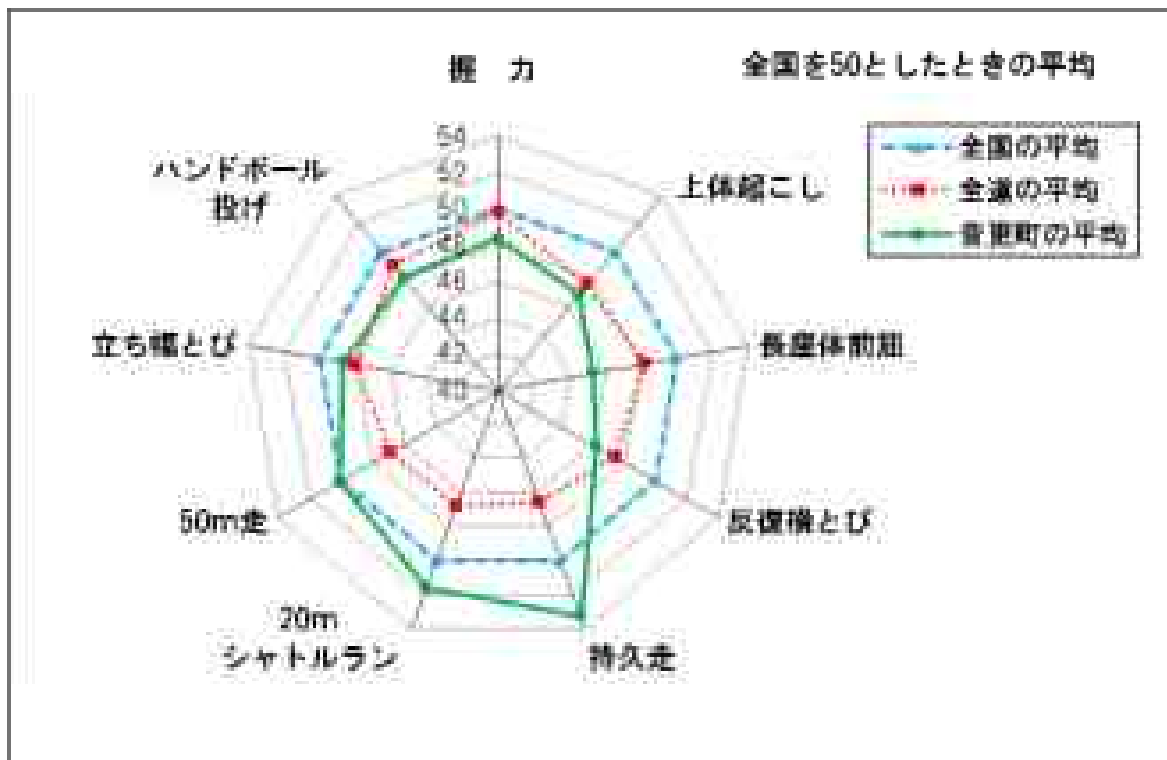


【中学校2年女子】

<分析と考察>

- 体力合計点は、前年度（H30）同様、全道平均は上回ったものの、全国平均は下回っており、その差は僅かであるが広がった。
- 各種目では、「20mシャトルラン」が、前年度に引き続き全国・全道平均を上回る結果となった。「**50m走**」については、**全国平均を僅かに上回る結果**となった。また、前年度課題となっていた「持久走」は、全国・全道平均を大きく上回る結果となった。
- 課題は、「長座体前屈」「上体起こし」「反復横とび」である。「長座体前屈」「反復横とび」は、前年度に引き続き全国・全道平均を下回る結果となった。また、「上体起こし」は、前年度全国・全道平均を上回ったが、今年度は下回る結果となった。**小学生と同様に、課題として男子と同じ傾向が読み取れる。**
- 中学校女子の課題として、**男子と同様に「柔軟性」「筋力・筋持久力」「俊敏性」の向上**を目指した指導の充実が必要である。
- 生徒質問紙では、前年度は、ほぼ全ての項目で全国平均を上回ったが、今年度は、ほぼ全ての項目で全国平均に並ぶ結果となった。また、「運動部やスポーツクラブに入っている」は全国平均を下回る結果となった。一方「体育科で学んだことは将来役に立つ」「運動は大切」と感じている生徒が多いことから、前年度に引き続き、運動に対する意識の向上や運動習慣の継続が必要である。

<各種目ごとの全国・全道平均との比較>



②体力向上のための取組

◆教育委員会の主な取組

- 1 体力・運動能力の向上、運動習慣の改善に向けた教材・教具の充実等、学校への支援
- 2 全国・体力運動能力、運動習慣等調査の分析結果を、体力向上の基礎資料として提示
- 3 体育専科教員のカシコによる体育授業の充実
- 4 体力づくり、健康づくりの振興（スポーツライフ、各種スポーツ教室、各種スポーツ大会の開催）
- 5 スポーツ指導者、リーダーの育成
- 6 スポーツの奨励及び顕彰（スポーツ大会参加補助、スポーツ賞等表彰）
- 7 町内スポーツ施設の整備充実
- 8 地産地消と食育の推進のため、おとぶけ給食などを実施

◆学校の主な取組

- 1 「年間指導計画」に基づく学校全体の体力づくりの推進
- 2 体育的行事を通じた体力づくりの充実
- 3 全国体力・運動能力、運動習慣等調査や新体力テストの結果を活用した組織的な体力向上の取組
- 4 体育（保健体育）の授業改善による基礎体力の向上と課題克服に向けた取組の充実
- 5 「体力づくり一校一実践」や「どさんこ元気アップチャレンジ」の取組
- 6 少年団活動や部活動の加入の奨励と運動習慣の確立
- 7 「年間指導計画」に沿った食に関する指導の充実（栄養教諭の活用）

◆家庭との連携による体力づくりの推進

- 1 「早寝・早起き・朝ごはん」の定着と、帰宅後の生活習慣の改善に努め、リズムのある規則正しい生活ができるようPTA等と連携した啓発活動
- 2 運動習慣の大切さに対する意識を高め、自ら運動への関心・意欲を高める工夫
- 3 食育の推進等により、望ましい食習慣を身に付け、健康的な生活習慣を形成

(3) 豊かな心の育成

子どもたちの健やかな成長と心豊かな未来のためには、自立し、共に支え合いながら、善悪の判断・人を思いやる心・命や自然を大切にすること・ふるさとを愛する心などを育成することが大切です。このため、いじめや不登校などの問題については、教育活動全体を通じての指導や道徳教育の充実、学校、家庭、教育委員会などが連携した取組が必要です。

① いじめ・不登校の現状と課題

<いじめ>

平成29年3月に国の「いじめ防止等のための基本方針」等が改定されたことに伴い、平成30年には、町や各学校の「いじめ防止基本方針」を改定し、各学校においていじめ防止のための対策を進めています。

それら対策のうちの一つである、いじめに関するアンケート調査では、いじめの全貌を把握することは難しいという認識の下、児童生徒が「嫌な思い」を感じている場合についても、いじめとして認知する必要があるということから、「いじめ」を「嫌な思い」という表現にしています。

令和2年11月に実施したいじめに関するアンケート調査では、「4月以降に、仲間はずれや無視、たたかれる、悪口を言われる等々の嫌な思いをしたことがある」と答えた小学生が541件、中学生では45件となっており、「嫌な思いは今でも続いている」と答えた小学生の事例が189件、中学生の事例が13件となっています。これらの事案については、各学校において教育相談を実施しており、3月までに解消しています。

また、「いじめはどんな理由があっても許されない」と回答している児童生徒は、85.1%で、**中学生で増加**しています。

いじめに関するアンケート結果の推移

項目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
嫌な思いをした（いじめられた）ことがある (単位：件)	小学生	217	416	542	543	541
	中学生	18	112	79	70	45
	計	235	528	621	613	586
嫌な思い（いじめ）は今でも続いている (単位：件)	小学生	65	144	195	184	189
	中学生	2	19	22	27	13
	計	67	163	217	211	202
いじめはどんな理由があっても許されない (単位：%)	小学生	81.4	82.1	83.5	86.8	86.8
	中学生	84.2	77.6	77.1	79.1	82.1
	計	82.4	80.2	81.0	84.1	85.1

<不登校>

令和2年度における不登校の状況は、小学生31人、中学生75人の合計106人であり、小学生、中学生とも増加しています。そのうち、適応指導教室（ふれあい教室）への通級者は、中学生11人で、前年度と同様に利用者が通級しています。

不登校の要因や背景は、保護者等の生活環境状況も含め複雑・多岐にわたっており、解消のためには、関係機関等との連携による相談・支援が重要ですが、相談等を受けずに不登校が長期間続いている児童生徒もいることが大きな課題となっています。

不登校の児童生徒数の推移

(単位：人)

項目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
不登校児童生徒数	小学生	13	6	18	28	31
	中学生	68	55	51	63	75
	計	81	61	69	91	106
上記のうち、適応指導 教室（ふれあい教室） 通級者数	小学生	0	0	1	2	0
	中学生	19	10	9	10	11
	計	19	10	10	12	11

② いじめ・不登校未然防止の取組

いじめは「どの子どもにも、どの学校でも起こりうる」という意識を持ち、教育活動全体を通じ、全ての児童生徒に「いじめは決して許されない」という理解を促し、心の通う人間関係を構築する能力を養うことが必要です。また、早期発見のためには、学校、家庭が一体となって児童生徒を見守り、ささいな変化に気づくことが必要です。

不登校については、原因を解決することが難しい場合が多いことから、特定の状況下で起こるのではなく、「どの子どもにも起こりうる」と捉え、未然防止に向けて児童生徒の自己有用感を高め、児童生徒一人一人の居場所のある学校づくりの取組が大切です。

◆教育委員会の取組

- 1 「音更町いじめ防止基本方針」に基づく、いじめ・不登校の防止等の取組
- 2 いじめ・不登校の未然防止や根絶を図るため、アンケート調査や心理検査等を実施
- 3 学校に対する支援や相談体制の充実（青少年の悩み相談電話、学校教育相談員、教育推進員、心の教室相談員等）
- 4 携帯電話やスマートフォンなどのインターネットを通じて行われるいじめの早期発見を図るため、PTA等関係機関と連携し、家庭におけるルールづくりの啓発
- 5 適応指導教室（ふれあい教室）による不登校対策
- 6 「音更町いじめ問題等対策委員会」による状況の把握及びいじめ防止啓発等の推進
- 7 家庭・地域・関係機関（警察、児童相談所、医療機関等）との連携体制の充実
- 8 保護者、児童生徒及び関係機関を対象とした不登校学習会の開催

◆学校の主な取組

- 1 「いじめ防止基本方針」に基づく、いじめ・不登校の未然防止、早期発見・早期解消の取組
- 2 いじめ・不登校の未然防止や早期発見のため、定期的に実施するアンケートや心理検査の分析を活用した教育相談や学級経営
- 3 教育相談体制の充実と教育相談の実施
- 4 道徳の時間などにおいて、共感的な関係を深め、体験的な活動の充実
- 5 ネットトラブルから児童生徒を守るため、定期的なネットパトロールの実施と情報モラル教育の充実
- 6 家庭・地域・関係機関（警察、児童相談所、医療機関等）との連携

◆家庭や地域との連携

- 1 自尊感情や他人を思いやる心の醸成
- 2 家庭だけで悩まず、学校や教育委員会などとの連携
- 3 社会教育の充実（地域で子どもを育てる気運）
- 4 携帯電話やスマートフォンなどの家庭におけるルールづくり

3 教育行政推進における主要な施策の実施状況

項 目 主 要 な 施 策	成 果	教育委員会の点検・評価												
文 教 対 策														
1 教 職 員 研 修	<p>教職員の資質の向上を図るため、次のとおり研修を行った。</p> <p>対象教職員 377人 1,619,130円</p>	<p>教職員の素養、知識、技術向上のために学校内で行う研修と、道内研修参加者にその費用を交付した。また、学校内で創意工夫した研修を奨励する「校内研修実践指定校事業」を6校で実施した。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で多くの研修が中止となったが、今後も教職員の資質向上のため、継続していく必要がある。</p>												
2 教 職 員 健 康 対 策	<p>教職員の健康診断及びストレスチェックを次のとおり実施した。</p> <p>健康診断受診人数349人 ストレスチェック受検人数366人 5,215,078円</p> <p>〔胸部X線、胃検査、血圧検査、尿検査、血液検査〕 心電図検査、聴力検査、身体総合検査</p>	<p>教職員の健康診断を帯広徳州会病院に委託して実施した。1日当たりの受入れ人数に制限があるため（1日5人程度）、長期間に渡って実施している。また、平成29年度から、メンタルヘルス不調の未然防止やストレスへの気づきを促すため、教職員のストレスチェックを実施している。長期休業期間中に多くの教職員が受診できるよう日程を調整し、継続して実施する必要がある。</p>												
3 教育の日推進事業	<p>音更町の教育の充実と発展を図るため、記念フェスタの開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年度は中止した。</p>	<p>おとふけ「教育を考える日」の理念や趣旨、具体的な取組等を紹介することで、町民の教育への関心を高め、本町教育の充実と発展を図るために、実行委員会に交付金を交付して実施している。今年度は新型コロナウイルス感染症対策により中止したが、今後も継続して教育に関する取組を紹介することで、関心を高めていきたい。</p>												
4 教材教具の整備	<p>小中学校の教材教具を次のとおり整備した。</p> <p>(単位 円)</p> <table border="1" data-bbox="477 943 987 1118"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>学校数</th> <th>整備額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>12</td> <td>10,403,088</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>5</td> <td>3,641,110</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17</td> <td>14,044,198</td> </tr> </tbody> </table>	区分	学校数	整備額	小学校	12	10,403,088	中学校	5	3,641,110	計	17	14,044,198	<p>新設の普通学級や特別支援学級に必要な教材や、学校要望を整理した上で教材教具を整備し、教育環境の充実を図っている。</p> <p>また、吹奏楽の楽器は年次計画で各中学校に整備している。今後も、計画的に教材教具を整備していく必要がある。</p>
区分	学校数	整備額												
小学校	12	10,403,088												
中学校	5	3,641,110												
計	17	14,044,198												
5 総合的な学習の時間支援事業	<p>総合的な学習の時間として、創意工夫を生かした特色ある学校づくりの推進を図った。</p> <p>(単位 円)</p> <table border="1" data-bbox="477 1209 987 1385"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>学校数</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>12</td> <td>1,332,770</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>5</td> <td>798,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17</td> <td>2,130,770</td> </tr> </tbody> </table>	区分	学校数	交付額	小学校	12	1,332,770	中学校	5	798,000	計	17	2,130,770	<p>総合的な学習の時間における教育活動において、創意工夫による特色ある学校づくりのため、小中学校にその経費を交付している。</p> <p>今後も、国際理解・情報・環境・福祉・健康教育等の総合的な教育活動の推進のために必要である。</p>
区分	学校数	交付額												
小学校	12	1,332,770												
中学校	5	798,000												
計	17	2,130,770												

項 目 主 要 な 施 策	成 果	教育委員会の点検・評価																																																
6 就 学 援 助	<p>経済的理由により就学困難な児童生徒に対し、次のとおり就学援助費を支給した。</p> <p style="text-align: center;">(単位 人、円)</p> <table border="1" data-bbox="474 304 1072 885"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>支給人数</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学用品費</td> <td>1,015</td> <td>19,872,043</td> </tr> <tr> <td>体育実技用具費</td> <td>378</td> <td>4,464,180</td> </tr> <tr> <td>入学準備金</td> <td>40</td> <td>2,128,140</td> </tr> <tr> <td>入学準備金(早期支給)</td> <td>183</td> <td>10,595,580</td> </tr> <tr> <td>卒業アルバム代</td> <td>252</td> <td>2,947,480</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>246</td> <td>5,558,541</td> </tr> <tr> <td>通学費</td> <td>9</td> <td>128,226</td> </tr> <tr> <td>P T A 会費</td> <td>688</td> <td>1,893,590</td> </tr> <tr> <td>生徒会費</td> <td>315</td> <td>123,530</td> </tr> <tr> <td>クラブ活動費</td> <td>186</td> <td>2,501,774</td> </tr> <tr> <td>医療費</td> <td>687</td> <td>2,331,896</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>999</td> <td>47,128,393</td> </tr> <tr> <td>管理指導表文書料</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>99,673,373</td> </tr> <tr> <td>(うち)新型コロナウイルス感染症の影響による特別枠</td> <td>5</td> <td>470,562</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 400px;">児童生徒数 3,886人 認定者数 1,028人 認定率 26.4%</p>	区分	支給人数	支給額	学用品費	1,015	19,872,043	体育実技用具費	378	4,464,180	入学準備金	40	2,128,140	入学準備金(早期支給)	183	10,595,580	卒業アルバム代	252	2,947,480	修学旅行費	246	5,558,541	通学費	9	128,226	P T A 会費	688	1,893,590	生徒会費	315	123,530	クラブ活動費	186	2,501,774	医療費	687	2,331,896	給食費	999	47,128,393	管理指導表文書料			計		99,673,373	(うち)新型コロナウイルス感染症の影響による特別枠	5	470,562	<p>経済的理由により就学困難な児童生徒に対し、就学援助をすることにより、経費負担の軽減を図っている。</p> <p>認定者数は、児童生徒数が減少しているにもかかわらず、昨年度より29人増加となっており、認定率が1.4ポイント上昇した。また、全体の支給額は、修学旅行費が新型コロナウイルス感染症の影響による行き先の変更や教育旅行支援事業など助成制度の適用により支給額が大幅に減少したことから、令和元年度に比べ約409万円の減となっている。</p> <p>令和2年度は、新たに新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入が著しく減少した方を支給対象者として特別枠を設け、就学援助を支給した。</p> <p>今後も保護者負担の軽減のため、継続していくことが必要である。</p>
区分	支給人数	支給額																																																
学用品費	1,015	19,872,043																																																
体育実技用具費	378	4,464,180																																																
入学準備金	40	2,128,140																																																
入学準備金(早期支給)	183	10,595,580																																																
卒業アルバム代	252	2,947,480																																																
修学旅行費	246	5,558,541																																																
通学費	9	128,226																																																
P T A 会費	688	1,893,590																																																
生徒会費	315	123,530																																																
クラブ活動費	186	2,501,774																																																
医療費	687	2,331,896																																																
給食費	999	47,128,393																																																
管理指導表文書料																																																		
計		99,673,373																																																
(うち)新型コロナウイルス感染症の影響による特別枠	5	470,562																																																
7 奨 学 資 金	<p>高校在学者で家庭の経済的な理由により就学困難な者に対し、奨学資金を支給した。</p> <p>《通常枠》 (単位 人、円)</p> <table border="1" data-bbox="474 986 1249 1131"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>支給人数</th> <th>奨学資金</th> <th>支給総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通年(公立高校)</td> <td>69</td> <td>月額 6,500</td> <td>5,323,500</td> </tr> <tr> <td>通年(私立高校)</td> <td>38</td> <td>月額 10,000</td> <td>4,560,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>107</td> <td></td> <td>9,883,500</td> </tr> </tbody> </table> <p>《新型コロナウイルス感染症の影響による特別枠》 (単位 人、円)</p> <table border="1" data-bbox="474 1184 1249 1329"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>支給人数</th> <th>奨学資金</th> <th>支給総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通年(公立高校)</td> <td>8</td> <td>月額 6,500</td> <td>624,000</td> </tr> <tr> <td>通年(私立高校)</td> <td>4</td> <td>月額 10,000</td> <td>480,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12</td> <td></td> <td>1,104,000</td> </tr> </tbody> </table>	区分	支給人数	奨学資金	支給総額	通年(公立高校)	69	月額 6,500	5,323,500	通年(私立高校)	38	月額 10,000	4,560,000	計	107		9,883,500	区分	支給人数	奨学資金	支給総額	通年(公立高校)	8	月額 6,500	624,000	通年(私立高校)	4	月額 10,000	480,000	計	12		1,104,000	<p>高校在学者であって、経済的な理由により就学困難な高校生に奨学資金を支給している。</p> <p>平成27年度から支給対象者を増やし、支給単価を公立高校を月当たり6,500円、私立高校を月当たり1万円を限度に実施している。</p> <p>令和2年度は、新たに新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入が著しく減少した方を支給対象者として特別枠を設け、奨学資金を支給した。</p> <p>今後も保護者負担の軽減のため、継続していくことが必要である。</p>																
区分	支給人数	奨学資金	支給総額																																															
通年(公立高校)	69	月額 6,500	5,323,500																																															
通年(私立高校)	38	月額 10,000	4,560,000																																															
計	107		9,883,500																																															
区分	支給人数	奨学資金	支給総額																																															
通年(公立高校)	8	月額 6,500	624,000																																															
通年(私立高校)	4	月額 10,000	480,000																																															
計	12		1,104,000																																															

項 目	成 果	教育委員会の点検・評価																																																										
		教育委員会の点検・評価																																																										
8 教育施設の整備	教育施設の整備を次のとおり実施した。																																																											
	(単位 円)																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工 事 名 等</th> <th>工事費等</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鈴蘭小学校教室棚塗装改修工事</td> <td>264,000</td> <td>普通教室棚塗装改修 10箇所</td> </tr> <tr> <td>緑陽台小学校地下燃料タンクライニング工事</td> <td>5,357,000</td> <td>地下燃料タンク内部FRPライニング改修</td> </tr> <tr> <td>緑陽台小学校揚水ポンプ更新工事</td> <td>1,430,000</td> <td>揚水ポンプ更新 2台</td> </tr> <tr> <td>駒場中学校武道場暗幕開閉装置設置工事</td> <td>165,000</td> <td>武道場暗幕開閉装置設置</td> </tr> <tr> <td>駒場小学校校内掲示板設置工事</td> <td>858,000</td> <td>校内掲示板設置 9箇所</td> </tr> <tr> <td>下音更小学校2階多目的スペーススタイルカーペット改修工事</td> <td>1,287,000</td> <td>2階多目的スペーススタイルカーペット改修</td> </tr> <tr> <td>緑南中学校音楽室床改修工事</td> <td>599,500</td> <td>音楽室床改修</td> </tr> <tr> <td>下音更中学校屋内運動場玄関ドア改修工事</td> <td>537,900</td> <td>屋内運動場玄関ドア改修</td> </tr> <tr> <td>緑陽台小学校遊具再整備工事</td> <td>935,000</td> <td>鋼製コンビネーション遊具ほか再整備</td> </tr> <tr> <td>音更小学校校舎屋上改修工事</td> <td>76,780,000</td> <td>校舎屋上アスファルト防水改修</td> </tr> <tr> <td>音更小学校ほか10校校舎手洗い場水栓改修工事</td> <td>12,067,000</td> <td>給湯水栓及び給湯器設置</td> </tr> <tr> <td>音更中学校ほか4校校舎手洗い場水栓改修工事</td> <td>9,196,000</td> <td>給湯水栓及び給湯器設置</td> </tr> <tr> <td>東土幌小学校水泳プール水槽シート更新工事</td> <td>1,672,000</td> <td>水泳プール水槽シート更新</td> </tr> <tr> <td>木野東小学校水泳プール水槽塗装工事</td> <td>9,570,000</td> <td>水泳プール水槽塗装</td> </tr> <tr> <td>木野東小学校水泳プール給湯器更新工事</td> <td>298,000</td> <td>水泳プール給湯器更新 1台</td> </tr> <tr> <td>下土幌小学校屋外トイレ改築建築主体工事</td> <td>15,235,000</td> <td>屋外トイレ改築</td> </tr> <tr> <td>下土幌小学校屋外トイレ改築機械設備工事</td> <td>10,175,000</td> <td>屋外トイレ改築に伴う機械設備工事 一式</td> </tr> <tr> <td>緑陽台小学校屋外トイレ改築建築主体工事</td> <td>12,947,000</td> <td>屋外トイレ改築</td> </tr> </tbody> </table>	工 事 名 等	工事費等	内 容	鈴蘭小学校教室棚塗装改修工事	264,000	普通教室棚塗装改修 10箇所	緑陽台小学校地下燃料タンクライニング工事	5,357,000	地下燃料タンク内部FRPライニング改修	緑陽台小学校揚水ポンプ更新工事	1,430,000	揚水ポンプ更新 2台	駒場中学校武道場暗幕開閉装置設置工事	165,000	武道場暗幕開閉装置設置	駒場小学校校内掲示板設置工事	858,000	校内掲示板設置 9箇所	下音更小学校2階多目的スペーススタイルカーペット改修工事	1,287,000	2階多目的スペーススタイルカーペット改修	緑南中学校音楽室床改修工事	599,500	音楽室床改修	下音更中学校屋内運動場玄関ドア改修工事	537,900	屋内運動場玄関ドア改修	緑陽台小学校遊具再整備工事	935,000	鋼製コンビネーション遊具ほか再整備	音更小学校校舎屋上改修工事	76,780,000	校舎屋上アスファルト防水改修	音更小学校ほか10校校舎手洗い場水栓改修工事	12,067,000	給湯水栓及び給湯器設置	音更中学校ほか4校校舎手洗い場水栓改修工事	9,196,000	給湯水栓及び給湯器設置	東土幌小学校水泳プール水槽シート更新工事	1,672,000	水泳プール水槽シート更新	木野東小学校水泳プール水槽塗装工事	9,570,000	水泳プール水槽塗装	木野東小学校水泳プール給湯器更新工事	298,000	水泳プール給湯器更新 1台	下土幌小学校屋外トイレ改築建築主体工事	15,235,000	屋外トイレ改築	下土幌小学校屋外トイレ改築機械設備工事	10,175,000	屋外トイレ改築に伴う機械設備工事 一式	緑陽台小学校屋外トイレ改築建築主体工事	12,947,000	屋外トイレ改築	<p>(既存施設の改修及び保全) 今年度は、町が策定した「音更町公共施設等総合管理計画」に基づき、教育委員会が所管する全ての施設を対象とした「音更町教育施設等長寿命化計画」を策定した。 施設の整備については、昨年度に引き続き、災害用の機能を備えた屋外トイレを整備したほか、児童生徒の熱中症対策のため、保健室にエアコンを設置した。 また、老朽化が進む音更小学校及び下音更中学校の校舎屋上防水改修を行ったほか、水泳プールの改修等を実施した。 今後は、長寿命化計画に沿った維持管理を行い、施設に求められる安全安心はもとより、機能や性能の確保に努めていく。</p> <p>(老朽化した学校の大規模改修) 老朽化が深刻な柳町小学校の長寿命化を図るため、令和元年度から大規模改修を実施しており、令和2年度においては、特別教室、保健室等の内部改修や屋上防水改修等を行った。今後も計画的な改修や設備等の更新を行い、建物の保全及び延命を図る。</p>	
工 事 名 等	工事費等	内 容																																																										
鈴蘭小学校教室棚塗装改修工事	264,000	普通教室棚塗装改修 10箇所																																																										
緑陽台小学校地下燃料タンクライニング工事	5,357,000	地下燃料タンク内部FRPライニング改修																																																										
緑陽台小学校揚水ポンプ更新工事	1,430,000	揚水ポンプ更新 2台																																																										
駒場中学校武道場暗幕開閉装置設置工事	165,000	武道場暗幕開閉装置設置																																																										
駒場小学校校内掲示板設置工事	858,000	校内掲示板設置 9箇所																																																										
下音更小学校2階多目的スペーススタイルカーペット改修工事	1,287,000	2階多目的スペーススタイルカーペット改修																																																										
緑南中学校音楽室床改修工事	599,500	音楽室床改修																																																										
下音更中学校屋内運動場玄関ドア改修工事	537,900	屋内運動場玄関ドア改修																																																										
緑陽台小学校遊具再整備工事	935,000	鋼製コンビネーション遊具ほか再整備																																																										
音更小学校校舎屋上改修工事	76,780,000	校舎屋上アスファルト防水改修																																																										
音更小学校ほか10校校舎手洗い場水栓改修工事	12,067,000	給湯水栓及び給湯器設置																																																										
音更中学校ほか4校校舎手洗い場水栓改修工事	9,196,000	給湯水栓及び給湯器設置																																																										
東土幌小学校水泳プール水槽シート更新工事	1,672,000	水泳プール水槽シート更新																																																										
木野東小学校水泳プール水槽塗装工事	9,570,000	水泳プール水槽塗装																																																										
木野東小学校水泳プール給湯器更新工事	298,000	水泳プール給湯器更新 1台																																																										
下土幌小学校屋外トイレ改築建築主体工事	15,235,000	屋外トイレ改築																																																										
下土幌小学校屋外トイレ改築機械設備工事	10,175,000	屋外トイレ改築に伴う機械設備工事 一式																																																										
緑陽台小学校屋外トイレ改築建築主体工事	12,947,000	屋外トイレ改築																																																										

項	目		成	果	教育委員会の点検・評価	
	主要な施策					
			緑陽台小学校屋外トイレ改築機械設備工事	7,293,000	屋外トイレ改築に伴う機械設備工事 一式	
			駒場中学校屋外トイレ改築建築主体工事	12,910,700	屋外トイレ改築	
			駒場中学校屋外トイレ改築機械設備工事	19,459,000	屋外トイレ改築に伴う機械設備工事 一式	
			共栄中学校屋外トイレ改築建築主体工事	13,728,000	屋外トイレ改築	
			共栄中学校屋外トイレ改築機械設備工事	7,425,000	屋外トイレ改築に伴う機械設備工事 一式	
			柳町小学校校舎改修建築主体工事	72,490,000	校舎特別教室ほか内部改修	
			柳町小学校校舎改修電気設備工事	16,170,000	校舎改修に伴う電気設備工事 一式	
			柳町小学校校舎改修機械設備工事	10,890,000	校舎改修に伴う機械設備工事 一式	
			柳町小学校校舎内窓改修工事	69,300,000	校舎内窓改修	
			柳町小学校校舎屋上改修工事	24,750,000	校舎屋上アスファルト防水改修	
			柳町小学校大規模改修工事監理業務	4,994,000	工事監理・指導監督	
			東土狩小学校校舎暖房設備改修工事	14,234,000	校舎暖房設備改修	
			東土幌小学校暖房設備改修工事	18,744,000	校舎及び屋内運動場暖房設備改修	
			南中音更小学校屋内運動場暖房設備ほか改修工事	10,747,000	屋内運動場暖房設備ほか改修	
			下音更中学校校舎暖房設備改修工事	22,022,000	校舎暖房設備改修	
			緑陽台小学校汚水ポンプ更新工事	979,000	汚水ポンプ更新 2台	
			下音更中学校校舎屋上改修工事	39,050,000	校舎屋上アスファルト防水改修	
			下音更中学校校舎トップライト改修工事	15,895,000	校舎トップライト改修	
			小中学校保健室エアコン整備	1,925,000	音更小、下音更小、鈴蘭小、下音更中保健室エアコン整備	
			音更町教育施設等長寿命化計画策定委託業務	17,875,000	教育施設及び社会教育関連施設長寿命化計画策定	
			小中学校屋内消火栓ホース耐圧試験業務	1,045,000	屋内消火栓ホース耐圧試験	

項 目	成 果				教育委員会の点検・評価																			
	主 要 な 施 策																							
	下音更小学校ほか2校屋外トイレ改築設計業務	3,333,000	下音更小、鈴蘭小、下音更中屋外トイレ改築設計																					
	緑南中学校ほか1校暖房設備改修設計業務	1,210,000	緑南中、適応指導教室屋内運動場暖房設備改修設計																					
	計	565,842,100																						
	音更町公立学校等施設整備計画 事業期間 令和2年度～				老朽化が深刻な柳町小学校校舎の内窓改修を実施した。今後も計画的に改修や設備等の更新を行い、建物の保全及び延命を図っていく。																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学校等の名称</th> <th rowspan="2">目標</th> <th rowspan="2">事業区分</th> <th colspan="4">整備方針</th> <th rowspan="2">事業完了年月日</th> </tr> <tr> <th>事業単位</th> <th>建物区分</th> <th>構造区分</th> <th>全事業期間(契約～完成)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柳町小学校</td> <td>(4)</td> <td>07</td> <td>大規模改造(教育内容)</td> <td>校</td> <td>R</td> <td>R2.6～R2.10</td> <td>R2.11.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>・教育環境の質的な向上を図る整備 【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった</p>					学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了年月日	事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間(契約～完成)	柳町小学校	(4)	07	大規模改造(教育内容)	校	R	R2.6～R2.10
学校等の名称	目標	事業区分	整備方針						事業完了年月日															
			事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間(契約～完成)																		
柳町小学校	(4)	07	大規模改造(教育内容)	校	R	R2.6～R2.10	R2.11.9																	
9 教員住宅の整備	教員住宅の整備を次のとおり実施した。 (単位 円)				教職員の福利厚生の一環として整備している住宅の住環境改善のため、年次計画で進めてきた浴室のユニットバス化事業を完了することができた。 今後も入居者の要望を把握し、入居状況を踏まえながら質的整備を進める。																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工 事 名 等</th> <th>工 事 費 等</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教員住宅浴室ほか改修工事</td> <td>2,557,500</td> <td>浴室ほか改修 1戸</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,557,500</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					工 事 名 等	工 事 費 等	内 容	教員住宅浴室ほか改修工事	2,557,500	浴室ほか改修 1戸	計	2,557,500											
工 事 名 等	工 事 費 等	内 容																						
教員住宅浴室ほか改修工事	2,557,500	浴室ほか改修 1戸																						
計	2,557,500																							
10 開かれた学校づくり	<p>信頼される開かれた学校づくりに向けて次のとおり実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員の委嘱 (小学校50人、中学校18人) ・学校運営協議会委員の任命 (小学校10名、中学校8人) ・小規模特認校制度導入 (下土幌小学校) 				<p>信頼される開かれた学校づくりを進めるため、学校評議員を活用した「学校評価」及び情報の発信に努め、学校・地域・家庭のより一層の連携協力を図っている。なお、駒場中学校については、平成30年度から町内のモデル校としてコミュニティ・スクールに移行し、学校運営協議会を設置。令和2年度からは、駒場小学校がコミュニティ・スクールに移行し、学校運営協議会を設置している。</p> <p>また、平成19年度から小規模特認校制度を導入していた昭和小学校が令和元年度で閉校したため、令和2年度から下土幌小学校が小規模特認校制度を導入。令和2年度は1人が通学した。</p>																			

項 目 主 要 な 施 策	成 果	教育委員会の点検・評価
11 いじめ等の対策	<p>いじめ問題等対策委員会を設置して、全小中学校でアンケート調査を実施し、調査結果をまとめた「いじめに関する実態調査」を教職員に配付した。また、平成25年度からハイパーQ Uアンケートを実施し、いじめ等の早期発見に効果を上げている。</p>	<p>アンケート調査を基に、ネット上のいじめ等も含め、いじめの実態把握に取り組んでいる。 また、平成30年3月の「音更町いじめ防止基本方針」の改定を踏まえ、各学校において「いじめ防止基本方針」を改定するなど校内体制の充実を図り、適応指導教室や心の教室相談員等と連携しながら、いじめ・不登校に対して、早期発見・早期解決に取り組んでいる。</p>
12 児童生徒の安全確保	<p>児童生徒の安全確保対策として次のとおり実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入学児童への防犯ブザーの配付 ・巡視強化のための用具購入（蛍光反射腕章） ・全小中学校にA E D（自動体外式除細動器）を配置 	<p>登下校時の通学路の安全対策については、各学校ごとに地域ぐるみで子どもを見守る取組が進められている。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため教職員対象の一般救急講習を中止したが、各種災害時の対応マニュアルにより、教育委員会、学校及び保護者の対応について共有している。 今後も、児童生徒の安全確保の観点から継続していきたい。</p>
13 情 報 教 育	<p>小中学校におけるI C T環境を整備し、児童生徒がI C T機器を活用することにより、「情報活用能力」の育成を目指した教育を実施した。 「G I G Aスクール構想」の実現のため、各小中学校に次の整備を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内通信ネットワーク（無線L A N設備）の整備 小中学校16校に高速通信に対応可能な無線L A N設備を整備した。 ・児童生徒及び教職員1人1台端末（タブレット）の整備 児童生徒及び教職員に1人1台のタブレット端末を整備した。 ・オンライン学習環境の整備 通信環境が整っていない家庭への貸出用モバイルWi-Fiルーター及び遠隔授業用のカメラ、マイク等、家庭でのオンライン学習環境を整備した。 	<p>新たな学習指導要領において「学習の基盤となる資質・能力」に位置付けられている「情報活用能力」の育成のため、国が掲げる「G I G Aスクール構想」に基づき整備を行った学校における通信環境や1人1台端末については、使用方法の研修を行ったうえで、各学校において順次運用が始まっている。 学習へのさらなる活用や、災害や感染症などの緊急時の家庭におけるオンライン学習に備え、「音更町I C T教育推進チーム」を組織し、実践的な使用方法や学習指導要領に沿った運用について検討を行っている。</p>
14 国 際 理 解 教 育	<p>英語指導助手を配置し、中学生に対する英語の発音指導のほか、小学校における英会話の補助及び地域における国際交流活動等の活動を行っている。小学校5、6学年の英語教科の開始に向けて、英語指導助手を1人増員した。</p> <p>英語指導助手 2人</p> <p>小学校の外国語活動については、外部サポート講師を全小学校に派遣した。</p>	<p>英語指導助手については、契約期間を1年間とし、更新を認めている。小中学校をはじめ、社会人の英会話教室や国際交流の集いなど幅広く活用されている。令和2年度からの小学校英語教科の開始に向けて、令和元年8月から1人増員し、取組の強化を図っており、今後も継続していきたい。 外部サポート講師については、新たな学習指導要領の改訂による外国語活動においても継続していきたい。</p>

<table border="1"> <tr> <td data-bbox="129 151 179 183">項</td> <td data-bbox="179 151 448 183">目</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="129 183 448 231">主要な施策</td> </tr> </table>	項	目	主要な施策		成 果	教育委員会の点検・評価
項	目					
主要な施策						
15 食 育	<p>生涯にわたって健康で生き生きとした生活を送ることを目指し、児童生徒に対し食品の品質や安全性などを自らが判断できる能力の育成を図っている。</p> <p>十勝管内で唯一の自校給食では、地産地消と食育推進のために、「おとぶけ給食」などを実施しており、児童生徒から好評を得ている。</p>	<p>本町の学校給食は、地場製品の割合が高いが、今後も食育の充実を図るとともに、食品の安全・安心に継続して取り組む必要がある。</p> <p>また、地産地消と食育推進のため、町と連携して「おとぶけ給食」を実施している。栄養教諭4人の体制で、食育の充実を図っている。</p> <p>平成30年度からは、「音更町学校給食フードリサイクルプロジェクト」を実施し、食品ロス削減と食育の取組を実施している。</p>				
16 特別支援教育	<p>肢体不自由学級及び病弱学級在籍児童生徒のうち、特に介助が必要であるものに対し、平成23年度から生活介助員を訪問介護事業所に業務委託し派遣した。</p> <p>通常学級には引き続き学習支援員を配置した。</p> <p>複式学校に複式学習支援員を配置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活介助員 9校 ・特別支援教育学習支援員 11校 32人 ・複式教育学習支援員 5校 2人 	<p>特別支援学級での肢体不自由等の障がいがある児童生徒の学校生活を介助するため、今後も生活介助員の配置が必要である。</p> <p>平成20年度から導入した特別支援教育学習支援員は、通常学級における発達障がい等により特別な支援を要する児童生徒に対して、学習活動や学校生活上において支援を行っており、今後も配置が必要である。</p> <p>平成25年度から配置している複式教育学習支援員は、複式学級の児童の指導補助を行い、学力向上の効果を上げていることから今後も配置が必要である。</p>				

項 目	成 果	教育委員会の点検・評価																				
			主 要 な 施 策																			
社 会 教 育 の 振 興																						
1 青 少 年 教 育 事 業	<p>団体活動を奨励し、体験学習の充実と指導者の養成を図るため、青少年の健全育成に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 業 名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こども姉妹町視察研修（岩手県軽米町）</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>夏期・冬期リーダー研修会</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>秋山ハイキング</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>中学生リーダー研修会</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>こども体験隊</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>熟年先生講座（夏期・冬期）</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>国際交流のつどい</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>北部3町ジュニアリーダーズキャンプ</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>成人式</td> <td>延期</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業の実施を中止又は延期した。</p>	事 業 名	参加人数	こども姉妹町視察研修（岩手県軽米町）	中止	夏期・冬期リーダー研修会	中止	秋山ハイキング	41	中学生リーダー研修会	中止	こども体験隊	19	熟年先生講座（夏期・冬期）	中止	国際交流のつどい	中止	北部3町ジュニアリーダーズキャンプ	中止	成人式	延期	<p>こども姉妹町視察研修は、小学生の相互交流事業として定着し、相互理解が図られている。姉妹町締結当初から継続している交流事業は本事業のみであることから、今後も継続が必要と考えている。</p> <p>本年度においては中止としたが、代替事業として、絵画交流作品展を企画実施し、改めて姉妹町を知る機会を提供できた。</p> <p>夏期・冬期リーダー研修会及び秋山ハイキングについては、竹の子こども会世話人会が平成29年度末で解散したことにより、町教委単独事業として継続実施している。</p> <p>また、平成30年度から、新たに中学生を対象としたリーダー研修会を開設し、小学生リーダー研修会等における運営ボランティア育成につながることが期待されている。</p> <p>こども体験隊、熟年先生講座、国際交流のつどいは、さまざまな体験活動を通して豊かな情操や健全な心身を育成するとともに、子どもの居場所づくりを提供するものであり、継続実施が必要であると考えている。</p> <p>また、北部3町ジュニアリーダーズキャンプ（小学校3～6年生対象）は、土幌町、上土幌町と連携して実施している北部3町社会教育共同事業の一つで、他町の子どもたちとの交流を深め、コミュニケーション能力の向上と思いやりの心を育むことを目的に今後も継続した取組としていくことを確認している。熟年先生講座については、講師を依頼していた北十勝退職校長教頭会が平成30年度をもって解散したことや、長期休業中に各学校で学習支援活動が行われていることもあり、参加人数は減少傾向にある。異世代交流の貴重な場ともなっていることから、内容も含めどのような形で継続していくのか検討が必要と考える。</p> <p>いずれの事業も実施に向けて準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症状況を踏まえ、開催の可否については慎重に判断した上で、一部事業を中止したところである。</p> <p>成人式については、新成人が一堂に会して人生の大きな節目の年齢を祝い、主体的な参画と責任ある社会の一員としての自覚を促す機会として、今後も継続が必要である。</p> <p>令和3年成人式は当初、令和3年1月10日に感染症対策を講じた上で、時間を短縮して、出身中学校ごとに2回に分け、併せてオンライン中継を実施する予定だったが、急速な感染拡大を受けて、5月2日に延期後、8月14日に再度延期したところである。</p>
事 業 名	参加人数																					
こども姉妹町視察研修（岩手県軽米町）	中止																					
夏期・冬期リーダー研修会	中止																					
秋山ハイキング	41																					
中学生リーダー研修会	中止																					
こども体験隊	19																					
熟年先生講座（夏期・冬期）	中止																					
国際交流のつどい	中止																					
北部3町ジュニアリーダーズキャンプ	中止																					
成人式	延期																					

項 目 主 要 な 施 策	成 果	教育委員会の点検・評価																										
2 青 少 年 対 策	<p>放課後子ども教室の開設や青少年の健全育成を図るため、巡視指導活動や不審者情報の提供、通報・悩み相談等を行い、関係機関と連携して非行防止に努めた。</p> <table border="1" data-bbox="474 375 1261 1173"> <thead> <tr> <th data-bbox="474 375 1012 422">対 策 内 容</th> <th data-bbox="1012 375 1261 422">実 施 回 数 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="474 422 1012 550">登録人数 音更小 69人</td> <td data-bbox="1012 422 1261 550">開催回数 参加人数 6回 延 315人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 550 1012 598">放課後子ども教室の実施 下音更小 40人</td> <td data-bbox="1012 550 1261 598">4回 延 128人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 598 1012 646">駒場小 20人</td> <td data-bbox="1012 598 1261 646">6回 延 84人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 646 1012 694">柳町小 67人</td> <td data-bbox="1012 646 1261 694">5回 延 274人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 694 1012 742">緑陽台小 16人</td> <td data-bbox="1012 694 1261 742">7回 延 91人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 742 1012 790">鈴蘭小 42人</td> <td data-bbox="1012 742 1261 790">4回 延 112人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 790 1012 877">巡視指導活動</td> <td data-bbox="1012 790 1261 877">巡視指導 延 535回 延1,155人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 877 1012 933">有害環境の浄化活動</td> <td data-bbox="1012 877 1261 933">随時実施</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 933 1012 997">通報活動・青少年悩み相談</td> <td data-bbox="1012 933 1261 997">通報 13件 相談 0件</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 997 1012 1061">広報活動</td> <td data-bbox="1012 997 1261 1061">広報紙発行 12回 広報車運行 随時</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 1061 1012 1109">研修活動</td> <td data-bbox="1012 1061 1261 1109">会議・研修会 5回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 1109 1012 1173">関係機関・団体との連携</td> <td data-bbox="1012 1109 1261 1173">派遣 なし 学校訪問 年2回</td> </tr> </tbody> </table>	対 策 内 容	実 施 回 数 等	登録人数 音更小 69人	開催回数 参加人数 6回 延 315人	放課後子ども教室の実施 下音更小 40人	4回 延 128人	駒場小 20人	6回 延 84人	柳町小 67人	5回 延 274人	緑陽台小 16人	7回 延 91人	鈴蘭小 42人	4回 延 112人	巡視指導活動	巡視指導 延 535回 延1,155人	有害環境の浄化活動	随時実施	通報活動・青少年悩み相談	通報 13件 相談 0件	広報活動	広報紙発行 12回 広報車運行 随時	研修活動	会議・研修会 5回	関係機関・団体との連携	派遣 なし 学校訪問 年2回	<p>放課後子ども教室は、放課後に小学校の体育館などを活用し、勉強やスポーツ、文化活動など、児童と地域住民が交流しながら、児童の自主性や社会性、創造性などを養うための安全、安心な「子どもの居場所づくり」を目的とし、平成28年度に小学校4校において開設した。</p> <p>その後、新学習指導要領の全面実施による影響を見極めるため、実施校の拡大を見送ってきたが、外部講師による運営支援、地域ボランティアの増員確保により、本年度から新たに、緑陽台、鈴蘭の小学校2校を加えた6校で実施したところである。但し、本年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、各校12回の計画に対して、実施回数は大幅な減少となったが、新規開設校の児童及び保護者からは概ね好評であったと考えている。</p> <p>令和3年度においては、市街地最大校である木野東小学校を加え、町内7校において実施し、今後新たな放課後子ども教室の開設については、保護者や小学校とも協議を行い、課題の整理と参加を希望する児童数を勘案して、調整を進めていくこととする。</p> <p>巡視指導は、生涯学習課青少年係を拠点に、5地区の青少年対策地区指導員と連携しながら活動しており、今後も地域との連携を更に密接に進め、地域ぐるみで子どもの安全確保を図る必要がある。</p> <p>通報等について、子どもの安全を守る活動として、学校と教育委員会で曜日時間に関係なく不審者情報を正確かつ迅速に周知するため連絡網を整備し、関係機関等と連携している。令和元年度と比較し全体の通報数は3件の増となったが、実危害を受けたものは無く、声かけ事案のみであった。</p> <p>青少年だより「かけ橋」は月1回発行し、非行防止やネットトラブルなど身近なことに視点を当て、より多くの方に読んでもらえる紙面づくりに努め、今後も継続して家庭・学校を通して情報提供を行っていく必要がある。</p>
対 策 内 容	実 施 回 数 等																											
登録人数 音更小 69人	開催回数 参加人数 6回 延 315人																											
放課後子ども教室の実施 下音更小 40人	4回 延 128人																											
駒場小 20人	6回 延 84人																											
柳町小 67人	5回 延 274人																											
緑陽台小 16人	7回 延 91人																											
鈴蘭小 42人	4回 延 112人																											
巡視指導活動	巡視指導 延 535回 延1,155人																											
有害環境の浄化活動	随時実施																											
通報活動・青少年悩み相談	通報 13件 相談 0件																											
広報活動	広報紙発行 12回 広報車運行 随時																											
研修活動	会議・研修会 5回																											
関係機関・団体との連携	派遣 なし 学校訪問 年2回																											

項 目	成 果	教育委員会の点検・評価																		
3 成人教育事業 主 要 な 施 策	<p>学習の場と機会を提供し、計画的・継続的学習を進めるとともに、団体の自主的活動の助長に努めた。</p> <p style="text-align: right;">(単位 人)</p> <table border="1" data-bbox="477 335 1261 847"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家庭教育学級（17学級）</td> <td>215</td> </tr> <tr> <td>幼児家庭教育学級</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>女性ライフスクール</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>高齢者学級（4学級）</td> <td>332</td> </tr> <tr> <td>高齢者大学（すずらんカレッジ：4学年）</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>高齢者大学院（すずらん大学院：2学年）</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>家庭教育電話相談</td> <td>2 件</td> </tr> <tr> <td>おとふけ「教育を考える日」記念フェスタ</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業の実施を中止した。</p>	事業名	参加人数	家庭教育学級（17学級）	215	幼児家庭教育学級	10	女性ライフスクール	26	高齢者学級（4学級）	332	高齢者大学（すずらんカレッジ：4学年）	26	高齢者大学院（すずらん大学院：2学年）	22	家庭教育電話相談	2 件	おとふけ「教育を考える日」記念フェスタ	中止	<p>各家庭教育学級は、幼児・小中学生の保護者の子育て支援と資質向上を図るため、今後も継続が必要である。幼児家庭教育学級は、子育てにおける知識・能力を身に付ける学習の場を提供するとともに、受講生が安心して学習活動に取り組めるようボランティアによる託児を行いながら、通年で継続実施していく。</p> <p>女性ライフスクールは、自ら学ぶ、ともに学ぶことの視点から学習の大切さを通して生活課題の解決や社会人としての資質向上を図るために、今後も必要である。</p> <p>高齢者関係事業は、人生100年時代を迎える中、社会の変化に対応した新しい知識等の習得と健康で生きがいのある生活を支援するとともに、地域のリーダーの養成と豊かな地域づくり活動への参加促進を図るため、今後も継続が必要な事業である。</p> <p>本年度においては、新型コロナウイルス感染症対策のため、いずれの事業も一部予定を変更して実施したところである。</p> <p>家庭教育相談事業は、家庭教育に関する情報提供や電話等による相談業務を行い、家庭教育の疑問や悩みに応え、問題解決に向けた事業であるため、今後も継続が必要である。なお、指導員が直接対応する電話相談について令和2年度の実績は、2件であった。</p> <p>おとふけ「教育を考える日」記念フェスタは、「教育を考える日」の理念や趣旨、具体的な取組等を紹介することで、町民の教育への関心を高め、本町教育の充実と発展を図るために、実行委員会に交付金を交付して実施している。</p> <p>本年度は、令和2年12月6日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。例年、講演会や教育活動報告は好評であり、教育に関する取組を紹介することで、関心を高める機会となっているので、今後も継続してることが重要と考えている。</p>
事業名	参加人数																			
家庭教育学級（17学級）	215																			
幼児家庭教育学級	10																			
女性ライフスクール	26																			
高齢者学級（4学級）	332																			
高齢者大学（すずらんカレッジ：4学年）	26																			
高齢者大学院（すずらん大学院：2学年）	22																			
家庭教育電話相談	2 件																			
おとふけ「教育を考える日」記念フェスタ	中止																			

項 目 主 要 な 施 策	成 果	教育委員会の点検・評価																								
4 生涯学習事業	<p>生涯学習への認識を深めるとともに、町内高等教育機関等との連携による学習機会の提供を図ってきたが、</p> <table border="1" data-bbox="477 339 1335 727"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: right;">(単位 人)</th> </tr> <tr> <th>事業名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯学習フェスティバル</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>〇〇JCオープンカレッジ(前期・後期:0講座・0事業) (音更町・帯広大谷短期大学共同生涯学習プログラム事業)</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>〇〇JCオープンカレッジ小学生講座(0講座)</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>高校開放講座(5講座) (音更町・音更高等学校連携生涯学習プログラム事業)</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>生涯学習まちづくりセミナー (道民カレッジ連携講座事業)</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table> <p>社会の変化に対応し心豊かに生きていくために、自己学習や世代間・地域間交流の促進を図った。</p> <table border="1" data-bbox="477 914 1335 1171"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: right;">(単位 人)</th> </tr> <tr> <th>事業名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯学習講座(3講座)</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>郷土資料室開放まつり</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>史跡めぐりツアー(1回)</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業の実施を中止した。</p>	(単位 人)		事業名	参加人数	生涯学習フェスティバル	中止	〇〇JCオープンカレッジ(前期・後期:0講座・0事業) (音更町・帯広大谷短期大学共同生涯学習プログラム事業)	中止	〇〇JCオープンカレッジ小学生講座(0講座)	中止	高校開放講座(5講座) (音更町・音更高等学校連携生涯学習プログラム事業)	67	生涯学習まちづくりセミナー (道民カレッジ連携講座事業)	中止	(単位 人)		事業名	参加人数	生涯学習講座(3講座)	46	郷土資料室開放まつり	中止	史跡めぐりツアー(1回)	11	<p>生涯学習フェスティバルは、生涯学習を実践する各種団体による実行委員会形式のイベントであり、貴重な学習発表の場でもあり、今後も継続して実施していく。</p> <p>〇〇JCオープンカレッジ、高校開放講座は、帯広大谷短期大学及び音更高校と共同で実施する学習講座であり、高等教育機関等の教育力を活用した事業である。これは、地域の教育資源を積極的に活用する極めて有効な事業であり、今後も町民のニーズに対応した、継続性のある魅力的な講座(学習機会)を提供することが必要である。</p> <p>高校開放講座については、本年度から新たにダンス体験・弦楽器体験講座を開設し、大変好評であったことから今後も継続実施していく。</p> <p>生涯学習まちづくりセミナーは、生涯学習によるまち(地域)づくり、人づくりをめざした事業(学習講座)であり、今後のまちづくり等を進める上で住民と行政が相互信頼関係を構築し、生涯学習を通じた町民参加と協働によるまちづくりを推進していくために有効な事業であり、今後も継続していくことが必要である。</p> <p>生涯学習講座は、生涯学習推進員を講師とした書道講座をはじめ、調理講座、芸術講座、趣味講座、語学講座、コミュニケーション能力の向上を図る講座など町民ニーズや時宜に対応した講座を実施し、生きがいつくりや資質の向上、文化的生活を支援するもので、今後も継続して実施する必要がある。</p> <p>本年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した事業が多くあったが、感染症に対し学習活動が継続できるよう、オンラインの活用など社会の変化に対応した、学習機会の提供を進めていくことが必要である。</p> <p>平成30年度から実施した郷土資料室開放まつりは、子どもから大人まで幅広い層を対象に、保有している郷土の歴史的資料を有効に活用しながら郷土おとふけの理解を促進するための事業である。</p> <p>史跡めぐりツアーは平成24年度から実施しており、町内を巡りながら町の歴史・文化に触れる貴重な学習機会となっている。両事業とも音更郷土史研究会の協力により実施してきたが、今後も令和3年1月から配置した学芸員が中心となって研究会と連携しながら継続実施していく。</p> <p>なお、郷土資料室のある農村環境改善センターの事務室として使用していた部屋が空きスペースとなったことから、郷土資料室の整備・拡充を進めることとし、本年度から展示資料のリニューアル作業を進めているところである。</p> <p>また、昔の写真を集めてデジタル化し、半永久的に保存する、おとふけ「昔の写真」収集保存事業を本年度から新たに実施している。</p>
(単位 人)																										
事業名	参加人数																									
生涯学習フェスティバル	中止																									
〇〇JCオープンカレッジ(前期・後期:0講座・0事業) (音更町・帯広大谷短期大学共同生涯学習プログラム事業)	中止																									
〇〇JCオープンカレッジ小学生講座(0講座)	中止																									
高校開放講座(5講座) (音更町・音更高等学校連携生涯学習プログラム事業)	67																									
生涯学習まちづくりセミナー (道民カレッジ連携講座事業)	中止																									
(単位 人)																										
事業名	参加人数																									
生涯学習講座(3講座)	46																									
郷土資料室開放まつり	中止																									
史跡めぐりツアー(1回)	11																									

項 目 主 要 な 施 策	成 果	教育委員会の点検・評価																																																								
5 文化・芸術事業	<p>芸術鑑賞や発表の機会を提供するなど豊かな心を養うとともに、各文化団体と協力、連携し、芸術文化の奨励と向上に努めた。</p> <p style="text-align: right;">(単位 人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;">事 業 名</th> <th style="width: 20%;">参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芸術文化大会参加補助金 (全道個人1件、全道団体0件、全国個人4件、全国団体0件、 国際個人1件)</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td>中学生のための音楽教室</td> <td style="text-align: center;">中止</td> </tr> <tr> <td>小学生芸術鑑賞会</td> <td style="text-align: center;">中止</td> </tr> <tr> <td>文化祭</td> <td style="text-align: center;">中止</td> </tr> <tr> <td>芸術鑑賞事業（事業協会との連携事業）9事業</td> <td style="text-align: center;">3,854</td> </tr> </tbody> </table>	事 業 名	参加人数	芸術文化大会参加補助金 (全道個人1件、全道団体0件、全国個人4件、全国団体0件、 国際個人1件)	7	中学生のための音楽教室	中止	小学生芸術鑑賞会	中止	文化祭	中止	芸術鑑賞事業（事業協会との連携事業）9事業	3,854	<p>(芸術文化大会参加補助金) 芸術文化大会参加補助は、芸術文化部門において優秀な成績を収めた者に対して補助しているもので、芸術文化の奨励と向上を図るため、今後も継続が必要である。</p> <p>(中学生のための音楽教室・小学生芸術鑑賞会) 今年度については、両事業とも新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業を中止とした。なお、来年度以降については、情操教育の一環として継続する必要がある。</p> <p>(文化祭) 今年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業を中止とした。芸能発表会や作品展示会を通じて人々の交流の場を広げ、地域に根ざした芸術文化活動を促進するため、今後もこれらの活動を通じて人づくり・まちづくりを進めるため継続する必要がある。</p> <p>(芸術鑑賞事業) 文化事業協会と連携し、幼児・児童向け鑑賞事業、演劇鑑賞事業やクラシックコンサートなどの音楽鑑賞事業のほか、各ジャンルで質の高い鑑賞事業を16事業計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた事業のうち2事業の延期と5事業の中止を決めた結果、参加人数は前年度比約61%、5,974人の減となった。 事業費の制約もあるが、今後も町民の鑑賞機会の充実を目指して取り組む必要がある。</p>																																												
事 業 名	参加人数																																																									
芸術文化大会参加補助金 (全道個人1件、全道団体0件、全国個人4件、全国団体0件、 国際個人1件)	7																																																									
中学生のための音楽教室	中止																																																									
小学生芸術鑑賞会	中止																																																									
文化祭	中止																																																									
芸術鑑賞事業（事業協会との連携事業）9事業	3,854																																																									
6. 文化センター利用 状況	<p>事業別 (単位 人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>鑑賞会 発表会</th> <th>研 修 会 講 習 演 会</th> <th>サークル 活 動</th> <th>講 座</th> <th>そ の 他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td style="text-align: center;">24,744</td> <td style="text-align: center;">4,183</td> <td style="text-align: center;">4,006</td> <td style="text-align: center;">625</td> <td style="text-align: center;">536</td> <td style="text-align: center;">34,094</td> </tr> </tbody> </table> <p>各部屋別 (単位 人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>大ホール</th> <th>小ホール</th> <th>楽屋1～3</th> <th>音楽室</th> <th>会議室</th> <th>実習室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td style="text-align: center;">13,737</td> <td style="text-align: center;">1,971</td> <td style="text-align: center;">639</td> <td style="text-align: center;">2,891</td> <td style="text-align: center;">1,188</td> <td style="text-align: center;">1,164</td> </tr> <tr> <td>%</td> <td style="text-align: center;">40.29%</td> <td style="text-align: center;">5.78%</td> <td style="text-align: center;">1.88%</td> <td style="text-align: center;">8.48%</td> <td style="text-align: center;">3.49%</td> <td style="text-align: center;">3.41%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>展示室</th> <th>作法室</th> <th>研修室1</th> <th>研修室2</th> <th>研修室3</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td style="text-align: center;">1,783</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">145</td> <td style="text-align: center;">516</td> <td style="text-align: center;">1,290</td> <td style="text-align: center;">34,094</td> </tr> <tr> <td>%</td> <td style="text-align: center;">5.23%</td> <td style="text-align: center;">0.04%</td> <td style="text-align: center;">0.43%</td> <td style="text-align: center;">1.51%</td> <td style="text-align: center;">3.78%</td> <td style="text-align: center;">100.00%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※展示催し物広場等：8,755人（25.68%）</p>	内容	鑑賞会 発表会	研 修 会 講 習 演 会	サークル 活 動	講 座	そ の 他	計	人数	24,744	4,183	4,006	625	536	34,094		大ホール	小ホール	楽屋1～3	音楽室	会議室	実習室	人数	13,737	1,971	639	2,891	1,188	1,164	%	40.29%	5.78%	1.88%	8.48%	3.49%	3.41%		展示室	作法室	研修室1	研修室2	研修室3	計	人数	1,783	15	145	516	1,290	34,094	%	5.23%	0.04%	0.43%	1.51%	3.78%	100.00%	<p>鑑賞会や発表会、講習会、各種サークル活動等に幅広く利用されており、住民の身近な施設としての役割りを果たしている。今後も施設の適正な維持管理に努め、利用しやすい施設づくりを目指す。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止により「緊急事態宣言」が発せられ、4月に11日間、5月に22日間の臨時休館を行った。また、その他の時期についても館内の各部屋（ホール含む）の利用を定員の2分の1に制限するなどの対策を行った結果イベントの延期や中止が多く見られ、前年度比約60%、22,830人の減少となった。</p>
内容	鑑賞会 発表会	研 修 会 講 習 演 会	サークル 活 動	講 座	そ の 他	計																																																				
人数	24,744	4,183	4,006	625	536	34,094																																																				
	大ホール	小ホール	楽屋1～3	音楽室	会議室	実習室																																																				
人数	13,737	1,971	639	2,891	1,188	1,164																																																				
%	40.29%	5.78%	1.88%	8.48%	3.49%	3.41%																																																				
	展示室	作法室	研修室1	研修室2	研修室3	計																																																				
人数	1,783	15	145	516	1,290	34,094																																																				
%	5.23%	0.04%	0.43%	1.51%	3.78%	100.00%																																																				

項 目 主 要 な 施 策	成 果	教育委員会の点検・評価																																			
7 図書、視聴覚の振興	<p>(1) 図書館の利用状況</p> <p>① 図書の貸出状況</p> <table border="1" data-bbox="477 304 1173 647"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>貸 出 冊 数</th> <th>貸 出 人 数 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書館</td> <td>165,711</td> <td>36,577人</td> </tr> <tr> <td>分館</td> <td>16,388</td> <td>4,820人</td> </tr> <tr> <td>団体</td> <td>29,006</td> <td>597件</td> </tr> <tr> <td>市町村連携貸出</td> <td>674</td> <td>343件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>211,779</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>② 視聴覚教材の貸出状況</p> <p style="text-align: right;">(単位 件)</p> <table border="1" data-bbox="477 735 1072 850"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>貸 出 件 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教材 (ビデオ・DVD・CD)</td> <td>3,868</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 図書館 (本館) の入館者数 58,353 人</p> <p>④ 図書館の蔵書冊数等</p> <p style="text-align: right;">(単位 冊)</p> <table border="1" data-bbox="477 1007 1296 1179"> <thead> <tr> <th colspan="3">令和2年度図書等受入数</th> <th rowspan="2">除籍冊数等</th> <th rowspan="2">蔵書冊数等</th> </tr> <tr> <th>購 入</th> <th>寄 贈 等</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,893</td> <td>1,289</td> <td>6,182</td> <td>2,285</td> <td>216,794</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	貸 出 冊 数	貸 出 人 数 等	図書館	165,711	36,577人	分館	16,388	4,820人	団体	29,006	597件	市町村連携貸出	674	343件	計	211,779		区 分	貸 出 件 数	教材 (ビデオ・DVD・CD)	3,868	令和2年度図書等受入数			除籍冊数等	蔵書冊数等	購 入	寄 贈 等	計	4,893	1,289	6,182	2,285	216,794	<p>図書の貸出数は前年度と比較して約17%減、入館者数は前年度と比較して約31%減となっている。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月18日から5月24日までを臨時休館としたことにより開館日数が減少したこと、また、新型コロナウイルス感染症の終息が見えてこないことから、町民が外出を控えたことが大きな要因であると考えられるが、小中学生の貸出数が前年度と比較して約27%減となっており、減少幅が顕著である。</p> <p>今後も各種事業や広報などを通して情報を発信し図書館利用を促進するとともに、小中学校に対しても、児童生徒のおすすめ本の紹介や授業で利用できる資料の貸出等について情報発信していく必要がある。</p>
区 分	貸 出 冊 数	貸 出 人 数 等																																			
図書館	165,711	36,577人																																			
分館	16,388	4,820人																																			
団体	29,006	597件																																			
市町村連携貸出	674	343件																																			
計	211,779																																				
区 分	貸 出 件 数																																				
教材 (ビデオ・DVD・CD)	3,868																																				
令和2年度図書等受入数			除籍冊数等	蔵書冊数等																																	
購 入	寄 贈 等	計																																			
4,893	1,289	6,182	2,285	216,794																																	

項 目	成 果	教育委員会の点検・評価																														
主 要 な 施 策																																
	<p>(2) 図書館事業の実施状況</p> <table border="1" data-bbox="474 268 1223 1123"> <thead> <tr> <th data-bbox="474 268 848 325">事業名</th> <th data-bbox="848 268 1223 325">参加人数等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="474 325 848 383">読書感想文コンクール</td> <td data-bbox="848 325 1223 383">49人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 383 848 440">図書交換会</td> <td data-bbox="848 383 1223 440">中止</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 440 848 497">古雑誌市</td> <td data-bbox="848 440 1223 497">中止</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 497 848 555">古本市</td> <td data-bbox="848 497 1223 555">中止</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 555 848 612">子ども映画会</td> <td data-bbox="848 555 1223 612">8人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 612 848 670">芸術鑑賞講座</td> <td data-bbox="848 612 1223 670">中止</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 670 848 727">文学講座</td> <td data-bbox="848 670 1223 727">中止</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 727 848 785">絵本作家講演会</td> <td data-bbox="848 727 1223 785">中止</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 785 848 842">ぬいぐるみのおとまり会</td> <td data-bbox="848 785 1223 842">8組13人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 842 848 900">文庫設置</td> <td data-bbox="848 842 1223 900">小学校12校・学童保育所10カ所</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 900 848 957">ブックスタート</td> <td data-bbox="848 900 1223 957">269組</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 957 848 1015">ブックスタートプラス</td> <td data-bbox="848 957 1223 1015">307組</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 1015 848 1072">リーディングスタート</td> <td data-bbox="848 1015 1223 1072">346組</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 1072 848 1123">図書宅配サービス</td> <td data-bbox="848 1072 1223 1123">346件、1,684冊</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	参加人数等	読書感想文コンクール	49人	図書交換会	中止	古雑誌市	中止	古本市	中止	子ども映画会	8人	芸術鑑賞講座	中止	文学講座	中止	絵本作家講演会	中止	ぬいぐるみのおとまり会	8組13人	文庫設置	小学校12校・学童保育所10カ所	ブックスタート	269組	ブックスタートプラス	307組	リーディングスタート	346組	図書宅配サービス	346件、1,684冊	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により多くの事業を中止することとなったが、町民の多様な学習ニーズに応えるため、感染症対策を講じたうえで、安全安心に参加できる事業を構築する必要がある。また、事業の周知について、内容を広く分かりやすく伝えるための方法を工夫する必要がある。</p> <p>ブックスタート事業については、参加者アンケートの結果では、事業をきっかけに絵本を手にする機会が増えた家庭が多くみられ、子どもの読書活動の推進にあたって大変効果的であることから今後も継続していく。小規模小学校対象の移動文庫、大規模小学校の全学級を対象とした学級文庫、学童保育所を対象とした学童文庫についても好評であり、今後も各学校及び学童保育所と連携しながら実施していく。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館とした際の対応として、読書活動の支援を行うために図書の宅配サービスを実施したところである。</p>
事業名	参加人数等																															
読書感想文コンクール	49人																															
図書交換会	中止																															
古雑誌市	中止																															
古本市	中止																															
子ども映画会	8人																															
芸術鑑賞講座	中止																															
文学講座	中止																															
絵本作家講演会	中止																															
ぬいぐるみのおとまり会	8組13人																															
文庫設置	小学校12校・学童保育所10カ所																															
ブックスタート	269組																															
ブックスタートプラス	307組																															
リーディングスタート	346組																															
図書宅配サービス	346件、1,684冊																															

項 目	成 果	教育委員会の点検・評価																																																																				
			主 要 な 施 策																																																																			
社 会 体 育 の 振 興																																																																						
1 体力づくり、健康づくりの振興	<p>楽しく継続的に体力づくりを実践する態度を育て、健康の維持増進に努めた。</p> <p>(単位 人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 業 名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○スポーツライフ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・幼児たいそう教室 (幼児教育)</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>・チャレンジスポーツ教室 (少年教育)</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>・いきいき女性軽スポーツ教室 (成人教育)</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>・40歳～64歳までの軽スポーツ教室 (成人教育)</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>・高齢者スポーツ学級 (成人教育)</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>○スポーツ教室</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・こども体操教室</td> <td>395</td> </tr> <tr> <td>・こどもHIPHOP教室</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>・こどもトランポリン教室</td> <td>501</td> </tr> <tr> <td>・バルシューレ教室</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>・サンサン運動教室</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>・短期子供体操教室</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>・ジュニアトランポリン教室</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>・初心者スケート教室</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>・スポーツセミナー (スカッシュ)</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>・こども水泳教室</td> <td>650</td> </tr> <tr> <td>・大人水泳教室</td> <td>11,418</td> </tr> <tr> <td>・短期こども水泳教室</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td>・ひみつの特訓</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>・ステップアップ水泳教室</td> <td>222</td> </tr> <tr> <td>・ジュニアステップアップ水泳教室</td> <td>1,072</td> </tr> <tr> <td>・トップステップアップ水泳教室</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td>・ベビースイミング教室</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>・ジュニアプラス教室</td> <td>158</td> </tr> <tr> <td>・個人レッスン (大人水泳)</td> <td>487</td> </tr> <tr> <td>・ちゃっぼん水泳教室</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>・プライベートレッスン</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>○体力づくり教室</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・エアロビクス</td> <td>1,306</td> </tr> <tr> <td>・レッスンプログラム</td> <td>13,874</td> </tr> <tr> <td>・水中運動</td> <td>5,412</td> </tr> <tr> <td>・軽運動教室</td> <td>734</td> </tr> </tbody> </table>	事 業 名	参加人数	○スポーツライフ		・幼児たいそう教室 (幼児教育)	67	・チャレンジスポーツ教室 (少年教育)	17	・いきいき女性軽スポーツ教室 (成人教育)	41	・40歳～64歳までの軽スポーツ教室 (成人教育)	21	・高齢者スポーツ学級 (成人教育)	53	○スポーツ教室		・こども体操教室	395	・こどもHIPHOP教室	102	・こどもトランポリン教室	501	・バルシューレ教室	50	・サンサン運動教室	47	・短期子供体操教室	84	・ジュニアトランポリン教室	20	・初心者スケート教室	中止	・スポーツセミナー (スカッシュ)	中止	・こども水泳教室	650	・大人水泳教室	11,418	・短期こども水泳教室	137	・ひみつの特訓	115	・ステップアップ水泳教室	222	・ジュニアステップアップ水泳教室	1,072	・トップステップアップ水泳教室	137	・ベビースイミング教室	102	・ジュニアプラス教室	158	・個人レッスン (大人水泳)	487	・ちゃっぼん水泳教室	46	・プライベートレッスン	55	○体力づくり教室		・エアロビクス	1,306	・レッスンプログラム	13,874	・水中運動	5,412	・軽運動教室	734	<p>(スポーツライフ) 総合体育館と温水プールでは、幼児から高齢者まで幅広い年代の方々に運動やスポーツに親しむ機会を提供するため、各種事業を継続的に開催している。 スポーツライフでは、中・長期の教室等を実施しており、各教室の参加者同士が交流する場ともなっており、今後も継続が必要と考える。新型コロナウイルス感染症対策のため一部の日程を中止とした。</p> <p>(スポーツ教室) スポーツ教室は、教育委員会が管理していた当時から実施しているものと、指定管理者が実施しているものがあるが、今後も住民のニーズを把握しながら、継続していくことが必要と考える。初心者スケート教室はリンクコンディション不良のため中止となった。新型コロナウイルス感染症対策のため一部の日程を中止とした。</p> <p>(体力づくり教室) エアロビクスや水中運動など、各年代や体力に応じたプログラムを実施している。民間のノウハウを生かした大人のためのスタジオプログラムは、指定管理者制度がスタートした平成18年度に比べ多くの人に参加している。今後も住民のニーズを把握しながら、プログラムを工夫していくことが必要である。新型コロナウイルス感染症対策のため一部の日程を中止とした。</p>
事 業 名	参加人数																																																																					
○スポーツライフ																																																																						
・幼児たいそう教室 (幼児教育)	67																																																																					
・チャレンジスポーツ教室 (少年教育)	17																																																																					
・いきいき女性軽スポーツ教室 (成人教育)	41																																																																					
・40歳～64歳までの軽スポーツ教室 (成人教育)	21																																																																					
・高齢者スポーツ学級 (成人教育)	53																																																																					
○スポーツ教室																																																																						
・こども体操教室	395																																																																					
・こどもHIPHOP教室	102																																																																					
・こどもトランポリン教室	501																																																																					
・バルシューレ教室	50																																																																					
・サンサン運動教室	47																																																																					
・短期子供体操教室	84																																																																					
・ジュニアトランポリン教室	20																																																																					
・初心者スケート教室	中止																																																																					
・スポーツセミナー (スカッシュ)	中止																																																																					
・こども水泳教室	650																																																																					
・大人水泳教室	11,418																																																																					
・短期こども水泳教室	137																																																																					
・ひみつの特訓	115																																																																					
・ステップアップ水泳教室	222																																																																					
・ジュニアステップアップ水泳教室	1,072																																																																					
・トップステップアップ水泳教室	137																																																																					
・ベビースイミング教室	102																																																																					
・ジュニアプラス教室	158																																																																					
・個人レッスン (大人水泳)	487																																																																					
・ちゃっぼん水泳教室	46																																																																					
・プライベートレッスン	55																																																																					
○体力づくり教室																																																																						
・エアロビクス	1,306																																																																					
・レッスンプログラム	13,874																																																																					
・水中運動	5,412																																																																					
・軽運動教室	734																																																																					

項 目 主 要 な 施 策	成 果		教育委員会の点検・評価																						
	○スポーツ大会 ・すずらん駅伝小学生大会兼健康マラソン大会 ・町民スケート大会 ・町民体育祭（軟式野球、フロアリング） ・秋のスポーツ大会（サッカー、ソフトテニス、弓道、柔道、卓球、 バドミントン、ソフトボール、アーチェリー、ゲートボール） ・冬季スポーツ大会	中止 195 128 519 中止	（スポーツ大会） 町スポーツ協会とその加盟団体は、教育委員会と共催又は独自に町民大会などの「各種大会」を開催することで、日頃の練習成果を発揮し合い、参加者同士の交流と親睦を深めることができる機会の充実に努めている。今後も継続が必要である。新型コロナウイルス感染症対策のため、マラソン大会を中止とした。また、冬季スポーツ大会は実施種目がなかった。																						
2 指導者、リーダーの養成	スポーツ指導者及びリーダーを養成するため次のとおり実施した。 (単位 人) <table border="1" data-bbox="477 595 1234 703"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・スポーツ少年団リーダー研修会</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>・スポーツ指導者研修会</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	参加人数	・スポーツ少年団リーダー研修会	中止	・スポーツ指導者研修会	中止	（スポーツ少年団リーダー研修会） 所属のスポーツ少年団でリーダーとして活動するための自覚と資質の向上を図るとともに、団相互の交流を深めることを目的としており、今後も継続が必要である。新型コロナウイルス感染症対策のため中止とした。 （スポーツ指導者研修会） スポーツ活動の中核となるべき指導者を養成することは極めて重要であることから、今後も研鑽する場を提供することが必要である。新型コロナウイルス感染症対策のため中止とした。																
事業名	参加人数																								
・スポーツ少年団リーダー研修会	中止																								
・スポーツ指導者研修会	中止																								
3 奨励及び顕彰	スポーツの奨励と向上を図るため次のとおり実施した。 (単位 人) <table border="1" data-bbox="477 908 1234 1090"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・スポーツ大会参加補助 (全国 5件)</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>(全道 25件)</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>・スポーツ賞等表彰 (24個人)</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	人数	・スポーツ大会参加補助 (全国 5件)	5	(全道 25件)	44	・スポーツ賞等表彰 (24個人)	24	（スポーツ大会参加補助） 全道・全国大会規模のスポーツ競技大会への参加者に対して参加経費の一部を補助している。スポーツ振興のため今後も継続することが必要である。新型コロナウイルス感染症の影響による大会等の中止により、申請件数が減少した。 （スポーツ賞等表彰） スポーツ賞等は、スポーツ基本法に基づき、毎年スポーツ分野において優秀な成績を収め、又はスポーツ推進に功績のあった個人又は団体を表彰している。														
事業名	人数																								
・スポーツ大会参加補助 (全国 5件)	5																								
(全道 25件)	44																								
・スポーツ賞等表彰 (24個人)	24																								
4 施設の利用状況	(1) 屋内体育施設 (単位 人、件) <table border="1" data-bbox="477 1190 1173 1385"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名</th> <th rowspan="2">個人利用</th> <th colspan="2">団体利用</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合体育館</td> <td>47,044</td> <td>3,430</td> <td>52,469</td> <td>99,513</td> </tr> <tr> <td>武道館</td> <td>587</td> <td>769</td> <td>26,917</td> <td>27,504</td> </tr> <tr> <td>温水プール</td> <td>42,896</td> <td>91</td> <td>1,907</td> <td>44,803</td> </tr> </tbody> </table>		施設名	個人利用	団体利用		計	件数	人数	総合体育館	47,044	3,430	52,469	99,513	武道館	587	769	26,917	27,504	温水プール	42,896	91	1,907	44,803	（屋内体育施設） 競技スポーツや生涯スポーツの場として、大会や少年団・サークル活動等で利用されている。 新型コロナウイルス感染拡大における臨時休館や利用者の活動自粛などの影響により、前年度と比較して、 総合体育館は36%減、武道館は20%減、温水プールは36%減 となった。
施設名	個人利用	団体利用			計																				
		件数	人数																						
総合体育館	47,044	3,430	52,469	99,513																					
武道館	587	769	26,917	27,504																					
温水プール	42,896	91	1,907	44,803																					

項 目 主 要 な 施 策	成 果	教育委員会の点検・評価																																	
	<p>(2) 軽スポーツセンター (単位 人、件)</p> <table border="1" data-bbox="477 300 1025 432"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>件数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鈴蘭軽スポーツセンター</td> <td>780</td> <td>8,012</td> </tr> <tr> <td>宝来軽スポーツセンター</td> <td>920</td> <td>11,921</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 運動公園等 (単位 人)</p> <table border="1" data-bbox="477 507 965 995"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>希望が丘野球場</td> <td>3,297</td> </tr> <tr> <td>柳町野球場</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ソフトボール場(1か所、2面)</td> <td>2,660</td> </tr> <tr> <td>サッカー場(1か所、2面)</td> <td>26,241</td> </tr> <tr> <td>テニスコート(3か所、10面)</td> <td>4,881</td> </tr> <tr> <td>アイスホッケー場</td> <td>2,343</td> </tr> <tr> <td>カーリング場</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>パークゴルフ場(4コース) (うち団体利用)</td> <td>53,200 (9,270)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 学校開放事業 (単位 人)</p> <table border="1" data-bbox="477 1070 1337 1158"> <thead> <tr> <th>種目指定開放校(11校)</th> <th>地域開放校(7校)</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28,816</td> <td>2,942</td> <td>31,758</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	件数	人数	鈴蘭軽スポーツセンター	780	8,012	宝来軽スポーツセンター	920	11,921	施設名	人数	希望が丘野球場	3,297	柳町野球場	—	ソフトボール場(1か所、2面)	2,660	サッカー場(1か所、2面)	26,241	テニスコート(3か所、10面)	4,881	アイスホッケー場	2,343	カーリング場	—	パークゴルフ場(4コース) (うち団体利用)	53,200 (9,270)	種目指定開放校(11校)	地域開放校(7校)	計	28,816	2,942	31,758	<p>(軽スポーツセンター) 鈴蘭、宝来の両軽スポーツセンターともに、町民の身近な施設として、サークル活動等に活発に利用されている。 新型コロナウイルス感染拡大における臨時休館や利用者の活動自粛などの影響により、前年度と比較して、鈴蘭は2.6%減、宝来は1.6%減となった。</p> <p>(運動公園等) 希望が丘運動公園等の屋外体育施設は、競技スポーツや生涯スポーツの場として、多くの大会や少年団・サークル活動等で利用されている。 今後、被災した河川敷地にある屋外体育施設の復旧とともに、新施設を含めた全ての屋外体育施設の適切な維持管理に努めていく必要がある。 新型コロナウイルス感染拡大における臨時休館や利用者の活動自粛などの影響により、前年度と比較して、野球場は2.8%減、ソフトボール場は2.3%減、サッカー場は3.4%減、パークゴルフ場は1.1%の減となった。</p> <p>(学校開放事業) 学校開放事業は、スポーツ活動の場として小・中学校の体育館等の施設を開放している。種目指定校は、市街地の小・中学校とし、少年団・社会人等の団体等が利用している。地域指定校は、郡部の小学校とし、地域の少年団や団体が利用している。今後も社会体育の普及のため継続したい。新型コロナウイルス感染症対策のため3月から中止としたが、6月以降は少年団活動に限り再開した。</p> <p>(施設全般) 気軽に健康づくりやスポーツに取り組むことができる環境は整備されているが、競技志向の高まりから施設コンディションのグレードアップや施設の新設を望む声も聞かれ、今後の検討課題となっている。</p>
施設名	件数	人数																																	
鈴蘭軽スポーツセンター	780	8,012																																	
宝来軽スポーツセンター	920	11,921																																	
施設名	人数																																		
希望が丘野球場	3,297																																		
柳町野球場	—																																		
ソフトボール場(1か所、2面)	2,660																																		
サッカー場(1か所、2面)	26,241																																		
テニスコート(3か所、10面)	4,881																																		
アイスホッケー場	2,343																																		
カーリング場	—																																		
パークゴルフ場(4コース) (うち団体利用)	53,200 (9,270)																																		
種目指定開放校(11校)	地域開放校(7校)	計																																	
28,816	2,942	31,758																																	
5 指定管理者制度の導入	<p>次の社会体育施設について、指定管理者制度を導入している。</p> <p>(1) 温水プール 平成18年度～ (2) 総合体育館・武道館 平成19年度～</p>	<p>指定管理者制度は、施設の効率的・効果的な運営を図るとともに、利用者に対してより良いサービスの提供に努めるものとして導入した。 民間事業者のノウハウを活用して、町民の心身の健全な発達とスポーツの普及振興に寄与しており、今後も事業の充実に期待するものである。</p>																																	

3 教育行政推進における主要な施策の実施状況

項 目 主 要 な 施 策	成 果	教育委員会の点検・評価												
文 教 対 策														
1 教 職 員 研 修	<p>教職員の資質の向上を図るため、次のとおり研修を行った。</p> <p>対象教職員 377人 1,619,130円</p>	<p>教職員の素養、知識、技術向上のために学校内で行う研修と、道内研修参加者にその費用を交付した。また、学校内で創意工夫した研修を奨励する「校内研修実践指定校事業」を6校で実施した。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で多くの研修が中止となったが、今後も教職員の資質向上のため、継続していく必要がある。</p>												
2 教 職 員 健 康 対 策	<p>教職員の健康診断及びストレスチェックを次のとおり実施した。</p> <p>健康診断受診人数349人 ストレスチェック受検人数366人 5,215,078円</p> <p>〔胸部X線、胃検査、血圧検査、尿検査、血液検査〕 心電図検査、聴力検査、身体総合検査</p>	<p>教職員の健康診断を帯広徳州会病院に委託して実施した。1日当たりの受入れ人数に制限があるため（1日5人程度）、長期間に渡って実施している。また、平成29年度から、メンタルヘルス不調の未然防止やストレスへの気づきを促すため、教職員のストレスチェックを実施している。長期休業期間中に多くの教職員が受診できるよう日程を調整し、継続して実施する必要がある。</p>												
3 教育の日推進事業	<p>音更町の教育の充実と発展を図るため、記念フェスタの開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年度は中止した。</p>	<p>おとふけ「教育を考える日」の理念や趣旨、具体的な取組等を紹介することで、町民の教育への関心を高め、本町教育の充実と発展を図るために、実行委員会に交付金を交付して実施している。今年度は新型コロナウイルス感染症対策により中止したが、今後も継続して教育に関する取組を紹介することで、関心を高めていきたい。</p>												
4 教材教具の整備	<p>小中学校の教材教具を次のとおり整備した。</p> <p>(単位 円)</p> <table border="1" data-bbox="477 944 987 1117"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>学校数</th> <th>整備額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>12</td> <td>10,403,088</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>5</td> <td>3,641,110</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17</td> <td>14,044,198</td> </tr> </tbody> </table>	区分	学校数	整備額	小学校	12	10,403,088	中学校	5	3,641,110	計	17	14,044,198	<p>新設の普通学級や特別支援学級に必要な教材や、学校要書を整理した上で教材教具を整備し、教育環境の充実を図っている。</p> <p>また、吹奏楽の楽器は年次計画で各中学校に整備している。今後も、計画的に教材教具を整備していく必要がある。</p>
区分	学校数	整備額												
小学校	12	10,403,088												
中学校	5	3,641,110												
計	17	14,044,198												
5 総合的な学習の時間支援事業	<p>総合的な学習の時間として、創意工夫を生かした特色ある学校づくりの推進を図った。</p> <p>(単位 円)</p> <table border="1" data-bbox="477 1212 987 1385"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>学校数</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>12</td> <td>1,332,770</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>5</td> <td>798,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17</td> <td>2,130,770</td> </tr> </tbody> </table>	区分	学校数	交付額	小学校	12	1,332,770	中学校	5	798,000	計	17	2,130,770	<p>総合的な学習の時間における教育活動において、創意工夫による特色ある学校づくりのため、小中学校にその経費を交付している。</p> <p>今後も、国際理解・情報・環境・福祉・健康教育等の総合的な教育活動の推進のために必要である。</p>
区分	学校数	交付額												
小学校	12	1,332,770												
中学校	5	798,000												
計	17	2,130,770												

項 目 主 要 な 施 策	成 果	教育委員会の点検・評価																																																
6 就 学 援 助	<p>経済的理由により就学困難な児童生徒に対し、次のとおり就学援助費を支給した。</p> <p>(単位 人、円)</p> <table border="1" data-bbox="474 304 1072 885"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>支給人数</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学用品費</td> <td>1,015</td> <td>19,872,043</td> </tr> <tr> <td>体育実技用具費</td> <td>378</td> <td>4,464,180</td> </tr> <tr> <td>入学準備金</td> <td>40</td> <td>2,128,140</td> </tr> <tr> <td>入学準備金(早期支給)</td> <td>183</td> <td>10,595,580</td> </tr> <tr> <td>卒業アルバム代</td> <td>252</td> <td>2,947,480</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>246</td> <td>5,558,541</td> </tr> <tr> <td>通学費</td> <td>9</td> <td>128,226</td> </tr> <tr> <td>P T A 会費</td> <td>688</td> <td>1,893,590</td> </tr> <tr> <td>生徒会費</td> <td>315</td> <td>123,530</td> </tr> <tr> <td>クラブ活動費</td> <td>186</td> <td>2,501,774</td> </tr> <tr> <td>医療費</td> <td>687</td> <td>2,331,896</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>999</td> <td>47,128,393</td> </tr> <tr> <td>管理指導表文書料</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>99,673,373</td> </tr> <tr> <td>(うち)新型コロナウイルス感染症の影響による特別枠</td> <td>5</td> <td>470,562</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 400px;">児童生徒数 3,886人 認定者数 1,028人 認定率 26.4%</p>	区分	支給人数	支給額	学用品費	1,015	19,872,043	体育実技用具費	378	4,464,180	入学準備金	40	2,128,140	入学準備金(早期支給)	183	10,595,580	卒業アルバム代	252	2,947,480	修学旅行費	246	5,558,541	通学費	9	128,226	P T A 会費	688	1,893,590	生徒会費	315	123,530	クラブ活動費	186	2,501,774	医療費	687	2,331,896	給食費	999	47,128,393	管理指導表文書料			計		99,673,373	(うち)新型コロナウイルス感染症の影響による特別枠	5	470,562	<p>経済的理由により就学困難な児童生徒に対し、就学援助をすることにより、経費負担の軽減を図っている。</p> <p>認定者数は、児童生徒数が減少しているにもかかわらず、昨年度より29人増加となっており、認定率が1.4ポイント上昇した。また、全体の支給額は、修学旅行費が新型コロナウイルス感染症の影響による行き先の変更や教育旅行支援事業など助成制度の適用により支給額が大幅に減少したことから、令和元年度に比べ約409万円の減となっている。</p> <p>令和2年度は、新たに新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入が著しく減少した方を支給対象者として特別枠を設け、就学援助を支給した。</p> <p>今後も保護者負担の軽減のため、継続していくことが必要である。</p>
区分	支給人数	支給額																																																
学用品費	1,015	19,872,043																																																
体育実技用具費	378	4,464,180																																																
入学準備金	40	2,128,140																																																
入学準備金(早期支給)	183	10,595,580																																																
卒業アルバム代	252	2,947,480																																																
修学旅行費	246	5,558,541																																																
通学費	9	128,226																																																
P T A 会費	688	1,893,590																																																
生徒会費	315	123,530																																																
クラブ活動費	186	2,501,774																																																
医療費	687	2,331,896																																																
給食費	999	47,128,393																																																
管理指導表文書料																																																		
計		99,673,373																																																
(うち)新型コロナウイルス感染症の影響による特別枠	5	470,562																																																
7 奨 学 資 金	<p>高校在学者で家庭の経済的な理由により就学困難な者に対し、奨学資金を支給した。</p> <p>《通常枠》 (単位 人、円)</p> <table border="1" data-bbox="474 986 1249 1129"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>支給人数</th> <th>奨学資金</th> <th>支給総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通年(公立高校)</td> <td>69</td> <td>月額 6,500</td> <td>5,323,500</td> </tr> <tr> <td>通年(私立高校)</td> <td>38</td> <td>月額 10,000</td> <td>4,560,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>107</td> <td></td> <td>9,883,500</td> </tr> </tbody> </table> <p>《新型コロナウイルス感染症の影響による特別枠》 (単位 人、円)</p> <table border="1" data-bbox="474 1182 1249 1326"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>支給人数</th> <th>奨学資金</th> <th>支給総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通年(公立高校)</td> <td>8</td> <td>月額 6,500</td> <td>624,000</td> </tr> <tr> <td>通年(私立高校)</td> <td>4</td> <td>月額 10,000</td> <td>480,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12</td> <td></td> <td>1,104,000</td> </tr> </tbody> </table>	区分	支給人数	奨学資金	支給総額	通年(公立高校)	69	月額 6,500	5,323,500	通年(私立高校)	38	月額 10,000	4,560,000	計	107		9,883,500	区分	支給人数	奨学資金	支給総額	通年(公立高校)	8	月額 6,500	624,000	通年(私立高校)	4	月額 10,000	480,000	計	12		1,104,000	<p>高校在学者であって、経済的な理由により就学困難な高校生に奨学資金を支給している。</p> <p>平成27年度から支給対象者を増やし、支給単価を公立高校を月当たり6,500円、私立高校を月当たり1万円を限度に実施している。</p> <p>令和2年度は、新たに新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入が著しく減少した方を支給対象者として特別枠を設け、奨学資金を支給した。</p> <p>今後も保護者負担の軽減のため、継続していくことが必要である。</p>																
区分	支給人数	奨学資金	支給総額																																															
通年(公立高校)	69	月額 6,500	5,323,500																																															
通年(私立高校)	38	月額 10,000	4,560,000																																															
計	107		9,883,500																																															
区分	支給人数	奨学資金	支給総額																																															
通年(公立高校)	8	月額 6,500	624,000																																															
通年(私立高校)	4	月額 10,000	480,000																																															
計	12		1,104,000																																															

項 目	成 果	教育委員会の点検・評価																																																										
		教育委員会の点検・評価																																																										
8 教育施設の整備	教育施設の整備を次のとおり実施した。																																																											
	(単位 円)																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工 事 名 等</th> <th>工事費等</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鈴蘭小学校教室棚塗装改修工事</td> <td>264,000</td> <td>普通教室棚塗装改修 10箇所</td> </tr> <tr> <td>緑陽台小学校地下燃料タンクライニング工事</td> <td>5,357,000</td> <td>地下燃料タンク内部FRPライニング改修</td> </tr> <tr> <td>緑陽台小学校揚水ポンプ更新工事</td> <td>1,430,000</td> <td>揚水ポンプ更新 2台</td> </tr> <tr> <td>駒場中学校武道場暗幕開閉装置設置工事</td> <td>165,000</td> <td>武道場暗幕開閉装置設置</td> </tr> <tr> <td>駒場小学校校内掲示板設置工事</td> <td>858,000</td> <td>校内掲示板設置 9箇所</td> </tr> <tr> <td>下音更小学校2階多目的スペーススタイルカーペット改修工事</td> <td>1,287,000</td> <td>2階多目的スペーススタイルカーペット改修</td> </tr> <tr> <td>緑南中学校音楽室床改修工事</td> <td>599,500</td> <td>音楽室床改修</td> </tr> <tr> <td>下音更中学校屋内運動場玄関ドア改修工事</td> <td>537,900</td> <td>屋内運動場玄関ドア改修</td> </tr> <tr> <td>緑陽台小学校遊具再整備工事</td> <td>935,000</td> <td>鋼製コンビネーション遊具ほか再整備</td> </tr> <tr> <td>音更小学校校舎屋上改修工事</td> <td>76,780,000</td> <td>校舎屋上アスファルト防水改修</td> </tr> <tr> <td>音更小学校ほか10校校舎手洗い場水栓改修工事</td> <td>12,067,000</td> <td>給湯水栓及び給湯器設置</td> </tr> <tr> <td>音更中学校ほか4校校舎手洗い場水栓改修工事</td> <td>9,196,000</td> <td>給湯水栓及び給湯器設置</td> </tr> <tr> <td>東土幌小学校水泳プール水槽シート更新工事</td> <td>1,672,000</td> <td>水泳プール水槽シート更新</td> </tr> <tr> <td>木野東小学校水泳プール水槽塗装工事</td> <td>9,570,000</td> <td>水泳プール水槽塗装</td> </tr> <tr> <td>木野東小学校水泳プール給湯器更新工事</td> <td>298,000</td> <td>水泳プール給湯器更新 1台</td> </tr> <tr> <td>下土幌小学校屋外トイレ改築建築主体工事</td> <td>15,235,000</td> <td>屋外トイレ改築</td> </tr> <tr> <td>下土幌小学校屋外トイレ改築機械設備工事</td> <td>10,175,000</td> <td>屋外トイレ改築に伴う機械設備工事 一式</td> </tr> <tr> <td>緑陽台小学校屋外トイレ改築建築主体工事</td> <td>12,947,000</td> <td>屋外トイレ改築</td> </tr> </tbody> </table>	工 事 名 等	工事費等	内 容	鈴蘭小学校教室棚塗装改修工事	264,000	普通教室棚塗装改修 10箇所	緑陽台小学校地下燃料タンクライニング工事	5,357,000	地下燃料タンク内部FRPライニング改修	緑陽台小学校揚水ポンプ更新工事	1,430,000	揚水ポンプ更新 2台	駒場中学校武道場暗幕開閉装置設置工事	165,000	武道場暗幕開閉装置設置	駒場小学校校内掲示板設置工事	858,000	校内掲示板設置 9箇所	下音更小学校2階多目的スペーススタイルカーペット改修工事	1,287,000	2階多目的スペーススタイルカーペット改修	緑南中学校音楽室床改修工事	599,500	音楽室床改修	下音更中学校屋内運動場玄関ドア改修工事	537,900	屋内運動場玄関ドア改修	緑陽台小学校遊具再整備工事	935,000	鋼製コンビネーション遊具ほか再整備	音更小学校校舎屋上改修工事	76,780,000	校舎屋上アスファルト防水改修	音更小学校ほか10校校舎手洗い場水栓改修工事	12,067,000	給湯水栓及び給湯器設置	音更中学校ほか4校校舎手洗い場水栓改修工事	9,196,000	給湯水栓及び給湯器設置	東土幌小学校水泳プール水槽シート更新工事	1,672,000	水泳プール水槽シート更新	木野東小学校水泳プール水槽塗装工事	9,570,000	水泳プール水槽塗装	木野東小学校水泳プール給湯器更新工事	298,000	水泳プール給湯器更新 1台	下土幌小学校屋外トイレ改築建築主体工事	15,235,000	屋外トイレ改築	下土幌小学校屋外トイレ改築機械設備工事	10,175,000	屋外トイレ改築に伴う機械設備工事 一式	緑陽台小学校屋外トイレ改築建築主体工事	12,947,000	屋外トイレ改築	<p>(既存施設の改修及び保全) 今年度は、町が策定した「音更町公共施設等総合管理計画」に基づき、教育委員会が所管する全ての施設を対象とした「音更町教育施設等長寿命化計画」を策定した。 施設の整備については、昨年度に引き続き、災害用の機能を備えた屋外トイレを整備したほか、児童生徒の熱中症対策のため、保健室にエアコンを設置した。 また、老朽化が進む音更小学校及び下音更中学校の校舎屋上防水改修を行ったほか、水泳プールの改修等を実施した。 今後は、長寿命化計画に沿った維持管理を行い、施設に求められる安全安心はもとより、機能や性能の確保に努めていく。</p> <p>(老朽化した学校の大規模改修) 老朽化が深刻な柳町小学校の長寿命化を図るため、令和元年度から大規模改修を実施しており、令和2年度においては、特別教室、保健室等の内部改修や屋上防水改修等を行った。今後も計画的な改修や設備等の更新を行い、建物の保全及び延命を図る。</p>	
工 事 名 等	工事費等	内 容																																																										
鈴蘭小学校教室棚塗装改修工事	264,000	普通教室棚塗装改修 10箇所																																																										
緑陽台小学校地下燃料タンクライニング工事	5,357,000	地下燃料タンク内部FRPライニング改修																																																										
緑陽台小学校揚水ポンプ更新工事	1,430,000	揚水ポンプ更新 2台																																																										
駒場中学校武道場暗幕開閉装置設置工事	165,000	武道場暗幕開閉装置設置																																																										
駒場小学校校内掲示板設置工事	858,000	校内掲示板設置 9箇所																																																										
下音更小学校2階多目的スペーススタイルカーペット改修工事	1,287,000	2階多目的スペーススタイルカーペット改修																																																										
緑南中学校音楽室床改修工事	599,500	音楽室床改修																																																										
下音更中学校屋内運動場玄関ドア改修工事	537,900	屋内運動場玄関ドア改修																																																										
緑陽台小学校遊具再整備工事	935,000	鋼製コンビネーション遊具ほか再整備																																																										
音更小学校校舎屋上改修工事	76,780,000	校舎屋上アスファルト防水改修																																																										
音更小学校ほか10校校舎手洗い場水栓改修工事	12,067,000	給湯水栓及び給湯器設置																																																										
音更中学校ほか4校校舎手洗い場水栓改修工事	9,196,000	給湯水栓及び給湯器設置																																																										
東土幌小学校水泳プール水槽シート更新工事	1,672,000	水泳プール水槽シート更新																																																										
木野東小学校水泳プール水槽塗装工事	9,570,000	水泳プール水槽塗装																																																										
木野東小学校水泳プール給湯器更新工事	298,000	水泳プール給湯器更新 1台																																																										
下土幌小学校屋外トイレ改築建築主体工事	15,235,000	屋外トイレ改築																																																										
下土幌小学校屋外トイレ改築機械設備工事	10,175,000	屋外トイレ改築に伴う機械設備工事 一式																																																										
緑陽台小学校屋外トイレ改築建築主体工事	12,947,000	屋外トイレ改築																																																										

項	目		成	果	教育委員会の点検・評価	
	主要な施策					
			緑陽台小学校屋外トイレ改築機械設備工事	7,293,000	屋外トイレ改築に伴う機械設備工事 一式	
			駒場中学校屋外トイレ改築建築主体工事	12,910,700	屋外トイレ改築	
			駒場中学校屋外トイレ改築機械設備工事	19,459,000	屋外トイレ改築に伴う機械設備工事 一式	
			共栄中学校屋外トイレ改築建築主体工事	13,728,000	屋外トイレ改築	
			共栄中学校屋外トイレ改築機械設備工事	7,425,000	屋外トイレ改築に伴う機械設備工事 一式	
			柳町小学校校舎改修建築主体工事	72,490,000	校舎特別教室ほか内部改修	
			柳町小学校校舎改修電気設備工事	16,170,000	校舎改修に伴う電気設備工事 一式	
			柳町小学校校舎改修機械設備工事	10,890,000	校舎改修に伴う機械設備工事 一式	
			柳町小学校校舎内窓改修工事	69,300,000	校舎内窓改修	
			柳町小学校校舎屋上改修工事	24,750,000	校舎屋上アスファルト防水改修	
			柳町小学校大規模改修工事監理業務	4,994,000	工事監理・指導監督	
			東土狩小学校校舎暖房設備改修工事	14,234,000	校舎暖房設備改修	
			東土幌小学校暖房設備改修工事	18,744,000	校舎及び屋内運動場暖房設備改修	
			南中音更小学校屋内運動場暖房設備ほか改修工事	10,747,000	屋内運動場暖房設備ほか改修	
			下音更中学校校舎暖房設備改修工事	22,022,000	校舎暖房設備改修	
			緑陽台小学校汚水ポンプ更新工事	979,000	汚水ポンプ更新 2台	
			下音更中学校校舎屋上改修工事	39,050,000	校舎屋上アスファルト防水改修	
			下音更中学校校舎トップライト改修工事	15,895,000	校舎トップライト改修	
			小中学校保健室エアコン整備	1,925,000	音更小、下音更小、鈴蘭小、下音更中保健室エアコン整備	
			音更町教育施設等長寿命化計画策定委託業務	17,875,000	教育施設及び社会教育関連施設長寿命化計画策定	
			小中学校屋内消火栓ホース耐圧試験業務	1,045,000	屋内消火栓ホース耐圧試験	

項	目		成 果				教育委員会の点検・評価																			
	主 要 な 施 策																									
	下音更小学校ほか2校屋外トイレ改築設計業務	3,333,000	下音更小、鈴蘭小、下音更中屋外トイレ改築設計																							
	緑南中学校ほか1校暖房設備改修設計業務	1,210,000	緑南中、適応指導教室屋内運動場暖房設備改修設計																							
	計	565,842,100																								
	音更町公立学校等施設整備計画 事業期間 令和2年度～						老朽化が深刻な柳町小学校校舎の内窓改修を実施した。今後も計画的に改修や設備等の更新を行い、建物の保全及び延命を図っていく。																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学校等の名称</th> <th rowspan="2">目標</th> <th rowspan="2">事業区分</th> <th colspan="4">整備方針</th> <th rowspan="2">事業完了年月日</th> </tr> <tr> <th>事業単位</th> <th>建物区分</th> <th>構造区分</th> <th>全事業期間(契約～完成)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柳町小学校</td> <td>(4)</td> <td>07</td> <td>大規模改造(教育内容)</td> <td>校</td> <td>R</td> <td>R2.6～R2.10</td> <td>R2.11.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>・教育環境の質的な向上を図る整備 【目標の達成状況】 <u>目標を達成した</u> / 達成できなかった</p>							学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了年月日	事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間(契約～完成)	柳町小学校	(4)	07	大規模改造(教育内容)	校	R	R2.6～R2.10
学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了年月日																			
			事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間(契約～完成)																				
柳町小学校	(4)	07	大規模改造(教育内容)	校	R	R2.6～R2.10	R2.11.9																			
9 教員住宅の整備	教員住宅の整備を次のとおり実施した。 (単位 円)						教職員の福利厚生の一環として整備している住宅の住環境改善のため、年次計画で進めてきた浴室のユニットバス化事業を完了することができた。 今後も入居者の要望を把握し、入居状況を踏まえながら質的整備を進める。																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工 事 名 等</th> <th>工 事 費 等</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教員住宅浴室ほか改修工事</td> <td>2,557,500</td> <td>浴室ほか改修 1戸</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,557,500</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							工 事 名 等	工 事 費 等	内 容	教員住宅浴室ほか改修工事	2,557,500	浴室ほか改修 1戸	計	2,557,500											
工 事 名 等	工 事 費 等	内 容																								
教員住宅浴室ほか改修工事	2,557,500	浴室ほか改修 1戸																								
計	2,557,500																									
10 開かれた学校づくり	<p>信頼される開かれた学校づくりに向けて次のとおり実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員の委嘱 (小学校50人、中学校18人) ・学校運営協議会委員の任命 (小学校10名、中学校8人) ・小規模特認校制度導入 (下土幌小学校) 						<p>信頼される開かれた学校づくりを進めるため、学校評議員を活用した「学校評価」及び情報の発信に努め、学校・地域・家庭のより一層の連携協力を図っている。なお、駒場中学校については、平成30年度から町内のモデル校としてコミュニティ・スクールに移行し、学校運営協議会を設置。令和2年度からは、駒場小学校がコミュニティ・スクールに移行し、学校運営協議会を設置している。</p> <p>また、平成19年度から小規模特認校制度を導入していた昭和小学校が令和元年度で閉校したため、令和2年度から下土幌小学校が小規模特認校制度を導入。令和2年度は1人が通学した。</p>																			

項 目	成 果	教育委員会の点検・評価
11 いじめ等の対策	<p>いじめ問題等対策委員会を設置して、全小中学校でアンケート調査を実施し、調査結果をまとめた「いじめに関する実態調査」を教職員に配付した。また、平成25年度からハイパーQ Uアンケートを実施し、いじめ等の早期発見に効果を上げている。</p>	<p>アンケート調査を基に、ネット上のいじめ等も含め、いじめの実態把握に取り組んでいる。 また、平成30年3月の「音更町いじめ防止基本方針」の改定を踏まえ、各学校において「いじめ防止基本方針」を改定するなど校内体制の充実を図り、適応指導教室や心の教室相談員等と連携しながら、いじめ・不登校に対して、早期発見・早期解決に取り組んでいる。</p>
12 児童生徒の安全確保	<p>児童生徒の安全確保対策として次のとおり実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入学児童への防犯ブザーの配付 ・巡視強化のための用具購入（蛍光反射腕章） ・全小中学校にA E D（自動体外式除細動器）を配置 	<p>登下校時の通学路の安全対策については、各学校ごとに地域ぐるみで子どもを見守る取組が進められている。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため教職員対象の一般救急講習を中止したが、各種災害時の対応マニュアルにより、教育委員会、学校及び保護者の対応について共有している。 今後も、児童生徒の安全確保の観点から継続していきたい。</p>
13 情報教育	<p>小中学校におけるICT環境を整備し、児童生徒がICT機器を活用することにより、「情報活用能力」の育成を目指した教育を実施した。 「G I G Aスクール構想」の実現のため、各小中学校に次の整備を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内通信ネットワーク（無線LAN設備）の整備 小中学校16校に高速通信に対応可能な無線LAN設備を整備した。 ・児童生徒及び教職員1人1台端末（タブレット）の整備 児童生徒及び教職員に1人1台のタブレット端末を整備した。 ・オンライン学習環境の整備 通信環境が整っていない家庭への貸出用モバイルWi-Fiルーター及び遠隔授業用のカメラ、マイク等、家庭でのオンライン学習環境を整備した。 	<p>新たな学習指導要領において「学習の基盤となる資質・能力」に位置付けられている「情報活用能力」の育成のため、国が掲げる「G I G Aスクール構想」に基づき整備を行った学校における通信環境や1人1台端末については、使用方法の研修を行ったうえで、各学校において順次運用が始まっている。 学習へのさらなる活用や、災害や感染症などの緊急時の家庭におけるオンライン学習に備え、「音更町ICT教育推進チーム」を組織し、実践的な使用方法や学習指導要領に沿った運用について検討を行っている。</p>
14 国際理解教育	<p>英語指導助手を配置し、中学生に対する英語の発音指導のほか、小学校における英会話の補助及び地域における国際交流活動等の活動を行っている。小学校5、6学年の英語教科の開始に向けて、英語指導助手を1人増員した。</p> <p>英語指導助手 2人</p> <p>小学校の外国語活動については、外部サポート講師を全小学校に派遣した。</p>	<p>英語指導助手については、契約期間を1年間とし、更新を認めている。小中学校をはじめ、社会人の英会話教室や国際交流の集いなど幅広く活用されている。令和2年度からの小学校英語教科の開始に向けて、令和元年8月から1人増員し、取組の強化を図っており、今後も継続していきたい。 外部サポート講師については、新たな学習指導要領の改訂による外国語活動においても継続していきたい。</p>

項 目 主 要 な 施 策	成 果	教育委員会の点検・評価
15 食 育	<p>生涯にわたって健康で生き生きとした生活を送ることを目指し、児童生徒に対し食品の品質や安全性などを自らが判断できる能力の育成を図っている。</p> <p>十勝管内で唯一の自校給食では、地産地消と食育推進のために、「おとぶけ給食」などを実施しており、児童生徒から好評を得ている。</p>	<p>本町の学校給食は、地場産品の割合が高いが、今後も食育の充実を図るとともに、食品の安全・安心に継続して取り組む必要がある。</p> <p>また、地産地消と食育推進のため、町と連携して「おとぶけ給食」を実施している。栄養教諭4人の体制で、食育の充実を図っている。</p> <p>平成30年度からは、「音更町学校給食フードリサイクルプロジェクト」を実施し、食品ロス削減と食育の取組を実施している。</p>
16 特 別 支 援 教 育	<p>肢体不自由学級及び病弱学級在籍児童生徒のうち、特に介助が必要であるものに対し、平成23年度から生活介助員を訪問介護事業所に業務委託し派遣した。</p> <p>通常学級には引き続き学習支援員を配置した。</p> <p>複式学校に複式学習支援員を配置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活介助員 9校 ・特別支援教育学習支援員 11校 32人 ・複式教育学習支援員 5校 2人 	<p>特別支援学級での肢体不自由等の障がいがある児童生徒の学校生活を介助するため、今後も生活介助員の配置が必要である。</p> <p>平成20年度から導入した特別支援教育学習支援員は、通常学級における発達障がい等により特別な支援を要する児童生徒に対して、学習活動や学校生活上において支援を行っており、今後も配置が必要である。</p> <p>平成25年度から配置している複式教育学習支援員は、複式学級の児童の指導補助を行い、学力向上の効果を上げていることから今後も配置が必要である。</p>

項 目	成 果	教育委員会の点検・評価																				
			主 要 な 施 策																			
社 会 教 育 の 振 興																						
1 青 少 年 教 育 事 業	<p>団体活動を奨励し、体験学習の充実と指導者の養成を図るため、青少年の健全育成に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 業 名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こども姉妹町視察研修（岩手県軽米町）</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>夏期・冬期リーダー研修会</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>秋山ハイキング</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>中学生リーダー研修会</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>こども体験隊</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>熟年先生講座（夏期・冬期）</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>国際交流のつどい</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>北部3町ジュニアリーダーズキャンプ</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>成人式</td> <td>延期</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業の実施を中止又は延期した。</p>	事 業 名	参加人数	こども姉妹町視察研修（岩手県軽米町）	中止	夏期・冬期リーダー研修会	中止	秋山ハイキング	41	中学生リーダー研修会	中止	こども体験隊	19	熟年先生講座（夏期・冬期）	中止	国際交流のつどい	中止	北部3町ジュニアリーダーズキャンプ	中止	成人式	延期	<p>こども姉妹町視察研修は、小学生の相互交流事業として定着し、相互理解が図られている。姉妹町締結当初から継続している交流事業は本事業のみであることから、今後も継続が必要と考えている。</p> <p>本年度においては中止としたが、代替事業として、絵画交流作品展を企画実施し、改めて姉妹町を知る機会を提供できた。</p> <p>夏期・冬期リーダー研修会及び秋山ハイキングについては、竹の子こども会世話人会が平成29年度末で解散したことにより、町教委単独事業として継続実施している。</p> <p>また、平成30年度から、新たに中学生を対象としたリーダー研修会を開設し、小学生リーダー研修会等における運営ボランティア育成につながることが期待されている。</p> <p>こども体験隊、熟年先生講座、国際交流のつどいは、さまざまな体験活動を通して豊かな情操や健全な心身を育成するとともに、子どもの居場所づくりを提供するものであり、継続実施が必要であると考えている。</p> <p>また、北部3町ジュニアリーダーズキャンプ（小学校3～6年生対象）は、土幌町、上土幌町と連携して実施している北部3町社会教育共同事業の一つで、他町の子どもたちとの交流を深め、コミュニケーション能力の向上と思いやりの心を育むことを目的に今後も継続した取組としていくことを確認している。熟年先生講座については、講師を依頼していた北十勝退職校長教頭会が平成30年度をもって解散したことや、長期休業中に各学校で学習支援活動が行われていることもあり、参加人数は減少傾向にある。異世代交流の貴重な場ともなっていることから、内容も含めどのような形で継続していくのか検討が必要と考える。</p> <p>いずれの事業も実施に向けて準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症状況を踏まえ、開催の可否については慎重に判断した上で、一部事業を中止したところである。</p> <p>成人式については、新成人が一堂に会して人生の大きな節目の年齢を祝い、主体的な参画と責任ある社会の一員としての自覚を促す機会として、今後も継続が必要である。</p> <p>令和3年成人式は当初、令和3年1月10日に感染症対策を講じた上で、時間を短縮して、出身中学校ごとに2回に分け、併せてオンライン中継を実施する予定だったが、急速な感染拡大を受けて、5月2日に延期後、8月14日に再度延期したところである。</p>
事 業 名	参加人数																					
こども姉妹町視察研修（岩手県軽米町）	中止																					
夏期・冬期リーダー研修会	中止																					
秋山ハイキング	41																					
中学生リーダー研修会	中止																					
こども体験隊	19																					
熟年先生講座（夏期・冬期）	中止																					
国際交流のつどい	中止																					
北部3町ジュニアリーダーズキャンプ	中止																					
成人式	延期																					

項 目 主 要 な 施 策	成 果	教育委員会の点検・評価																										
2 青 少 年 対 策	<p>放課後子ども教室の開設や青少年の健全育成を図るため、巡視指導活動や不審者情報の提供、通報・悩み相談等を行い、関係機関と連携して非行防止に努めた。</p> <table border="1" data-bbox="474 375 1261 1173"> <thead> <tr> <th data-bbox="474 375 1012 422">対 策 内 容</th> <th data-bbox="1012 375 1261 422">実 施 回 数 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="474 422 1012 550">登録人数 音更小 69人</td> <td data-bbox="1012 422 1261 550">開催回数 参加人数 6回 延 315人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 550 1012 598">放課後子ども教室の実施 下音更小 40人</td> <td data-bbox="1012 550 1261 598">4回 延 128人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 598 1012 646">駒場小 20人</td> <td data-bbox="1012 598 1261 646">6回 延 84人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 646 1012 694">柳町小 67人</td> <td data-bbox="1012 646 1261 694">5回 延 274人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 694 1012 742">緑陽台小 16人</td> <td data-bbox="1012 694 1261 742">7回 延 91人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 742 1012 790">鈴蘭小 42人</td> <td data-bbox="1012 742 1261 790">4回 延 112人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 790 1012 877">巡視指導活動</td> <td data-bbox="1012 790 1261 877">巡視指導 延 535回 延1,155人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 877 1012 933">有害環境の浄化活動</td> <td data-bbox="1012 877 1261 933">随時実施</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 933 1012 997">通報活動・青少年悩み相談</td> <td data-bbox="1012 933 1261 997">通報 13件 相談 0件</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 997 1012 1061">広報活動</td> <td data-bbox="1012 997 1261 1061">広報紙発行 12回 広報車運行 随時</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 1061 1012 1109">研修活動</td> <td data-bbox="1012 1061 1261 1109">会議・研修会 5回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 1109 1012 1173">関係機関・団体との連携</td> <td data-bbox="1012 1109 1261 1173">派遣 なし 学校訪問 年2回</td> </tr> </tbody> </table>	対 策 内 容	実 施 回 数 等	登録人数 音更小 69人	開催回数 参加人数 6回 延 315人	放課後子ども教室の実施 下音更小 40人	4回 延 128人	駒場小 20人	6回 延 84人	柳町小 67人	5回 延 274人	緑陽台小 16人	7回 延 91人	鈴蘭小 42人	4回 延 112人	巡視指導活動	巡視指導 延 535回 延1,155人	有害環境の浄化活動	随時実施	通報活動・青少年悩み相談	通報 13件 相談 0件	広報活動	広報紙発行 12回 広報車運行 随時	研修活動	会議・研修会 5回	関係機関・団体との連携	派遣 なし 学校訪問 年2回	<p>放課後子ども教室は、放課後に小学校の体育館などを活用し、勉強やスポーツ、文化活動など、児童と地域住民が交流しながら、児童の自主性や社会性、創造性などを養うための安全、安心な「子どもの居場所づくり」を目的とし、平成28年度に小学校4校において開設した。</p> <p>その後、新学習指導要領の全面実施による影響を見極めるため、実施校の拡大を見送ってきたが、外部講師による運営支援、地域ボランティアの増員確保により、本年度から新たに、緑陽台、鈴蘭の小学校2校を加えた6校で実施したところである。但し、本年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、各校12回の計画に対して、実施回数は大幅な減少となったが、新規開設校の児童及び保護者からは概ね好評であったと考えている。</p> <p>令和3年度においては、市街地最大校である木野東小学校を加え、町内7校において実施し、今後新たな放課後子ども教室の開設については、保護者や小学校とも協議を行い、課題の整理と参加を希望する児童数を勘案して、調整を進めていくこととする。</p> <p>巡視指導は、生涯学習課青少年係を拠点に、5地区の青少年対策地区指導員と連携しながら活動しており、今後も地域との連携を更に密接に進め、地域ぐるみで子どもの安全確保を図る必要がある。</p> <p>通報等について、子どもの安全を守る活動として、学校と教育委員会で曜日時間に関係なく不審者情報を正確かつ迅速に周知するため連絡網を整備し、関係機関等と連携している。令和元年度と比較し全体の通報数は3件の増となったが、実危害を受けたものは無く、声かけ事案のみであった。</p> <p>青少年だより「かけ橋」は月1回発行し、非行防止やネットトラブルなど身近なことに視点を当て、より多くの方に読んでもらえる紙面づくりに努め、今後も継続して家庭・学校を通して情報提供を行っていく必要がある。</p>
対 策 内 容	実 施 回 数 等																											
登録人数 音更小 69人	開催回数 参加人数 6回 延 315人																											
放課後子ども教室の実施 下音更小 40人	4回 延 128人																											
駒場小 20人	6回 延 84人																											
柳町小 67人	5回 延 274人																											
緑陽台小 16人	7回 延 91人																											
鈴蘭小 42人	4回 延 112人																											
巡視指導活動	巡視指導 延 535回 延1,155人																											
有害環境の浄化活動	随時実施																											
通報活動・青少年悩み相談	通報 13件 相談 0件																											
広報活動	広報紙発行 12回 広報車運行 随時																											
研修活動	会議・研修会 5回																											
関係機関・団体との連携	派遣 なし 学校訪問 年2回																											

項 目 主 要 な 施 策	成 果	教育委員会の点検・評価																		
3 成 人 教 育 事 業	<p>学習の場と機会を提供し、計画的・継続的学習を進めるとともに、団体の自主的活動の助長に努めた。</p> <p style="text-align: right;">(単位 人)</p> <table border="1" data-bbox="477 335 1261 847"> <thead> <tr> <th>事 業 名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家庭教育学級（17学級）</td> <td>215</td> </tr> <tr> <td>幼児家庭教育学級</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>女性ライフスクール</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>高齢者学級（4学級）</td> <td>332</td> </tr> <tr> <td>高齢者大学（すずらんカレッジ：4学年）</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>高齢者大学院（すずらん大学院：2学年）</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>家庭教育電話相談</td> <td>2 件</td> </tr> <tr> <td>おとふけ「教育を考える日」記念フェスタ</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業の実施を中止した。</p>	事 業 名	参加人数	家庭教育学級（17学級）	215	幼児家庭教育学級	10	女性ライフスクール	26	高齢者学級（4学級）	332	高齢者大学（すずらんカレッジ：4学年）	26	高齢者大学院（すずらん大学院：2学年）	22	家庭教育電話相談	2 件	おとふけ「教育を考える日」記念フェスタ	中止	<p>各家庭教育学級は、幼児・小中学生の保護者の子育て支援と資質向上を図るため、今後も継続が必要である。幼児家庭教育学級は、子育てにおける知識・能力を身に付ける学習の場を提供するとともに、受講生が安心して学習活動に取り組めるようボランティアによる託児を行いながら、通年で継続実施していく。</p> <p>女性ライフスクールは、自ら学ぶ、ともに学ぶことの視点から学習の大切さを通して生活課題の解決や社会人としての資質向上を図るために、今後も必要である。</p> <p>高齢者関係事業は、人生100年時代を迎える中、社会の変化に対応した新しい知識等の習得と健康で生きがいのある生活を支援するとともに、地域のリーダーの養成と豊かな地域づくり活動への参加促進を図るため、今後も継続が必要な事業である。</p> <p>本年度においては、新型コロナウイルス感染症対策のため、いずれの事業も一部予定を変更して実施したところである。</p> <p>家庭教育相談事業は、家庭教育に関する情報提供や電話等による相談業務を行い、家庭教育の疑問や悩みに応え、問題解決に向けた事業であるため、今後も継続が必要である。なお、指導員が直接対応する電話相談について令和2年度の実績は、2件であった。</p> <p>おとふけ「教育を考える日」記念フェスタは、「教育を考える日」の理念や趣旨、具体的な取組等を紹介することで、町民の教育への関心を高め、本町教育の充実と発展を図るために、実行委員会に交付金を交付して実施している。</p> <p>本年度は、令和2年12月6日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。例年、講演会や教育活動報告は好評であり、教育に関する取組を紹介することで、関心を高める機会となっているので、今後も継続して行うことが重要と考えている。</p>
事 業 名	参加人数																			
家庭教育学級（17学級）	215																			
幼児家庭教育学級	10																			
女性ライフスクール	26																			
高齢者学級（4学級）	332																			
高齢者大学（すずらんカレッジ：4学年）	26																			
高齢者大学院（すずらん大学院：2学年）	22																			
家庭教育電話相談	2 件																			
おとふけ「教育を考える日」記念フェスタ	中止																			

項 目 主 要 な 施 策	成 果	教育委員会の点検・評価																								
4 生涯学習事業	<p>生涯学習への認識を深めるとともに、町内高等教育機関等との連携による学習機会の提供を図ってきたが、</p> <table border="1" data-bbox="477 339 1335 727"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: right;">(単位 人)</th> </tr> <tr> <th>事業名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯学習フェスティバル</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>〇〇JCオープンカレッジ(前期・後期:0講座・0事業) (音更町・帯広大谷短期大学共同生涯学習プログラム事業)</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>〇〇JCオープンカレッジ小学生講座(0講座)</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>高校開放講座(5講座) (音更町・音更高等学校連携生涯学習プログラム事業)</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>生涯学習まちづくりセミナー (道民カレッジ連携講座事業)</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table> <p>社会の変化に対応し心豊かに生きていくために、自己学習や世代間・地域間交流の促進を図った。</p> <table border="1" data-bbox="477 914 1335 1171"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: right;">(単位 人)</th> </tr> <tr> <th>事業名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯学習講座(3講座)</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>郷土資料室開放まつり</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>史跡めぐりツアー(1回)</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業の実施を中止した。</p>	(単位 人)		事業名	参加人数	生涯学習フェスティバル	中止	〇〇JCオープンカレッジ(前期・後期:0講座・0事業) (音更町・帯広大谷短期大学共同生涯学習プログラム事業)	中止	〇〇JCオープンカレッジ小学生講座(0講座)	中止	高校開放講座(5講座) (音更町・音更高等学校連携生涯学習プログラム事業)	67	生涯学習まちづくりセミナー (道民カレッジ連携講座事業)	中止	(単位 人)		事業名	参加人数	生涯学習講座(3講座)	46	郷土資料室開放まつり	中止	史跡めぐりツアー(1回)	11	<p>生涯学習フェスティバルは、生涯学習を实践する各種団体による実行委員会形式のイベントであり、貴重な学習発表の場でもあり、今後も継続して実施していく。</p> <p>〇〇JCオープンカレッジ、高校開放講座は、帯広大谷短期大学及び音更高校と共同で実施する学習講座であり、高等教育機関等の教育力を活用した事業である。これは、地域の教育資源を積極的に活用する極めて有効な事業であり、今後も町民のニーズに対応した、継続性のある魅力的な講座(学習機会)を提供することが必要である。</p> <p>高校開放講座については、本年度から新たにダンス体験・弦楽器体験講座を開設し、大変好評であったことから今後も継続実施していく。</p> <p>生涯学習まちづくりセミナーは、生涯学習によるまち(地域)づくり、人づくりをめざした事業(学習講座)であり、今後のまちづくり等を進める上で住民と行政が相互信頼関係を構築し、生涯学習を通じた町民参加と協働によるまちづくりを推進していくために有効な事業であり、今後も継続していくことが必要である。</p> <p>生涯学習講座は、生涯学習推進員を講師とした書道講座をはじめ、調理講座、芸術講座、趣味講座、語学講座、コミュニケーション能力の向上を図る講座など町民ニーズや時宜に対応した講座を実施し、生きがいつくりや資質の向上、文化的生活を支援するもので、今後も継続して実施する必要がある。</p> <p>本年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した事業が多くあったが、感染症に対し学習活動が継続できるよう、オンラインの活用など社会の変化に対応した、学習機会の提供を進めていくことが必要である。</p> <p>平成30年度から実施した郷土資料室開放まつりは、子どもから大人まで幅広い層を対象に、保有している郷土の歴史的資料を有効に活用しながら郷土おとふけの理解を促進するための事業である。</p> <p>史跡めぐりツアーは平成24年度から実施しており、町内を巡りながら町の歴史・文化に触れる貴重な学習機会となっている。両事業とも音更郷土史研究会の協力により実施してきたが、今後も令和3年1月から配置した学芸員が中心となって研究会と連携しながら継続実施していく。</p> <p>なお、郷土資料室のある農村環境改善センターの事務室として使用していた部屋が空きスペースとなったことから、郷土資料室の整備・拡充を進めることとし、本年度から展示資料のリニューアル作業を進めているところである。</p> <p>また、昔の写真を集めてデジタル化し、半永久的に保存する、おとふけ「昔の写真」収集保存事業を本年度から新たに実施している。</p>
(単位 人)																										
事業名	参加人数																									
生涯学習フェスティバル	中止																									
〇〇JCオープンカレッジ(前期・後期:0講座・0事業) (音更町・帯広大谷短期大学共同生涯学習プログラム事業)	中止																									
〇〇JCオープンカレッジ小学生講座(0講座)	中止																									
高校開放講座(5講座) (音更町・音更高等学校連携生涯学習プログラム事業)	67																									
生涯学習まちづくりセミナー (道民カレッジ連携講座事業)	中止																									
(単位 人)																										
事業名	参加人数																									
生涯学習講座(3講座)	46																									
郷土資料室開放まつり	中止																									
史跡めぐりツアー(1回)	11																									

項 目 主 要 な 施 策	成 果	教育委員会の点検・評価																																																									
5 文化・芸術事業	<p>芸術鑑賞や発表の機会を提供するなど豊かな心を養うとともに、各文化団体と協力、連携し、芸術文化の奨励と向上に努めた。</p> <p style="text-align: right;">(単位 人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;">事 業 名</th> <th style="width: 20%;">参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芸術文化大会参加補助金 (全道個人1件、全道団体0件、全国個人4件、全国団体0件、国際個人1件)</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td>中学生のための音楽教室</td> <td style="text-align: center;">中止</td> </tr> <tr> <td>小学生芸術鑑賞会</td> <td style="text-align: center;">中止</td> </tr> <tr> <td>文化祭</td> <td style="text-align: center;">中止</td> </tr> <tr> <td>芸術鑑賞事業（事業協会との連携事業）9事業</td> <td style="text-align: center;">3,854</td> </tr> </tbody> </table>	事 業 名	参加人数	芸術文化大会参加補助金 (全道個人1件、全道団体0件、全国個人4件、全国団体0件、国際個人1件)	7	中学生のための音楽教室	中止	小学生芸術鑑賞会	中止	文化祭	中止	芸術鑑賞事業（事業協会との連携事業）9事業	3,854	<p>(芸術文化大会参加補助金) 芸術文化大会参加補助は、芸術文化部門において優秀な成績を収めた者に対して補助しているもので、芸術文化の奨励と向上を図るため、今後も継続が必要である。</p> <p>(中学生のための音楽教室・小学生芸術鑑賞会) 今年度については、両事業とも新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業を中止とした。なお、来年度以降については、情操教育の一環として継続する必要がある。</p> <p>(文化祭) 今年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業を中止とした。芸能発表会や作品展示会を通じて人々の交流の場を広げ、地域に根ざした芸術文化活動を促進するため、今後もこれらの活動を通じて人づくり・まちづくりを進めるため継続する必要がある。</p> <p>(芸術鑑賞事業) 文化事業協会と連携し、幼児・児童向け鑑賞事業、演劇鑑賞事業やクラシックコンサートなどの音楽鑑賞事業のほか、各ジャンルで質の高い鑑賞事業を16事業計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた事業のうち2事業の延期と5事業の中止を決めた結果、参加人数は前年度比約61%、5,974人の減となった。 事業費の制約もあるが、今後も町民の鑑賞機会の充実を目指して取り組む必要がある。</p>																																													
事 業 名	参加人数																																																										
芸術文化大会参加補助金 (全道個人1件、全道団体0件、全国個人4件、全国団体0件、国際個人1件)	7																																																										
中学生のための音楽教室	中止																																																										
小学生芸術鑑賞会	中止																																																										
文化祭	中止																																																										
芸術鑑賞事業（事業協会との連携事業）9事業	3,854																																																										
6. 文化センター利用状況	<p>事業別 (単位 人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>鑑賞発表会</th> <th>研修講習会</th> <th>演奏会</th> <th>サークル活動</th> <th>講座</th> <th>その他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td style="text-align: center;">24,744</td> <td style="text-align: center;">4,183</td> <td style="text-align: center;">4,006</td> <td style="text-align: center;">625</td> <td style="text-align: center;">536</td> <td style="text-align: center;">34,094</td> </tr> </tbody> </table> <p>各部屋別 (単位 人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>大ホール</th> <th>小ホール</th> <th>楽屋1~3</th> <th>音楽室</th> <th>会議室</th> <th>実習室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td style="text-align: center;">13,737</td> <td style="text-align: center;">1,971</td> <td style="text-align: center;">639</td> <td style="text-align: center;">2,891</td> <td style="text-align: center;">1,188</td> <td style="text-align: center;">1,164</td> </tr> <tr> <td>%</td> <td style="text-align: center;">40.29%</td> <td style="text-align: center;">5.78%</td> <td style="text-align: center;">1.88%</td> <td style="text-align: center;">8.48%</td> <td style="text-align: center;">3.49%</td> <td style="text-align: center;">3.41%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>展示室</th> <th>作法室</th> <th>研修室1</th> <th>研修室2</th> <th>研修室3</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td style="text-align: center;">1,783</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">145</td> <td style="text-align: center;">516</td> <td style="text-align: center;">1,290</td> <td style="text-align: center;">34,094</td> </tr> <tr> <td>%</td> <td style="text-align: center;">5.23%</td> <td style="text-align: center;">0.04%</td> <td style="text-align: center;">0.43%</td> <td style="text-align: center;">1.51%</td> <td style="text-align: center;">3.78%</td> <td style="text-align: center;">100.00%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※展示催し物広場等：8,755人（25.68%）</p>	内容	鑑賞発表会	研修講習会	演奏会	サークル活動	講座	その他	計	人数	24,744	4,183	4,006	625	536	34,094		大ホール	小ホール	楽屋1~3	音楽室	会議室	実習室	人数	13,737	1,971	639	2,891	1,188	1,164	%	40.29%	5.78%	1.88%	8.48%	3.49%	3.41%		展示室	作法室	研修室1	研修室2	研修室3	計	人数	1,783	15	145	516	1,290	34,094	%	5.23%	0.04%	0.43%	1.51%	3.78%	100.00%	<p>鑑賞会や発表会、講習会、各種サークル活動等に幅広く利用されており、住民の身近な施設としての役割りを果たしている。今後も施設の適正な維持管理に努め、利用しやすい施設づくりを目指す。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止により「緊急事態宣言」が発せられ、4月に11日間、5月に22日間の臨時休館を行った。また、その他の時期についても館内の各部屋（ホール含む）の利用を定員の2分の1に制限するなどの対策を行った結果イベントの延期や中止が多く見られ、前年度比約60%、22,830人の減少となった。</p>
内容	鑑賞発表会	研修講習会	演奏会	サークル活動	講座	その他	計																																																				
人数	24,744	4,183	4,006	625	536	34,094																																																					
	大ホール	小ホール	楽屋1~3	音楽室	会議室	実習室																																																					
人数	13,737	1,971	639	2,891	1,188	1,164																																																					
%	40.29%	5.78%	1.88%	8.48%	3.49%	3.41%																																																					
	展示室	作法室	研修室1	研修室2	研修室3	計																																																					
人数	1,783	15	145	516	1,290	34,094																																																					
%	5.23%	0.04%	0.43%	1.51%	3.78%	100.00%																																																					

項 目 主 要 な 施 策	成 果	教育委員会の点検・評価																																			
7 図書、視聴覚の振興	<p>(1) 図書館の利用状況</p> <p>① 図書の貸出状況</p> <table border="1" data-bbox="477 304 1173 647"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>貸 出 冊 数</th> <th>貸 出 人 数 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書館</td> <td>165,711</td> <td>36,577人</td> </tr> <tr> <td>分館</td> <td>16,388</td> <td>4,820人</td> </tr> <tr> <td>団体</td> <td>29,006</td> <td>597件</td> </tr> <tr> <td>市町村連携貸出</td> <td>674</td> <td>343件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>211,779</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>② 視聴覚教材の貸出状況 (単位 件)</p> <table border="1" data-bbox="477 735 1072 850"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>貸 出 件 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教材 (ビデオ・DVD・CD)</td> <td>3,868</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 図書館(本館)の入館者数 58,353 人</p> <p>④ 図書館の蔵書冊数等 (単位 冊)</p> <table border="1" data-bbox="477 1007 1296 1179"> <thead> <tr> <th colspan="3">令和2年度図書等受入数</th> <th rowspan="2">除籍冊数等</th> <th rowspan="2">蔵書冊数等</th> </tr> <tr> <th>購 入</th> <th>寄 贈 等</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,893</td> <td>1,289</td> <td>6,182</td> <td>2,285</td> <td>216,794</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	貸 出 冊 数	貸 出 人 数 等	図書館	165,711	36,577人	分館	16,388	4,820人	団体	29,006	597件	市町村連携貸出	674	343件	計	211,779		区 分	貸 出 件 数	教材 (ビデオ・DVD・CD)	3,868	令和2年度図書等受入数			除籍冊数等	蔵書冊数等	購 入	寄 贈 等	計	4,893	1,289	6,182	2,285	216,794	<p>図書の貸出数は前年度と比較して約17%減、入館者数は前年度と比較して約31%減となっている。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月18日から5月24日までを臨時休館としたことにより開館日数が減少したこと、また、新型コロナウイルス感染症の終息が見えてこないことから、町民が外出を控えたことが大きな要因であると考えられるが、小中学生の貸出数が前年度と比較して約27%減となっており、減少幅が顕著である。</p> <p>今後も各種事業や広報などを通して情報を発信し図書館利用を促進するとともに、小中学校に対しても、児童生徒のおすすめ本の紹介や授業で利用できる資料の貸出等について情報発信していく必要がある。</p>
区 分	貸 出 冊 数	貸 出 人 数 等																																			
図書館	165,711	36,577人																																			
分館	16,388	4,820人																																			
団体	29,006	597件																																			
市町村連携貸出	674	343件																																			
計	211,779																																				
区 分	貸 出 件 数																																				
教材 (ビデオ・DVD・CD)	3,868																																				
令和2年度図書等受入数			除籍冊数等	蔵書冊数等																																	
購 入	寄 贈 等	計																																			
4,893	1,289	6,182	2,285	216,794																																	

項 目	成 果	教育委員会の点検・評価																														
主 要 な 施 策																																
	<p>(2) 図書館事業の実施状況</p> <table border="1" data-bbox="474 268 1223 1123"> <thead> <tr> <th data-bbox="474 268 848 325">事業名</th> <th data-bbox="848 268 1223 325">参加人数等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="474 325 848 383">読書感想文コンクール</td> <td data-bbox="848 325 1223 383">49人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 383 848 440">図書交換会</td> <td data-bbox="848 383 1223 440">中止</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 440 848 497">古雑誌市</td> <td data-bbox="848 440 1223 497">中止</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 497 848 555">古本市</td> <td data-bbox="848 497 1223 555">中止</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 555 848 612">子ども映画会</td> <td data-bbox="848 555 1223 612">8人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 612 848 670">芸術鑑賞講座</td> <td data-bbox="848 612 1223 670">中止</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 670 848 727">文学講座</td> <td data-bbox="848 670 1223 727">中止</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 727 848 785">絵本作家講演会</td> <td data-bbox="848 727 1223 785">中止</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 785 848 842">ぬいぐるみのおとまり会</td> <td data-bbox="848 785 1223 842">8組13人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 842 848 900">文庫設置</td> <td data-bbox="848 842 1223 900">小学校12校・学童保育所10カ所</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 900 848 957">ブックスタート</td> <td data-bbox="848 900 1223 957">269組</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 957 848 1015">ブックスタートプラス</td> <td data-bbox="848 957 1223 1015">307組</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 1015 848 1072">リーディングスタート</td> <td data-bbox="848 1015 1223 1072">346組</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 1072 848 1123">図書宅配サービス</td> <td data-bbox="848 1072 1223 1123">346件、1,684冊</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	参加人数等	読書感想文コンクール	49人	図書交換会	中止	古雑誌市	中止	古本市	中止	子ども映画会	8人	芸術鑑賞講座	中止	文学講座	中止	絵本作家講演会	中止	ぬいぐるみのおとまり会	8組13人	文庫設置	小学校12校・学童保育所10カ所	ブックスタート	269組	ブックスタートプラス	307組	リーディングスタート	346組	図書宅配サービス	346件、1,684冊	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により多くの事業を中止することとなったが、町民の多様な学習ニーズに応えるため、感染症対策を講じたうえで、安全安心に参加できる事業を構築する必要がある。また、事業の周知について、内容を広く分かりやすく伝えるための方法を工夫する必要がある。</p> <p>ブックスタート事業については、参加者アンケートの結果では、事業をきっかけに絵本を手にする機会が増えた家庭が多くみられ、子どもの読書活動の推進にあたって大変効果的であることから今後も継続していく。小規模小学校対象の移動文庫、大規模小学校の全学級を対象とした学級文庫、学童保育所を対象とした学童文庫についても好評であり、今後も各学校及び学童保育所と連携しながら実施していく。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館とした際の対応として、読書活動の支援を行うために図書の宅配サービスを実施したところである。</p>
事業名	参加人数等																															
読書感想文コンクール	49人																															
図書交換会	中止																															
古雑誌市	中止																															
古本市	中止																															
子ども映画会	8人																															
芸術鑑賞講座	中止																															
文学講座	中止																															
絵本作家講演会	中止																															
ぬいぐるみのおとまり会	8組13人																															
文庫設置	小学校12校・学童保育所10カ所																															
ブックスタート	269組																															
ブックスタートプラス	307組																															
リーディングスタート	346組																															
図書宅配サービス	346件、1,684冊																															

項 目	成 果	教育委員会の点検・評価																																																																				
			主 要 な 施 策																																																																			
社 会 体 育 の 振 興																																																																						
1 体力づくり、健康づくりの振興	<p>楽しく継続的に体力づくりを実践する態度を育て、健康の維持増進に努めた。</p> <p>(単位 人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 業 名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○スポーツライフ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・幼児たいそう教室 (幼児教育)</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>・チャレンジスポーツ教室 (少年教育)</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>・いきいき女性軽スポーツ教室 (成人教育)</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>・40歳～64歳までの軽スポーツ教室 (成人教育)</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>・高齢者スポーツ学級 (成人教育)</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>○スポーツ教室</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・こども体操教室</td> <td>395</td> </tr> <tr> <td>・こどもHIPHOP教室</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>・こどもトランポリン教室</td> <td>501</td> </tr> <tr> <td>・バルシューレ教室</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>・サンサン運動教室</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>・短期子供体操教室</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>・ジュニアトランポリン教室</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>・初心者スケート教室</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>・スポーツセミナー (スカッシュ)</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>・こども水泳教室</td> <td>650</td> </tr> <tr> <td>・大人水泳教室</td> <td>11,418</td> </tr> <tr> <td>・短期こども水泳教室</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td>・ひみつの特訓</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>・ステップアップ水泳教室</td> <td>222</td> </tr> <tr> <td>・ジュニアステップアップ水泳教室</td> <td>1,072</td> </tr> <tr> <td>・トップステップアップ水泳教室</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td>・ベビースイミング教室</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>・ジュニアプラス教室</td> <td>158</td> </tr> <tr> <td>・個人レッスン (大人水泳)</td> <td>487</td> </tr> <tr> <td>・ちゃっぼん水泳教室</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>・プライベートレッスン</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>○体力づくり教室</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・エアロビクス</td> <td>1,306</td> </tr> <tr> <td>・レッスンプログラム</td> <td>13,874</td> </tr> <tr> <td>・水中運動</td> <td>5,412</td> </tr> <tr> <td>・軽運動教室</td> <td>734</td> </tr> </tbody> </table>	事 業 名	参加人数	○スポーツライフ		・幼児たいそう教室 (幼児教育)	67	・チャレンジスポーツ教室 (少年教育)	17	・いきいき女性軽スポーツ教室 (成人教育)	41	・40歳～64歳までの軽スポーツ教室 (成人教育)	21	・高齢者スポーツ学級 (成人教育)	53	○スポーツ教室		・こども体操教室	395	・こどもHIPHOP教室	102	・こどもトランポリン教室	501	・バルシューレ教室	50	・サンサン運動教室	47	・短期子供体操教室	84	・ジュニアトランポリン教室	20	・初心者スケート教室	中止	・スポーツセミナー (スカッシュ)	中止	・こども水泳教室	650	・大人水泳教室	11,418	・短期こども水泳教室	137	・ひみつの特訓	115	・ステップアップ水泳教室	222	・ジュニアステップアップ水泳教室	1,072	・トップステップアップ水泳教室	137	・ベビースイミング教室	102	・ジュニアプラス教室	158	・個人レッスン (大人水泳)	487	・ちゃっぼん水泳教室	46	・プライベートレッスン	55	○体力づくり教室		・エアロビクス	1,306	・レッスンプログラム	13,874	・水中運動	5,412	・軽運動教室	734	<p>(スポーツライフ) 総合体育館と温水プールでは、幼児から高齢者まで幅広い年代の方々に運動やスポーツに親しむ機会を提供するため、各種事業を継続的に開催している。 スポーツライフでは、中・長期の教室等を実施しており、各教室の参加者同士が交流する場ともなっており、今後も継続が必要と考える。新型コロナウイルス感染症対策のため一部の日程を中止とした。</p> <p>(スポーツ教室) スポーツ教室は、教育委員会が管理していた当時から実施しているものと、指定管理者が実施しているものがあるが、今後も住民のニーズを把握しながら、継続していくことが必要と考える。初心者スケート教室はリンクコンディション不良のため中止となった。新型コロナウイルス感染症対策のため一部の日程を中止とした。</p> <p>(体力づくり教室) エアロビクスや水中運動など、各年代や体力に応じたプログラムを実施している。民間のノウハウを生かした大人のためのスタジオプログラムは、指定管理者制度がスタートした平成18年度に比べ多くの人に参加している。今後も住民のニーズを把握しながら、プログラムを工夫していくことが必要である。新型コロナウイルス感染症対策のため一部の日程を中止とした。</p>
事 業 名	参加人数																																																																					
○スポーツライフ																																																																						
・幼児たいそう教室 (幼児教育)	67																																																																					
・チャレンジスポーツ教室 (少年教育)	17																																																																					
・いきいき女性軽スポーツ教室 (成人教育)	41																																																																					
・40歳～64歳までの軽スポーツ教室 (成人教育)	21																																																																					
・高齢者スポーツ学級 (成人教育)	53																																																																					
○スポーツ教室																																																																						
・こども体操教室	395																																																																					
・こどもHIPHOP教室	102																																																																					
・こどもトランポリン教室	501																																																																					
・バルシューレ教室	50																																																																					
・サンサン運動教室	47																																																																					
・短期子供体操教室	84																																																																					
・ジュニアトランポリン教室	20																																																																					
・初心者スケート教室	中止																																																																					
・スポーツセミナー (スカッシュ)	中止																																																																					
・こども水泳教室	650																																																																					
・大人水泳教室	11,418																																																																					
・短期こども水泳教室	137																																																																					
・ひみつの特訓	115																																																																					
・ステップアップ水泳教室	222																																																																					
・ジュニアステップアップ水泳教室	1,072																																																																					
・トップステップアップ水泳教室	137																																																																					
・ベビースイミング教室	102																																																																					
・ジュニアプラス教室	158																																																																					
・個人レッスン (大人水泳)	487																																																																					
・ちゃっぼん水泳教室	46																																																																					
・プライベートレッスン	55																																																																					
○体力づくり教室																																																																						
・エアロビクス	1,306																																																																					
・レッスンプログラム	13,874																																																																					
・水中運動	5,412																																																																					
・軽運動教室	734																																																																					

項 目 主要な施策	成 果	教育委員会の点検・評価																																	
	<p>(2) 軽スポーツセンター (単位 人、件)</p> <table border="1" data-bbox="477 300 1025 432"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>件数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鈴蘭軽スポーツセンター</td> <td>780</td> <td>8,012</td> </tr> <tr> <td>宝来軽スポーツセンター</td> <td>920</td> <td>11,921</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 運動公園等 (単位 人)</p> <table border="1" data-bbox="477 507 965 995"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>希望が丘野球場</td> <td>3,297</td> </tr> <tr> <td>柳町野球場</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ソフトボール場(1か所、2面)</td> <td>2,660</td> </tr> <tr> <td>サッカー場(1か所、2面)</td> <td>26,241</td> </tr> <tr> <td>テニスコート(3か所、10面)</td> <td>4,881</td> </tr> <tr> <td>アイスホッケー場</td> <td>2,343</td> </tr> <tr> <td>カーリング場</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>パークゴルフ場(4コース) (うち団体利用)</td> <td>53,200 (9,270)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 学校開放事業 (単位 人)</p> <table border="1" data-bbox="477 1070 1337 1158"> <thead> <tr> <th>種目指定開放校(11校)</th> <th>地域開放校(7校)</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28,816</td> <td>2,942</td> <td>31,758</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	件数	人数	鈴蘭軽スポーツセンター	780	8,012	宝来軽スポーツセンター	920	11,921	施設名	人数	希望が丘野球場	3,297	柳町野球場	—	ソフトボール場(1か所、2面)	2,660	サッカー場(1か所、2面)	26,241	テニスコート(3か所、10面)	4,881	アイスホッケー場	2,343	カーリング場	—	パークゴルフ場(4コース) (うち団体利用)	53,200 (9,270)	種目指定開放校(11校)	地域開放校(7校)	計	28,816	2,942	31,758	<p>(軽スポーツセンター) 鈴蘭、宝来の両軽スポーツセンターともに、町民の身近な施設として、サークル活動等に活発に利用されている。 新型コロナウイルス感染拡大における臨時休館や利用者の活動自粛などの影響により、前年度と比較して、鈴蘭は26%減、宝来は16%減となった。</p> <p>(運動公園等) 希望が丘運動公園等の屋外体育施設は、競技スポーツや生涯スポーツの場として、多くの大会や少年団・サークル活動等で利用されている。 今後、被災した河川敷地にある屋外体育施設の復旧とともに、新施設を含めた全ての屋外体育施設の適切な維持管理に努めていく必要がある。 新型コロナウイルス感染拡大における臨時休館や利用者の活動自粛などの影響により、前年度と比較して、野球場は28%減、ソフトボール場は23%減、サッカー場は34%減、パークゴルフ場は11%の減となった。</p> <p>(学校開放事業) 学校開放事業は、スポーツ活動の場として小・中学校の体育館等の施設を開放している。種目指定校は、市街地の小・中学校とし、少年団・社会人等の団体等が利用している。地域指定校は、郡部の小学校とし、地域の少年団や団体が利用している。今後も社会体育の普及のため継続したい。新型コロナウイルス感染症対策のため3月から中止としたが、6月以降は少年団活動に限り再開した。</p> <p>(施設全般) 気軽に健康づくりやスポーツに取り組むことができる環境は整備されているが、競技志向の高まりから施設コンディションのグレードアップや施設の新設を望む声も聞かれ、今後の検討課題となっている。</p>
施設名	件数	人数																																	
鈴蘭軽スポーツセンター	780	8,012																																	
宝来軽スポーツセンター	920	11,921																																	
施設名	人数																																		
希望が丘野球場	3,297																																		
柳町野球場	—																																		
ソフトボール場(1か所、2面)	2,660																																		
サッカー場(1か所、2面)	26,241																																		
テニスコート(3か所、10面)	4,881																																		
アイスホッケー場	2,343																																		
カーリング場	—																																		
パークゴルフ場(4コース) (うち団体利用)	53,200 (9,270)																																		
種目指定開放校(11校)	地域開放校(7校)	計																																	
28,816	2,942	31,758																																	
5 指定管理者制度の導入	<p>次の社会体育施設について、指定管理者制度を導入している。</p> <p>(1) 温水プール 平成18年度～ (2) 総合体育館・武道館 平成19年度～</p>	<p>指定管理者制度は、施設の効率的・効果的な運営を図るとともに、利用者に対してより良いサービスの提供に努めるものとして導入した。 民間事業者のノウハウを活用して、町民の心身の健全な発達とスポーツの普及振興に寄与しており、今後も事業の充実に期待するものである。</p>																																	

4 昨年度の学識経験者からの主な意見と対応状況

意見	対応状況
<p>【総合的な評価】</p> <p>教育行政執行方針に基づき、音更町教育大綱の2本の柱である「子どもの教育」と「生涯学習」の充実・発展に向けて、各種の事業や施策が教育委員会会議を経て組織的・機動的に推進されている。</p> <p>【教育委員会の活動状況】</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策について会議で諮られるなど、地域社会の様々な事態を受けた適時適切な対応がなされている。</p> <p>また、会議の活性化に向け、事務局では各委員に議案・資料等の事前説明を行なうなどの取組が継続して行なわれており、成果が表れているものと思われる。</p> <p>教育委員会による学校訪問では、学力・体力向上の取組や、いじめや不登校の状況等について、各学校の管理職及び教職員と意見交換が行われており、行政と学校現場との距離感を縮める機能が果たされている。</p> <p>教育委員の研修も継続しており、他市町村教育委員会との情報交換や、教育行政に関する調査・研究が行なわれている。今後とも教育委員会会議の審議の活性化に向けて一層の工夫改善を図っていただくとともに、教育委員の研修及び他市町村教育委員会等との連携、情報等の交換について充実した取組を期待する。</p> <p>【重点的な評価】</p> <p>〈確かな学力の向上〉</p> <p>教育行政の推進において、児童生徒の学力の問題はその行政の成果を測る指標として、また、地域社会及び保護者等に対する行政の責任を果たす観点からも避けて通ることのできないテーマである。子どもたちの確かな学力の向上に向</p>	<p>音更町教育大綱である「心豊かな人を育むまち」の実現に向け、教育行政執行方針や各種計画に基づきながら、引き続き施策を展開している。</p> <p>町民の声や意見、施策の実施による効果を検証しながら、今後も地域のニーズに合った教育行政を推進する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、定期的な会議の開催と意見交換の場を設け、引き続き活発な論議が行われている。</p> <p>学校訪問については、令和2年度は「新型コロナウイルス感染症対策に係る学習・学校生活等への影響と今後の対応について」をテーマに、長期の臨時休業等による影響や、児童生徒の学びの保障に向けた対策と課題について確認した。その他、3密を防ぐ観点から例年行っている授業参観は実施できなかったが、校長、教頭のほか主幹教諭を交え、各学校の運営方法の課題や児童生徒・教職員の様子など意見交換を行った。</p> <p>教育委員の研修については、新型コロナウイルス感染症対策により、予定していた研修会等が中止となったが、今後も教育を巡る現状や課題を学ぶとともに、教育委員会会議の審議の活性化に向け積極的に参加していく。</p> <p>確かな学力の向上に向け、課題を分かりやすく示し、目標を実現するための学習活動を適切に位置付け、課題に対するまとめを行い、学習内容の定着を図る授業づくりを進めている。令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響に</p>

意見	対応状況
<p>けては、基礎的・基本的な知識や技能、及びそれらを活用する力を身につけるためのきめ細かな教育を推進する観点から、町費負担の臨時教諭、学習支援員、複式教育学習支援員等を配置している他、学習支援員の研修機会の充実に向けた取組などを行っている。</p> <p>学力の向上については、「全国学力・学習状況調査」の結果分析に基づき、各学校における取組改善の方策が示されている。令和元年度の小学校の学力は、国語の「話すこと・聞くこと」は全国平均を上回り、算数の記述式の問題は全国平均とほぼ変わらず、前年度からの改善が示された結果となっている。</p> <p>中学校では、国語は全ての領域で、数学は「数と式」が全国平均を上回っている。英語は「聞くこと」が全国平均を上回り、「読むこと・書くこと」が全国平均を若干下回ったが全体的には全国平均と同等の結果であった。</p> <p>学校現場においては、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るためのアクティブラーニングの視点を取り入れた授業改善を進めるとともに、学力下位層の児童生徒のLDの傾向の有無についても把握に努め、その対策を講ずることに期待したい。また、小学校においては、引き続き「家庭学習の手引き」等を活用しながら家庭との連携強化が求められる。</p> <p>(健やかな体の育成)</p> <p>生涯にわたり心身ともに健やかに生きるための基盤となる体力向上の取組は、音更町教育研究所主催の研修会が毎年開催されているほか、各学校において研修会等を活かした体育科の授業改善や体育的行事の充実が図られている。</p> <p>小学5年生と中学2年生を対象に実施されている「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果によると、小学5年生女子は、体力合計点が全国・全道平均を下回っているがその差は縮まり、5年生男子は全道平均を上回り全国平均に近づいている。中学2年生女子は全国平均に</p>	<p>より、全国学力・学習状況調査の全国的な実施は中止となったが、各学校において自己採点による結果の分析・検証を行った。これを踏まえて、小学校においては、チャレンジテストの活用や補充学習等による習熟度に応じた児童の学力の向上、中学校においては、小学校との円滑な接続を進め、学びの連続性の確保に努めている。小学校、中学校を通して、家庭での学習習慣の確立に向けた啓蒙・啓発活動について、学校、PTAとも連携して進めている。</p> <p>また、指導方法工夫改善や少人数学級実践研究事業など各種の教職員加配の活用をはじめ、町費負担教諭や学習支援員の配置を継続し、きめ細かな学習サポートを進めている。</p> <p>学校現場における授業改善については、町内3小学校において、「授業改善推進チーム」の加配を活用し、学級担任とのティーム・ティーチングにより、授業改善を推進し、低位児童の見取りや学習支援、学級の実態に即した補充的な学習を行うことにより、「主体的・対話的で深い学び」の推進に努めている。</p> <p>全国体力・運動能力、運動習慣等調査の分析結果に基づき、年間指導計画に基づく学校全体の体力づくりの推進に継続的に取り組んでいる。体育専科教員の加配による体育授業の充実についても継続して実施している。令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国体力・運動能力、運動習慣等調査が中止になったものの、各学校においては、「新体力テスト」を実施し、その内容の分析により、児童生徒の体力づくりの推進に取り組んでいる。また、家庭における生活習慣等について、全国学力・学習状況</p>

意見	対応状況
<p>僅かに届かなかったが全道平均を上回り、中学2年生男子は全道全国平均を上回る結果となり、少しずつ成果が現れている。一方で、音更町教育研究所の「音更町の子ども体力と今後の取組」の分析によると、小学生男子では、「握力・筋力・持久力」が、小学生女子では、「握力・筋力・俊敏性・持久力」が、そして中学校男子・女子では、共に「柔軟性・俊敏性・全身持久力」に課題があることを指摘し、それぞれの課題の向上を目指した指導の充実を求めている。</p> <p>体力・運動能力については、児童生徒の日常の過ごし方との関連も大きく、全国調査の「運動習慣等調査」の結果を見ると、「運動が好き」「家の人からの運動のすすめ」を挙げる割合が全道・全国を上回る結果を示しており、運動習慣の改善の素地は整っている状況といえる。体力・運動能力の向上を、幅広い年齢層の共通の課題と捉え推進することが期待される。そうした取組を支える基盤づくりとして、体育専科教員の加配、スポーツ指導者等の育成などのほかに、家庭や地域と連携した運動習慣の啓発活動の取組等は重要となる。</p> <p>食育に関しては、自校給食の特色を最大限に生かした「おとぶけ給食」を通して、地産地消や地場産品の理解を深めさせる等、指導の充実が図られている。一方、近年の食物アレルギーを持つ児童生徒への対応では、家庭との緻密な連携が欠かせない。健康に関する情報や健やかな体の育成に関わる情報提供も不可欠である。</p> <p>(豊かな心の育成)</p> <p>本町においても、いじめや不登校をなくす取組については特に力を入れ継続して取り組まれている。全ての児童生徒を対象とした「いじめに関するアンケート調査」のほか、心の教室相談員等の配置による相談体制の充実、適応指導教室による不登校対策などが講じられている。</p> <p>いじめの実態を見ると、令和元年度のアンケ</p>	<p>調査や全国体力・運動能力、運動習慣等調査の分析結果等の情報を各家庭に提供することにより、健康的な生活習慣の形成を図り、体力・運動能力や学習意欲の向上に努めている。</p> <p>全国的に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症対策においても、規則正しい生活やバランスの取れた食事、適度な運動による免疫力の向上により、感染しにくい健康な身体づくりが行われることを通常時はもとより臨時休業時においても家庭に対し周知に努めている。</p> <p>地場産品を学校給食の献立に取り入れた月1回の「おとぶけ給食」を継続実施。校内放送や給食日より使用食材を紹介し、児童生徒や保護者に地場産品の理解と食に関する啓発を行っている。</p> <p>食物アレルギーについては、保護者や学校、関係機関と情報を共有し、アレルギーを持つ児童生徒が安心安全な学校給食を楽しめるよう対応している。</p> <p>いじめや不登校に関しては、アンケート調査のほか、心の教室相談員を配置するとともに、北海道教育委員会が実施するスクールカウンセラー活用事業を活用し、相談体制を構築しているほか、適応指導教室（ふれあい教室）を設置し、不登校児童生徒に対する立ち直りの指導や居場所</p>

意見	対応状況
<p>ート調査の結果、小学校 543 件、中学校 70 件の児童生徒が「嫌な思いをした（いじめられた）ことがある」と回答しており、この数値は前年度比ではほぼ横ばいの状況である。特に注目すべきところは、小学 1 年生の件数が 196 件と際立って高く、他の学年の約 3 倍の値を示している。小 1 の件数が高くなる傾向は全国的にも報告されており、幼稚園・保育園から小学校への接続上の課題の一つとして捉えられている問題である。「いじめで傷ついた心は一生トラウマとなって残る」という臨床心理学上の視点から考えた時、「人権尊重の精神」を養う啓発活動を、幼保と小・中学校連携のもとで段階的・継続的に実施することを、新たに検討されるべきと考える。</p> <p>不登校の状況については、前年度に比べて小・中学生共に増加傾向にある。不登校の要因や背景は、複雑・多岐に亘っており、その解決を図るためには、家庭・学校・関係機関の連携を通して情報の共有化に努める必要がある。特に、全国学力・学習状況調査の質問紙の分析結果の中で、「自己肯定感情」が低い児童生徒が 20%弱に上る実態も踏まえながら対策を講じる必要があると考える。また、児童生徒本人及び家族の悩みに寄り添える体制の充実に資する不登校児童生徒対策ケース会議等の実施を検討されたい。</p>	<p>づくりなどの支援を行っている。</p> <p>令和 2 年 10 月から 11 月にかけて行った調査では、「いやな思いをしたことがある」と回答した小学生が 541 件、中学生が 45 件あり、そのなかで今でも続いていると答えた小学生が 189 件、中学生が 13 件となっている。各学校の教育相談により 3 月までに解消しているが、件数は中学校では減少しているものの、小学校ではほぼ横ばいとなっており、これを踏まえて、心の教室相談員やスクールカウンセラーによる相談体制や、小学校と幼保の連携を強化し、いじめを未然に防ぐ取組と積極的な認知による早期解決への取組を進めている。</p> <p>また、「いじめはどんな理由があってもゆるされない」の設問では、「そう思う」の回答率が、小学校の中・高学年で 86.8%、中学生で 82.1%と増加しており、100%を目指して今後も指導を継続する。</p> <p>不登校については、106 件と前年度より増加しており、このうち約半数が、前年度においても不登校であった。心の教室相談員、スクールカウンセラー、適応指導教室指導員及び学校教育相談員の活用により、児童生徒の不登校に対しての早期の対応と、個々の児童生徒の状態に応じた指導や段階的な関わりを行っている。また、学校内の連携はもちろんのこと、関係機関との連携を図り、保護者も含めたサポート体制の充実に取り組んでいる。</p> <p>いじめや不登校につながる児童生徒の状況の早期把握と、学級集団と個の分析により、学級内の児童生徒の状態を知り、生徒指導上の問題点や対応策を探る第一歩として、ハイパー Q U への取組を継続している。また、結果の読み取り方や分析の方法、結果を活用した指導のヒントなどについての教員に対する研修会については、新型コロナウイルス感染症の影響によりを実施できなかったが、結果の分析や対応策の検討に役立てるよう、テキストや資料の提供を行っている。</p>

意見	対応状況
<p>【教育行政推進における主要な施策の実施状況】 (文教対策)</p> <p>教職員研修については、教員の資質向上を図るうえでの有効な施策として、今後とも「道内研修」や「校内研修実践指定校事業」を継続・拡充していただきたい。</p> <p>学校現場には、本年度から順次、新学習指導要領が導入される。今回の改訂の大きなねらいは「学び手の視点に立った教育の推進」と言われている。その実現に向けて示されたのが、「主体的・対話的で深い学び」であるが、この学びを実現させるためには、アクティブラーニングが欠かせないことが指摘されている。</p> <p>教職員健康対策では、昨年度策定した「音更町立学校における働き方改革推進プラン」に基づき、教職員の業務改善に努めるとともに、近年はメンタルヘルスの不調に悩む教職員も生じていることから、教職員の健康診断と併せてストレスチェックの実施を継続して進めていただきたい。</p> <p>教育施設の整備については、老朽化が進んでいる校舎の改修工事等が計画的に進められているとともに、熱中症対策として、本年度より3か年計画で保健室へのエアコン設置工事事業の開始や、防災機能を備えた屋外トイレの整備等、児童生徒の安全確保と教育環境の整備が図られている。</p> <p>情報教育においては、小中学校に教育用コンピュータを整備し、基礎的操作の習得とともに、英語教育などの分野における活用を進めてきている。コロナ禍を機に、IT化の推進が急速に進みつつあることから、「GIGA スクール構想推進事業」等を引き続き進めるとともに、児童生徒用のタブレット等の有効活用に向けた取組を進めていただきたい。</p>	<p>令和2年度から小学校に新学習指導要領が導入され、「主体的・対話的で深い学び」いわゆる、アクティブラーニングの視点からの授業改善が重要となっている。教育委員会においては、各種研修や指定校事業を行うほか、教育推進員の学校訪問や十勝教育局の指導主事が行う訪問や出前講座等の活用を図り、学校に対しアドバイスを行い、各学校における授業改善への校内研修や共同研究への手助けを行うことにより、教員の資質能力の向上を図っている。</p> <p>教職員健康対策では、各種健康診断のほか、ストレスチェックを継続して実施しており、教職員の心身の健康の保持に努めている。令和2年度から運用開始した出退勤管理システムにより、教員の勤務状況がみえる化され、業務環境の把握が可能となった。必要な業務改善に向けシステムを活用し環境整備等につなげていきたい。</p> <p>教育施設の整備については、「音更町教育施設等長寿命化計画」に基づき、児童生徒の安全確保と教育環境の整備に努めていく。</p> <p>情報教育については、新学習指導要領において「学習の基盤となる資質・能力」に位置付けられている「情報活用能力」の育成のため、国が掲げる「GIGA スクール構想」に基づき、学校における校内通信ネットワークや1人1台端末の整備を行っている。</p> <p>端末や校内通信ネットワークの運用にあたっては、学習へのさらなる活用や、災害や感染症などの緊急時の家庭におけるオンライン学習に備え、「音更町ICT教育推進チーム」を組織し、実践的な使用方法や学習指導要領に沿った運用について検討を行い、順次運用を行っている。</p>

意見	対応状況
<p>国際理解教育については、英語指導助手(ALT)を増員して2名とした他、外部英語講師を小学校に継続して派遣しているが、英語指導を受け持つ学級担任教員への比重が増していることを考えると、教員研修の更なる充実とともに外部英語講師の増員等を検討していただきたい。</p> <p>特別支援教育については、その対象となる児童生徒の数が増える傾向にあるとともに、障がい等の重度・重複化も進む中で引き続き重要な課題と位置づけられる。これまで本町独自に生活介助員や学習支援員の配置などを行っているが、支援員等の増員を求める声が現場には引き続き強くあり、障がい等の内容や程度に応じた個別の支援も必要となっている。行政にはインクルーシブ教育の推進に向け、可能な限りの合理的な配慮が期待されており、そのための予算措置等が引き続き求められる。</p> <p>(社会教育の振興)</p> <p>青少年教育事業について、「こども体験隊」、「中学生リーダー研修会」、「国際交流のつどい」、「出前ものづくり教室」等の様々な体験的な活動は、為すことによって学ぶ情操教育や健全な心身を育む教育活動の一環として、今後も継続した取組が期待される。</p> <p>青少年対策については、「放課後こども教室」の充実が一層期待されている。放課後に親が不在の家庭が増加しており、また近所の子ども同士のつながりがほとんどない現状にあって、子どもの安心安全及び健全育成の観点からの効果はきわめて大きいと考えられている。</p> <p>今後は、市街地の未実施校と課題の整理に向けた十分な協議を進めていただきたい。</p> <p>また、児童虐待等の子どもが犠牲となる社会問題も顕在化しつつある。「通報活動・青少年悩み相談」では通報が10件、相談が0件あり、こうした問題は、表に現れる頃には事態が相当進</p>	<p>英語指導助手(A L T)については、小・中学校における英語学習のサポートはもとより、社会教育分野での事業にも活用されており、小学校英語教科への取組の強化のため、令和元年8月に1名増員している。また、小学校における外部サポート講師については、新学習指導要領の導入に伴い、引き続き教員の指導力の向上を図るため、時間数を増やし対応している。</p> <p>特別支援教育については、特別支援学級での肢体不自由等の障がいがある児童生徒の学校生活を介助するため、生活介助員の配置を行っており、通常学級における発達障がい等により特別な支援を要する児童生徒に対しては、特別支援教育学習支援員を配置し、学習活動や学校生活上においての支援を行っている。また、小学校入学前の児童に関する情報を、保育園や認定こども園から提供を受け、保護者との早期からの就学相談などの支援を行える態勢づくりを行っている。</p> <p>青少年教育事業について、さまざまな体験学習を通じて、豊かな情操や健全な身体の育成を図るとともに、青少年の社会参加の促進、リーダーの育成に資することから、今後も継続が必要であると考えます。</p> <p>放課後子ども教室は、平成28年度に小学校4校において開設し、令和2年度から新たに緑陽台、鈴蘭の2小学校を加えた6校で実施したところである。令和3年度には、木野東小学校を加え、町内7校において実施することとし、今後の開設については、保護者や小学校とも協議を行い、参加を希望する児童数を勘案して調整を進めていく。</p> <p>通報活動については、子どもの安全を守る活動として、曜日時間に関係なく不審者情報を正確かつ迅速に周知するための連絡体制を学校や関係機関と共有している。</p> <p>また、相談業務については専用電話を設置し、町のホームページなど広報媒体に掲載周知して</p>

意 見	対応状況
<p>んでいるのが大部分であるといわれている。設けられた相談窓口等で待つだけではなく、日頃から子どもたちを対象としたイベント等に出向きチラシを配るなど啓発活動も進めてほしい。</p> <p>生涯学習事業については、「00JC オープンカレッジ」や「高校開放講座」は、今後のまちづくり等を進める上で、住民と行政が相互信頼関係を構築し、協働によるまちづくりを推進していくための有効な事業として、今後も継続した取組が期待される。</p> <p>文化・芸術事業については、優れた文化・芸術に接する機会に触れるための各種事業の開催は、町民の文化・芸術に対する意識向上が図られている。その意味においても、小学生の芸術鑑賞会と中学生のための音楽教室は情操教育の一環として重要である。しかし、音に過敏に反応したり、空間認知的思考や情緒的思考を苦手とする児童生徒が、近年増加傾向にあると指摘されていることに鑑みて、演劇やコンサートの選定にあたっては、学校関係者と十分な検討をしていただきたい。</p> <p>図書・視聴覚の振興については、貸出人数が近年減少傾向にある。子ども達の読書をする習慣は、乳幼児期に親が絵本を読み聞かせる環境や、家庭での読書環境づくりが大きいとされることから、ブックスタート事業やリーディングスタート事業の継続した取組が期待される。また、小学校の朝読書をサポートする一環として、発達に困り感のある子どもたちに特化した蔵書の整備を充実させるとともに、中学生や高校生、短大生も利用できるような学習環境の整備を図る等して、「開かれた魅力ある図書館」を目指した工夫・改善を期待したい。</p>	<p>対応に当たっている。電話の利用実績は少ないが、今後とも相談しやすい環境づくりに努めていくとともに、月1回発行している青少年だより「かけ橋」の充実を図り、巡視活動や学校訪問など様々な機会を活用しながら青少年の健全育成に係る情報提供を行い、啓発活動を継続して進めていく。</p> <p>〇〇JCオープンカレッジ、高校開放講座は、地域の教育資源を積極的に活用し、協働によるまちづくりを推進する極めて有効な事業であり、多様なニーズに対応した魅力的な講座（学習機会）を継続して提供することが必要である。</p> <p>小学生芸術鑑賞会の演目については、数多くの公演実績のある児童演劇団体との情報収集や学校現場のからも意見聴取しながら、音響効果や舞台演出に配慮した演目の選定を行っていく。</p> <p>ブックスタートやリーディングスタートについては、「音更町子どもの読書活動推進計画」に基づき、乳幼児期から親子で本に親しむ事業として、継続して取り組んでいく。</p> <p>困り感のある子ども向けの蔵書としては、学校図書館担当者会議などで、どのような図書が必要なのかアドバイスをいただき対応している。</p> <p>中学生以上の学習環境については、より充実した学習ができるよう、令和3年度中にWi-fi環境を整備するところである。</p>

意 見	対応状況
<p>(社会体育の振興)</p> <p>児童生徒の体力・運動能力の実態は「全国体力・運動能力調査」の結果からも十分とはいえない状況であり、特に女子においてその傾向が強く表れている。既に、体力作り、健康づくりの振興という観点から多くの教室等が開催され成果をあげているが、生涯スポーツの観点から、幼児、児童生徒を対象とした事業プログラムの一層の充実を期待したい。また、スポーツの日常化を図る観点からは、親子で取り組める教室等の開催や、各家庭の庭先でできる運動の推進等も期待するものである。</p> <p>今後も新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、町民の体力及び健康づくりの推進という期待の大きさを自覚し、新たな日常としてのスポーツ機会の提供に努めるよう期待する。</p>	<p>今後も、町民ニーズに合った運動機会の提供について、スポーツ協会や指定管理者とも連携協力し、スポーツの普及、振興に努めたい。</p> <p>また、新たに総合型地域総合型スポーツクラブや町と包括連携協定を結んでいる北海道十勝スカイアーススポーツ株式会社による幼児から高齢者まで、今後も様々な各種教室の実施に向けて協議していく。</p> <p>新型コロナウイルス感染症につきましては、新北海道スタイルや各種スポーツのガイドライン等を守り、今後も感染症予防対策を図りながら、日常におけるスポーツの振興を進めていく。</p>

Ⅱ 学識経験者の意見

帯広大谷短期大学教授 佐藤 英晶

1 教育委員会の活動状況

教育委員会の会議の開催状況については、定例会に加え臨時会を4回開催している。特に新型コロナウイルス感染症に関して、その対応等適宜報告されており迅速な対応がなされている。

また、会議の開催にあたっては各委員に議案・資料等の事前説明を行う、委員相互の意見交換の場の設定、付議案件以外の意見を提案する機会の確保など会議の開催が効率的・効果的になるよう工夫がみられる。

今後も新型コロナウイルス感染症の変異株の感染拡大など不測の事態に備え、より一層、臨機応変な対応が求められるとともにインターネット会議システムを活用した遠隔会議の実施の検討など教育行政の円滑かつ確実な実施に向けた取組が期待される。

2 重点的な評価

(1) 確かな学力の向上

児童生徒の学力の確かな向上として、基礎的・基本的な知識及び技能の習得やそれを活用する力を育むことが重要な課題である。本町においては、こうした課題に対して令和2年度は実施できなかった全国学力・学習状況調査に代わり、北海道教育委員会の「ほっかいどうチャレンジテスト」を活用し、子どもの学力の傾向を把握・分析する取組を実施している。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中、例年どおりの取組が行えない状況でも、学校現場との協力の下、児童生徒の学力に影響を与えぬよう臨機応変な対応を実施している。今後、コロナ禍においても、子どもの学力の傾向を把握・分析する取組を継続して実施し、課題の整理と、児童生徒の学力向上に向けた学習指導法の改善や児童生徒自身の学び方の改善に寄与することが期待される。

また、学校現場における教育体制の充実は大きな課題であるが、本町においては特別支援教育学習支援員の配置を行い心身障がい・難病等を抱える児童生徒の学びの保障に取組んでいる。近年は障害者差別解消法の施行により行政執行においては障がい者に対する合理的配慮が求められている中、学校教育における合理的配慮の具現化として、今後とも一層の取組が期待される。その他、少人数学級実践研究事業等を活用した学習環境の向上として教員の加配などを行っており先述の特別支援教育学習支援員の配置と合わせ教育に関わる人材の充実が図られている。

(2) 健やかな体の育成

学校教育においては、学力の向上だけではなく健やかな体づくりは発達・成長の面からも重要である。運動能力や体力は健康に大きな影響を与える要素であり、生涯発達や生きる力の醸成においても大きな関わりを持つものである。そして、こうした身体能力の基礎は学童期から青年期にかけ大きく成長することから、児童生徒の健やかな体の育成は生涯にわたり影響を及ぼすため、その発達・成長を学校教育の中で支えていくことが重要である。

本町においては、全国体力・運動能力、運動習慣等調査を小学校5年生及び中学校2年生を対象に悉皆調査を実施し、児童生徒の体力・運動能力を分析し、その向上に努めている。また、指導体制も体育専科教員の加配による体育授業の充実を図っている。調査結果からは全ての調査対象の学年、性別において前年度課題としてあげられていた種目の向上が1種目以上は達成されており、分析・課題抽出した結果が組織的な体力向上の取組に反映されているものと思われる。

その他、学校教育以外にも体力づくり、健康づくりの振興やスポーツ振興の取組を通して児童生徒はもとより町民全体の体力・健康づくりを推進している。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、外出機会が減っていることから町民の体力・健康づくりの面での懸念がある。団体での活動に制約がある中、町民一人ひとりの運動習慣の確立に向けた取組の一層の充実が期待される。

(3) 豊かな心の育成

いじめ・不登校など学校教育を取り巻く問題として各所との連携を通じて総合的な対応が求められる。近年はチーム学校やコミュニティー・スクールといった専門家や地域との連携の下、様々な取組が試行されている。いじめや不登校といった学校教育が抱える課題についても専門家や地域の支えを問題解決に活かす取組が有効である。いじめ・不登校は全国・全道ともに増加傾向にあり、本町においても同様の傾向を示している。児童生徒が減少していく中、増加傾向を示していることから本町においてもこうした取組の一層の充実が求められる。

本町ではいじめに関する主な取組として、いじめに関するアンケート調査を実施している。本調査では「いじめ」という表現に代えて「嫌な思い」を用い、より広範囲にいじめを捉えいじめと思われる事象の把握に努めている。「いじめ」に関してはその定義がいじめ防止対策推進法の施行以降は、該当する行為を受けた児童等が心身の苦痛を感じる場合を「いじめ」と認知することとされている。こうした定義の変更に伴い、アンケート調査の実施が同時に児童生徒のみならず教員も含めた学校関係者にとっても「いじめ」に対する正しい理解を確認する機会ともなっている。また、いじめへの対応として、学校に対する支援や相談体制の充実を図っており、スクールソーシャルワーカーとして心

の教室相談員が配置されていることは特筆すべき点である。スクールソーシャルワーカーについては、全道的にもいじめ・不登校は増加傾向にあり、北海道教育委員会のスクールソーシャルワーカー派遣事業が行われているところであるが、市町村教委で配置している自治体は道内でも少数である。こうした取組については、今後、要援助案件の増加や深刻化に応じ勤務時間数の確保や人員の増員等、必要に応じた対応の迅速な実施が期待される。

不登校に関しては、先述の相談体制の充実に加えて単に不登校の解消のみならず、児童生徒の社会的自立に向けた支援の充実が求められる。具体的には、ふれあい教室（適応指導教室）の拡充が考えられる。不登校の児童生徒は年々増加しているが、本町の人口分布からは市街地南部に人口が集中しており、現在の市街地の郊外北部の立地的課題や不登校の児童生徒数の増加に対し通級者数が低位持続しているという課題がある。現在の施設設備や環境面でのメリット、また、市街地から離れているからこそ他者の目を気にせず通える良さもあることから、市街地に増設することで児童生徒がいずれかを選択できるよう配慮することが望ましいと考えられる。

今後、新型コロナウイルス感染症の変異株の感染拡大等が懸念される中、再び休校措置がとられた場合に、SNS 等インターネットを通じたいじめの増加や休校を期に不登校となってしまうケースの発生などに対応した教育相談体制の整備・充実が期待される。また、そのような事態下で教育の機会が損なわれないよう ICT を活用した授業の展開やその更なる充実のための教員研修等の実施が期待される。

3 教育行政推進における主要な施策の実施状況

(1) 文教対策

教員研修については、コロナ禍の中で研修会の中止を余儀なくされ、例年に比べ参加し難い状況にあったものの、校内研修実践指定校事業の推進を通じて学校内での創意工夫による研修機会の確保が行われている。今後もこうした事態が繰り返されることも考慮し、校外研修だけに頼らず校内での研修体制の整備も期待される。また、校外研修に関しては、参加した教員が校内で伝達研修を行うなど参加機会の少ない校外研修を有効に活用することも考えられる。その他、北海道教育委員会の行う研修会ではインターネット会議システムを用いた遠隔参加も行われていることから、そのような研修への参加に向けた校内環境の整備も求められる。

国の進める GIGA スクール構想に沿った学校現場の IT 化が進んできており、授業への活用のみならず、研修会への参加、北海道教育委員会が行っているスクールネットの活用など多岐にわたる IT 化への対応が求められる。また、IT 化に関しては教職員や児童生徒に一人一台のタブレット端末の整備が行われたことから、これらを活用した授業の展開だけではなく、課題作成や課題提出、採点や結果配信など、より高度な IT 機器の活用

に向けた取組が期待される。

そのほか、先述のとおり特別支援教育においては更なる合理的配慮の取組が期待され、そうした要望も多くなってきていることから引き続き特別支援教育学習支援員などの配置について可能な限りの予算措置等を期待したい。特に全道的にはいじめ・不登校の背景にある発達障がいやその傾向をもつ児童生徒への対応が求められており、相談支援体制も含めた総合的な対応の充実が求められる。

(2) 社会教育の振興

社会教育に関しては、各種リーダー研修会の中止などコロナ禍の影響による事業の中止が相次いでおり課題が残る。こども姉妹町視察研修については、代替事業を実施し一定の成果を挙げている。他の事業に関しても、規模を縮小し少人数で複数開催、インターネット会議システムを活用した遠隔参加による実施など内容や実施方法の工夫が求められる。今後も新型コロナウイルス感染症に関しては、新たな変異株の感染拡大も懸念されており、さらなる実施方法の検討が求められる。

一方、放課後子ども教室の実施に関しては、コロナ禍の影響により実施回数の大幅な減少を余儀なくされたものの、これまで見送ってきた新規開設を実施し、緑陽台、鈴蘭の小学校2校を加えるなど取組の充実が図られた。コロナ禍の中での実施としては慎重にならざるを得ないところであるが、すべてを中止や縮小するのではなく、できるところは手厚い取組がなされている点は、前向きな教育行政の推進姿勢として評価される。

(3) 社会体育の振興

体力づくり、健康づくりの振興に関しては、スポーツライフ、スポーツ教室、体力づくり事業が展開されているが、いずれの事業も新型コロナウイルス感染症の影響拡大を背景に参加人数の減少がみられる。また、一部中止のものもあり特に成人・シニア世代の健康づくりの面からはその影響が懸念される。定期的な運動習慣の定着は壮年期以降の罹患率とも大きな関連のあるものであり、医療や介護への影響があることから教室活動以外の運動習慣の定着も視野に入れた事業展開が期待される。

そのほか、本町は運動施設が充実し様々なスポーツに対応した設備が整っているが、運動施設整備への要望も多くあることから、計画的な運動施設の設置・更新が期待される。また、その際には障がい者スポーツを考慮した運動設備の整備を期待したい。公共の運動施設の利用においても障がい者に対する合理的配慮を行うことは行政の責務であることから、障がい者と健常者がともに利用できる共用型の運動施設への転換や運動施設のみならず様々な障がい者スポーツが体験できるよう用具等の貸し出しなどの取組にも期待したい。

1 教育委員会の活動状況

教育行政執行方針に基づき、音更町教育大綱の2本の柱である「子どもの教育」と「生涯学習」の充実・発展に向けて、各種の事業や施策が教育委員会会議を経て組織的・機動的に推進されていることに対して評価したい。

未曾有の新型コロナウイルス感染症の猛威の終息には、相応の時間を要することが指摘されている今日の社会では、豊かな人間性を育みながら社会で自立するための「確かな力」を一人ひとりの子ども達に育ませるための対策や、新たな教育施策の推進が求められている。

こうした中で、教育委員会会議では、委員相互の意思疎通を図るための会議の工夫がなされ、活性化が図られている。また、教育長、教育委員による学校訪問を通して、学力・体力向上の取組や、いじめや不登校の状況等について、各学校の管理職及び教職員と意見交換が行われていることは、教育行政と学校現場との距離感を縮める機能が果たされている。

教育委員の各種学校行事等の訪問及び研修会等参加については、新型コロナウイルス感染症対策により中止となったが、今後とも教育を巡る現状や課題を把握しながら情報提供するための工夫した取組に期待したい。

2 重点的な評価

(1) 確かな学力の向上

子どもたちの確かな学力の向上に向けては、基礎的・基本的な知識や技能、及びそれらを活用する力を身につけるためのきめ細かな教育を推進する観点から、町費負担の臨時教諭、学習支援員、複式教育学習支援員等を配置しているほか、学習支援員の研修機会の充実に向けた取組などを行っている。

一方、昨年度からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、子ども達を取り巻く教育環境は大きく変化している。こうしたことから、学校現場においては、さまざまなストレスが及ぼす子ども達の発達への影響を考慮し、子ども達のレジリエンスの強化を図りながら教育活動を進めていくことが必要となる。

学力の向上については、昨年度はコロナ禍のために実施できなかった「全国学力・学習状況調査」に代わる「ほっかいどうチャレンジテスト」を活用した調査結果が示されている。

それによると、小学6年生の学力は、国語・算数ともに、全ての領域で全道平均を上回る結果となっている。中学3年生では、国語は全道平均と同程度、数学は全道平均を上回る結果となっている。一方、問題別に見た場合、小学6年生の国語では、「事実と

意見とを区別して書くことができるかどうかを見る問題」、算数では、「直径、円周、円周率の関係について理解しているかどうかを見る問題」、中学3年生の国語では「自分の考えが相手に分かりやすく伝わるように工夫して話すことができるかどうかを見る問題」、数学では「連立方程式を解く過程を振り返り、事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができるかどうかを見る問題」の正答率が低い結果となっている。

更なる学力向上に向けた取組を考えたとき、各学校現場においては、発見的な学びや問題解決的な学び、体験的な学び等を通して、児童・生徒一人ひとりの内発的動機付けを図る学習指導の改善を進めるとともに、学力下位層の児童生徒のLDの傾向の有無についても把握に努め、その対策を講ずることに期待したい。また、小学校においては、引き続き「家庭学習の手引き」などを活用しての家庭との連携の強化が求められる。

(2) 健やかな体の育成

生涯にわたって心身ともに健やかに生きるための基盤となる体力向上に資する指導力向上の取組として、6年前より毎年開催されてきた音更町教育研究所主催の研修会は、新型コロナウイルス感染症対策のため実施見送りとなったが、「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」の結果分析をもとにした考察を示すとともに、「音更町の子どもの体力と今後の取組」を発行するなどして学校の支援に努めている。各学校においては、研修会などを活かした体育科の授業改善や体育的行事の工夫が図られている。

小学5年生と中学2年生を対象に実施されている「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果によると、小学5年生男子・女子ともに体力合計点が前年度に比べ全国・全道平均を下回る結果となった。中学2年生男子では全国全道平均ともに下回る結果となった。中学2年生女子では全道平均を上回ったが全国平均は下回り、その差も前年度に比べ僅かに広がった。

課題の残る種目について、音更町教育研究所の「音更町の子どもの体力と今後の取組」の分析によると、小学生男子・女子では共に「50m走」「上体起こし」「長座体前屈」が、そして中学校男子・女子では共に「長座体前屈」「上体起こし」「反復横とび」に課題があることを指摘し、それぞれの課題の向上を目指した指導の充実を求めている。

小学5年生・中学2年生男女共に体育科の授業に対する意識は高く、加えて「好き」と答えている割合は全道・全国平均を上回っている実態を鑑みて、各学校においては、今後も運動を楽しむことができる授業づくりに取り組むとともに、積極的に運動ができるような環境づくりを、家庭との連携や地域の人材資源の活用を図りながら進めることが期待される。

食育に関しては、自校給食の特色を最大限に生かした「おとふけ給食」を通して、地産地消や地場産品の理解を深めさせるなど指導の充実が図られている。一方、近年の食物アレルギーを持つ児童生徒への対応では、家庭との緻密な連携が欠かせない。また、

コロナ禍の中で、ひとり親家庭や親の病気や雇用の打ち切りなどで、経済的に大変な家庭の児童生徒に関する関係機関との情報の共有や、健やかな体の育成に関わる情報提供も不可欠である。

(3) 豊かな心の育成

いじめ対策の取組として、「音更町いじめ防止基本方針」に基づき令和2年に実施した「いじめに関する実態調査」では、4月以降に「嫌な思いをした」と回答した小学生が541件、中学生が45件あり、その中で今も「嫌な思いをしている」と回答した小学生が189件、中学生が13件となっている。嫌な思いをした際の相談相手の割合は、小中学生共に「父や母」が一番多く、2番目が小学1～2年生が「学校の先生」で、小学3～6年生と中学生が「友人」、3番目が小学1～2年生が「ともだち」で、小学3～6年生と中学生が「学校の先生」となっている。

また、「誰にも相談しない」と回答した小・中学生が一定数存在し、その割合が小学生高学年と中学生では増えている。

いじめ問題は、教育上の最重要課題の一つとして位置づけられ、相談体制についても、平成31年度から新たに中学校を拠点校としたスクールカウンセラーが配置されるなど、いじめの未然防止や早期発見に向けた一層の充実が図られるとともに、学校現場においても、道徳教育の中で「いじめ問題」を題材に取り上げるなど、きめ細かな対策が講じられているが、誰にも相談しない児童・生徒が一定数いることを考えると、様々な相談窓口の利用ツールを周知させることも重要である。

その一方で、「いじめ根絶」の難しさが、アンケート調査の中からも垣間見られる。「いじめについてどう考えているか」を問う自由記載欄の中で、一部の児童生徒が述べていることに象徴されている通り、「いじめはどんな理由があっても許されないこととは思わない」と回答した小学1～2年生の割合が3.0%(24人)、小学3～6年生の割合が3.3%(57人)、中学生が2.3%(31人)となっている。

「他者と関わる時の自我状態」という心理療法の視点からこのことを考えたとき、子どもは、親の影響を強く受け継いだ思考・感情・行動を無意識のうちに行っていることが、「交流分析」の結果明らかにされている。コロナ禍の中にあって、大人社会の差別や偏見が改めて指摘されている今日、保護者との更なる連携を視野に入れ、人権に特化したPTA研修などの取組が求められる。

不登校の状況については、前年度に比べて小学生、中学生共に増加傾向にある。令和3年度には、適応指導教室の柳町分室を開設するための準備が進められており、支援体制の充実が期待されているが、不登校の要因や背景は、近年、複雑・多岐にわたっており、その解決を図るためには、家庭・学校・関係機関の連携を通して、個に応じた情報の共有化に努める必要がある。また、児童生徒本人及び家族の悩みに寄り添えるサポート体制の更なる充実に期待したい。

3 教育行政推進における主要な施策の実施状況

(1) 文教対策

教職員研修については、教員の資質向上を図るうえでの有効な施策として、今後とも「道内研修」や「校内研修実践指定校事業」を継続・拡充していただきたい。

学校現場には、昨年度から小学校、本年度から中学校と順次、新学習指導要領が導入された。中でも本年度は、GIGA スクール構想元年と言われ、本町の学校教育においても、子ども達がグローバル化し高度情報化した社会の中で、主体的に生きる力を身につけるために、「理数探求」や「総合的な学習の時間」等において、問題発見・解決的な学習活動の充実を目指して、本格的な運用が開始される。1人1台の端末環境を活かした授業を通して、児童・生徒にどのような資質・能力を育成することができるか大いに期待される場所であるが、一方では、プログラミング教育を含めて、今後どのように日本の学校教育に根付かせていくのかが、極めて重要となることも指摘されている。その意味において、先進校視察についてもリモートなどの活用も含めて是非検討していただきたい。

教職員健康対策では、一昨年度策定した「音更町立学校における働き方改革推進プラン」に基づき、教職員の業務改善に努めるとともに、近年はメンタルヘルスの不調に悩む教職員も生じていることから、教職員の健康診断と併せてストレスチェックの実施を継続して進めていただきたい。

教育施設の整備については、老朽化が進んでいる校舎の改修工事等が計画的に進められているとともに、熱中症対策として、昨年度より3か年計画で保健室へのエアコン設置工事事業の開始や、防災機能を備えた屋外トイレの整備等、児童生徒の安全確保と教育環境の整備が図られている。

情報教育については、ICT教育の充実に資するためのICT機器の整備が計画的に進められている。

国際理解教育については、一昨年度より英語指導助手（ALT）を増員して2名としたほか、小学校への外国語専科教員の配置や外部英語講師の派遣が継続されるなど、教員の指導力の向上が図られているが、今後とも、英語指導を受け持つ学級担任教員への比重が軽減される取組を継続して進めていただきたい。

特別支援教育については、これまで本町独自に生活介助員や学習支援員等の配置を行ってきたところであるが、障がいの重度化や重複化が進む中で、昨年度から継続して看護師を派遣するなど支援体制の整備が進められている。

信頼される学校づくりについては、家庭・学校・関係機関の日頃からの連携協力体制が重要である。現在、モデル校として取組が継続されている駒場中学校、駒場小学校のほかに、令和3年度新たに下土幌小学校、西中音更小学校、東土狩小学校、東土幌小学校でコミュニティスクールが導入され、連携協力体制の整備が進められている。連携を

サポートするうえからも、更なる他校への導入に期待したい。

(2) 社会教育の振興

青少年教育事業については、教育委員会が主催する「こども体験隊」、「中学生リーダー研修会」、「国際交流のつどい」、「出前ものづくり教室」等のさまざまな体験的な活動は、新型コロナウイルス感染症対策により多くの事業が中止を余儀なくされたが、為すことによって学ぶ情操教育や健全な心身を育む教育活動の一環として、今後も継続した取組が期待される。

青少年対策については、児童の自主性や社会性・創造性を養うための居場所づくりを目的とする「放課後こども教室」は、本年度新たに1校が加わり、更なる充実が期待される。

青少年の健全な育成を図るためには、不登校児童生徒や、家庭内不和、及び子育てに不安や悩みを抱えている親が顕在化しつつあるなか、「巡回指導」や「青少年悩み相談」、「家庭教育電話相談」等の対応のあり方を検討し、さまざまな相談窓口を利用できる体制の更なる整備が必要となる。

生涯学習事業については、「OOJC オープンカレッジ」や「高校開放講座」は、今後のまちづくり等を進める上で、住民と行政が相互信頼関係を構築し、協働によるまちづくりを推進していくための有効な事業として、今後も継続した取組が期待される。

文化・芸術事業については、優れた文化・芸術に接する機会に触れるための各種事業を開催するとともに、Wi-Fi 環境の整備を図ることで利便性が高まり、町民の文化・芸術に対する更なる意識向上が図られる。小学生の芸術鑑賞会と中学生のための音楽教室も情操教育の一環として重要である。文化センター野外施設の再整備が、町民の憩いの場として新たな価値が見出されることに期待したい。

図書・視聴覚の振興については、近年減少傾向にある図書貸出人数を改善するための取組がなされている。言語、論理、情緒という人間の成長に欠かせない必須の三要素は、読書を通して身につくと言われている。その意味において、小中学校と連携した学習資料の提供や、中高校生の読書意識の高揚を図るティーンズコーナーを設置する等、読書環境の整備が進められている。また、子ども達の読書をする習慣は、乳幼児期に親が絵本を読み聞かせる環境や、家庭での読書環境づくりが大きいとされることから、ブックスタート事業やリーディングスタート事業の継続した取組も期待される。今後、Wi-Fi 環境を整備することで利便性が向上し、子どもから高齢者まで町民の読書活動が更に高まることに期待したい。また、郷土資料の収集・保存・展示事業でも、本町に縁の深い作曲家、伊福部昭の資料展示室が設けられていることは、昨年度、白老町にアイヌ民族の文化復興等に資する国立アイヌ民族博物館がオープンしたと相まって、伊福部昭の作曲家人生の原点も少年期のアイヌ民族の伝承音楽との出会いにあることから、改めてアイヌ民族の優れた文化に触発される機会となり、町民の郷土理解を深める一助とな

ることが期待される。

(3) 社会体育の振興

「体力づくり・健康づくり振興」や「施設利用状況」については、幼児から高齢者まで、幅広い年代層の多くの町民が、それぞれの体力づくりのニーズに応じた各種教室に参加し、楽しみながら各種施設を利用している状況が伺える。特に総合体育館と温水プールでは、その傾向が顕著であり利用頻度は高い。この要因には、指定管理者制度に加えて、地域おこし協力隊などと連携した事業推進の成果が着実に表れてきていることが考えられる。

今後も、町民利用者の意向の更なる把握に努め、より細かいニーズに対応した体力づくり教室や総合型地域スポーツクラブの育成等、スポーツ振興普及のための事業の充実に期待したい。